

KSUペディア

ー文理芸融合の学びー

2023年6月

九州産業大学

『KSUペディア—文理芸融合の学び—』（電子版）の発行にあたって

2020年度に創立60周年を迎えた本学は、40年後の創立100周年に向けたビジョン「新たな知と地をデザインする大学へ—もっと意外に。もっと自由に。—」を掲げ、その実現に向けて「文理芸融合のグローバル総合大学へ」をスローガンに中期計画である8つの分野（教育、研究、国際化、産学連携、社会・地域貢献、ダイバーシティ、ブランディング、経営基盤）で取り組みを進めています。

21世紀は知識基盤社会と言われ、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域で活動の基盤となっています。また、世界はこれまでとは比較にならないほど急速にグローバル化が進み、世界共通の価値観や課題に対応する姿勢を育むことの重要性が高まっています。

グローバルな社会の一員として、気候変動、貧困、食料危機、感染症等、共通の課題を理解し、持続可能な社会を実現していくためには、単一の学問分野だけで解決するのは難しく、学問横断的に知識を結集して解決に当たることが必要不可欠です。本学では文系・理系・芸術系の横断的な学びを実現し、学部・学科の垣根を越えて学生同士の“知”の交流を促進するために、基盤教育の中に文理芸の共通科目を設置し、また学部横断の副専攻プログラムなどを導入しました。専門分野が違う学生同士が互いのモノの見方や考え方に触れ、それらを通して別の角度から物事をとらえる能力や問題の解決に必要な新しい視点、創造性を身につけてほしいと思います。

この度、全教員が協働して専門領域を横断した新しい学びを支援することを目的に『KSUペディア—文理芸融合の学び—』（電子版）を発行しました。これからの学修に大いに活用してください。用語の内容には、まだ不十分のところがありますが、更に改訂を加えてより良い用語集にしていく予定です。

最後に本用語集の作成にご協力いただいた先生方や関係者の皆様に感謝申し上げます。

令和5年6月

九州産業大学

『KSUペディア—文理芸融合の学び—』編集委員会

（事務局 IR推進室）

アーカイブ

重要な記録を保存・活用し、未来に伝達すること。したがって、アーカイブには①未来へ永続的に伝えていくべき記録、②適切に保存・管理するための施設（建物）、③収集・整理・保存・公開などの諸機能、という3つの意味を複合的にもつ。芸術分野では、芸術文化をめぐる資料のアーカイブ化、デジタル化、共有化を求める動きが強まり、“創造のためのアーカイブ”の方法論が議論され、多くの研究機関、美術館、アーティスト等により様々な探究がなされるようになった。

アース・オーバーシュート・デー

人類が消費する自然資源の量が、地球が1年間に再生できる自然資源の量を超える日のことを指す。毎年、国際シンクタンクのグローバル・フットプリント・ネットワークが発表しており、2021年のアース・オーバーシュート・デーは7月29日と発表された。

アーバンツーリズム

都市観光の意味。かつては都市内の名所見物が主目的であったが、近年では商業、サービス、エンターテインメントなど都市機能そのものを魅力として旅行者を呼び込み、さらにその効果を都市の発展につなげる観光や旅行スタイル。

RE100

「Renewable Energy 100%」の頭文字を取った言葉で、REは日本語で再生可能エネルギー（再エネ）のこと。国際環境NGOのThe Climate Group（クライメイト・グループ）が2014年に開始した国際的な企業の連合体で、2050年までに企業活動に必要なエネルギーの100%を水力や太陽光などの再生可能エネルギーで調達するという宣言をした企業が参加している。Apple、Google、Nestle、BMWといった世界的な大企業が名を連ね、日本では、楽天、ソニー、積水ハウス、味の素、三菱地所、イオンなど38社が加盟している（2020年9月時点）。

RNA

リボ核酸の略称。

愛・性・家族

愛・性・家族はとりわけ社会通念や伝統がまかり通ってしまう領域。そこにこそ、「本当にそれって当たり前なの？」と疑問のメスを入れることが重要。プラトンやヘーゲルといった過去の哲学者たちが新たな考えを提案したことで、社会は少しずつ変化してきた。哲学で学べるのは決して抽象的・観念的なことばかりではない。

IR

- ① Institutional Research の略で、大学等の教育機関において、管理運営や教育などに関する情報を収集、可視化し、評価指標として管理し、その分析結果を教育・研究、学生支援、大学経営に活用する活動。
- ② Investor Relations の略で、企業が株主や投資家に対して、企業自身のことを知ってもらうために、財務状況など投資の判断に必要な情報を提供していく活動全般を指す。
- ③ Integrated Resort（統合型リゾート）の略で、カジノだけでなくホテルや劇場、テーマパーク、ショッピングモールなどのエンターテインメント施設から国際会議場、展示場のビジネス施設まで多くの要素を含んだ複合施設。

ISO26000

2010 年 11 月に ISO（International Organization for Standardization：国際標準化機構）で策定された「社会的責任に関する手引き」。国や地域、組織規模に関係なくあらゆる組織で自主的に活用できる内容となっている。

IELTS

International English Language Testing System（IELTS）は英語を母語としない人の英語力を測る筆記形式のテストで、英語圏の国々への移住や大学・大学院に進学する際に受験が求められる。採点は「バンドスコア（幅）」で測定され、1 が最低、9 が最高点。「留学対策英語講座」で対策を学べる。

IoT

IoT は「Internet of Thing」の略称。日本語では「モノのインターネット」と呼ばれることが多い。デジタル化が発展・浸透することにより、家電・自動車などの「モノ」をインターネットに接続する技術のこと。

愛着

アタッチメント（attachment）ともいう。乳幼児が、特定の人との間に初めて形成する情緒的結合のこと。ボウルビィ（Bowlby,J）がこの概念を最初に提唱した。

アイデンティティ

自分が何者であるかという自覚。場所や時が違って、自分は自分であると確信することができることであり、自我同一性とも言われる。自分で思っている私が、他者からもそう思われているという実感から生じる。

アイドル

英語の「idol」（偶像、崇拜される人や物）から転じて、人気者の意となり、現在では「熱狂的なファンを持つ若い歌手、俳優、タレント」などをいうが、アートの世界において自分が目指す理想の表現者をしてアイドルと位置付けてほしい。

IP

Internet Protocol の略。インターネットに接続した機器同士が通信するのに使うプロトコル（通信手順）。TCP（Transmission Control Protocol）と共に利用されることが多く TCP/IP とも呼ばれる。

アカンタビリティ

企業の経営者が株主などに経営成績や財務状態などについて決算書類としてまとめて会計報告することである。株主などはこれをもとに経営者が経営の責任を果たしたかどうかを判断することになる。

アクティブラーニング

Active Learning（AL）。能動学習（能動的学習）などと訳され、学修者が積極的な授業への参加を促す授業や学習法の総称。PBL や教室内でのグループ討議やディベートなどの方法があり、ゼミナールなど演習系科目で用いられる学習法。

アジア

アッシリア語の「日の出 assu」を語源とすることから、メソポタミアやヨーロッパからみた東側をさすため、空間的に広いひろがりをもつ。ダイバーシティーが求められる現代にあって、アジアの多様性が着目されている。

アジアにおける経済連携協定（TPP と RCEP）

TPP は「環太平洋パートナーシップ協定」、RCEP は「地域的な包括的経済連携」で、いずれも、アジア（と太平洋地域）における、自由貿易を目指すための経済連携協定である。

アスペクト比

アスペクト比（画面比率）とは、画像やテレビ、動画などの縦横比のこと。アスペクト比によって、映像の見え方は大きく変化する。プラットフォームや媒体によって最適なアスペクト比と解像度は異なる。

アセスメント・ポリシー

学修成果の評価の方針のこと。学生の学修成果の評価（アセスメント）について、その目的、達成すべき質的水準及び具体的実施方法などについて定めた方針。学生の学修成果を可視化することで、教育成果を測定・評価し、これを踏まえて教育を改善していくための考え方で、ディプロマ・ポリシー等に定められている達成すべき質的水準について、学生等アンケート、成績データ、学修ポートフォリオ等のデータ分析を中心に行う。

圧力角

歯車の歯面上の1点において、その半径線と歯形の接線とがなす角度。インボリュート歯車では基準ピッチ点での圧力角をさすことが多い。

アドミSSION・ポリシー

入学者の受け入れ方針。受験生に求める能力・意欲・適性などを含めた大学が求める学生像、及び入学選抜・受け入れのための基本的な考え方を定めたもの。

アナログとデジタル

情報を連続的に表現することをアナログといい、離散的に表現することをデジタルという。多くの自然現象は連続的であるため、それらをデジタルで表現するためには、標本化、量子化、符号化といった変換が行われる。

アニメーション

実写のような連続的に撮影した映像ではなく、1つ1つ異なる絵を撮影（記録）したものを、連続的に上映する技術である。

アニュアルレポート

証券取引所に上場している企業（上場会社）が株主などに1年間の会社の経営成績や財務状態などについて知らせる年次報告書である。

アバター

「化身」という意味を持つ英単語で、ゲームやネット上の仮想的な空間において、ユーザーの分身として表示されるキャラクター。

雨庭

雨水の貯留浸透の働きをあわせもつ庭。近年、グリーンインフラの要素技術として注目を集めている。とくに都市型水害対策を流域治水として進めるには、小規模分散型の水管理要素技術として、魅力ある雨庭が民間施設に普及することが望まれる。雨庭はその植生により、植物相の多様化やその他の生物の生息域としての役割も期待され、都市の生物多様性に貢献することもできる。

アラン・チューリング

1912年イギリス生まれ。計算可能性の概念の基本となるチューリングマシンを考案するとともに、その限界を示す停止性問題の決定不能性を示した。また、機械に知性があるかどうかを判定するチューリングテストを考案した。

アルゴリズムック・デザイン

コンピュータのアルゴリズムをジェネレーターとして用い、手作業では造形し得ないモデリングを行うものから、複雑なアルゴリズムを用いて緻密な造形を行うものまで幅は多義にわたる。このような手法の総称として「アルゴリズムック・デザイン」という。

アルゴリズム

コンピュータは、何らかのデータ（入力と呼ぶ）に対して、何らかの処理を行って、何らかのデータ（出力と呼ぶ）を作り出す。この入力から出力を作り出す処理の方法のことをアルゴリズムと呼ぶ。

安全教育

子ども自身が自ら安全な生活を行うための方法を考えたり、態度を育てたり、理由を教えたりすることである。しかし子どもの理解を超えた危険については、周囲の大人が事故の潜在危険を取り除き、危険のないよう管理する安全管理と併せて考えることが事故防止には大切である。

アンテナ

空間を伝搬している電磁波を電気信号に変換して電子機器に取り込む、電子機器の信号を電磁波に変換して空間に送出する素子のことをアンテナという。電磁波を利用する電子機器には必ずどこかに搭載されている。

アントレプレナーシップ

実際には何もないところから価値を創造する過程。起業機会を創り出すか、適切にとらえ、資源の有無のいかににかかわらずこれを追求するプロセスのこと。

EAP

EAPはEmployee Assistance Programの略であり、従業員支援プログラムと訳される。企業の生産性を低めるメンタルヘルス上の問題（仕事上の問題、家庭問題、経済上の問題、法律上の問題等）に対して企業内部または外部の機関が支援を行う。

ESG

環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取って作られた言葉で、持続可能な世界の実現のために、企業の長期的成長に重要とされる三つの観点。環境、社会、ガバナンスに関して積極的な取り組みをする企業に投資することを ESG 投資と呼ぶ。

ESD

Education for Sustainable Development の略で、「持続可能な開発のための教育」と訳される。持続可能な開発目標を達成するために不可欠である質の高い教育を実現していくことを目指して行う学習や教育活動のことを指す。

e-Stat

政府統計の総合窓口のポータルサイト名。各府省等が公表する統計データなどの各種統計情報をワンストップで検索、閲覧、収集、加工できる。総務省統計局が整備し、（独法）統計センターが運用管理を行っている。

eスポーツ

「Electronic Sports（エレクトロニック・スポーツ）」の略で、ビデオゲームやモバイルゲームを使用した対戦を競技的なニュアンスで捉える際の名称。競技人口は世界で1億3千万人とも言われ、本場米国ではeスポーツと教育の現場をつなげ、子どもたちに学習と成長の機会を提供しようという動きがある。

EDA

Electric Design Automation の略であり、半導体設計・製造のためのフロントエンド（設計入力、シミュレーション等）とバックエンド（レイアウト等）のソフトウェア・ツールのことである。

EU タクソノミー

タクソノミー（taxonomy）は「分類」を表す英語で、欧州連合（EU）が定めた環境に配慮した経済活動かを認定する基準。企業の経済活動が地球環境にとって持続可能であるかどうかを判定し、グリーンな投資を促す EU 独自の仕組みのことである。EU が掲げる 2050 年までのカーボンニュートラル達成に実質的に貢献する事業や経済活動の基準を明確化することで、「グリーン」な投資を促進することを目指している。

意思表示

権利変動（権利の発生・移転・消滅）という法律効果を発生させようとする意思を外部に表示することをいう。意思表示は、①効果意思、②表示意思、③表示行為の3つの要素により成立するとされる。

いじめ

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの（いじめ防止対策推進法第二条）。

異種混淆

異民族、異文化、異人種が共存し合う状態。アメリカ社会において異文化を背負う人々が多文化社会を形成している状態でもある。異人種間の婚姻によって生みだされる次世代の文化を表わすこともある。

意匠

製品の形状・色・模様等をさまざまに工夫することで、結果的に生み出された装飾やデザイン。工業製品のように大量生産を目的にされた、製品デザインを独占的に使用する権利を「意匠権」といい、それらを登録して保護する制度が「意匠登録」と呼ばれる。

位相空間

集合に空間としての性格を与える構造が位相である。位相を導入する標準的な方法の一つとして開近傍系を定める方法があり、位相は各点からの近さを測るための構造と解釈できる。距離から定まる距離位相がなじみ深い。

異端派経済学

経済学にはさまざまな学派があり、時代によってどの学派が主流（＝多数派）であるかは変わってくる。異端派経済学とは現代の経済学界において、主流派に属さない全ての経済学派のことを意味する。例としては、マルクス経済学や進化経済学、ポストケインズ派などがある。異端であるか主流であるかは、経済学説の優劣とは関係が無い。

一次加工品

調理・食品加工作業の円滑化のために、原材料の下処理を省いて作業時間を短縮できるよう、原材料品に加熱、水さらし、冷凍、脱気等の加工を施し、容器包装して保管・管理を行いやすくしたもの。

一村一品運動

大分県大山町の「梅、栗植えてハワイに行こう」の付加価値の高い特産品をつくる NPC 運動にヒントを得て、1979 年に平松守彦大分県知事が提唱、大分県下に広げた。椎茸、かぼす、関アジ関サバ、焼酎などの特産品が生み出された。

5つの帽子掛け（情報デザイン）

5つの帽子掛けは、リチャード・S・ワーマンによる情報の整理に関する分類法で、① Location（地図）、② Alphabet（語順）、③ Time（年表）、④ Category（ジャンル別）、⑤ Hierarchy（価格順）の5つを意味する。例えば、通販サイトのメニューには生産地、商品カテゴリー、価格順など、これらに該当するアクセス方法が用意されている。

遺伝子組換え

人為的に遺伝子を組み換えること。

遺伝子とゲノム

遺伝子とは遺伝の役割を担う因子のことで、実態としては DNA あるいは RNA である。ゲノムはその生物を構成する遺伝子の集まりである。しかし、近年は、遺伝子は主としてタンパク質をつくる情報を意味し、ゲノムはその生物の DNA の塩基配列全体を表す場合が多い。例えば、キノコの一つであるハナビラタケのゲノムは約 3900 万（39 メガ）塩基対の DNA から成り、13,157 個の遺伝子を有する。

遺伝子発現

RNA が発現すること。

移動ロボット

機構として、車輪、クローラ、脚などを搭載し、動作環境内を自由に移動することが可能なロボットのこと。例えば、工場内で搬送作業を行うだけでなく、家庭環境で人間の生活を助けてくれる可能性を持っている。

イノベーション

これまでのモノ・仕組みなどに対して全く新しい技術や考え方・価値観を取り入れることを通じて、新たな価値を生み出し社会的に大きな変化を起こすこと。

移民

国を越えて移住し1年以上その国に居住している（又は見込みの）人と定義される。したがって留学生や外国人教師、また、海外で働く日本人や海外で活躍するスポーツ選手なども統計上は移民である。

医薬品製剤

医学・薬学・化学・生物学の進歩により、古い薬から新しい薬まで多くの医薬品が登場している。医薬品製剤とは、安全にそして有効に人に医薬品を投与する為に、薬を製剤素材の物性や機能を組み合わせ、投与後の副作用をできるだけ少なくした工学的技術を用いた様々な剤型が流通している。剤型としては、注射剤、内服剤、点眼液、貼付剤等その他多くの種類がある。

医薬部外品

医薬品に準ずる商品（薬理効果に準ずる効果を有する商品）で人体に対する作用が緩和なもの。口腔衛生剤、体臭抑制剤、育毛剤、美白剤、殺虫剤、生理用品などが該当する。

医療的ケア

日常生活を送る上で必要な痰の吸引、経管栄養、人工呼吸器の管理などの医行為を指し、急性期の治療目的の行為と区別する。医療技術の進歩により学齢期の医療的ケア必要児の支援の充実が求められている。

医療ロボット

主に病院にて患者の治療に用いるロボット。手術用ロボットが有名。整形外科用の人工関節用の穴をあけるもの、内視鏡手術を行うものがある。最近、国産も製品化された。

色温度

光源の色を数値化したものを「色温度」と呼ぶ。晴天の昼間の太陽光は5000～6000K程度で、人間の目で最も自然に見える色温度といわれている。それよりも数値が小さくなるほど赤っぽくなり、大きくなるほど青っぽく見える。単位はK（ケルビン）を使用する。

岩絵具

主に鉱物を砕き粒子分けされた絵の具。

インキュベーション

既存事業者の新規事業を含む起業支援のための制度、仕組み、施設。

インクルーシブ教育システム

学校教育において障害のある者と障害のない者が共に学ぶことのできる仕組みをつくることである。単に同じ場所にいればよいというわけではなく、それぞれの子どもが、学習活動に参加している実感を持ち、充実した時間を過ごせているかが重要となる。

インクルーシブデザイン

インクルーシブ（inclusive）とはすべてを含んだ、包括したという意味であり、排除を意味するエクスクルージョン（exclusion）の反対語であることから、インクルーシブデザインとは多様な人を包括し排除しないデザインと言える。社会の中で排除される要因としては、身体的、感覚的、知覚的、感情的、経済的、デジタル化によるものなど多様であり、インクルーシブデザインの対象となる。インクルーシブデザインでは、多様なユーザーとともにデザインするプロセスが用いられることに特徴がある。ユーザーとともに課題を見つけ解決する参加型のデザインであり、誰かのためのデザインから誰もが参加できるデザインを目指している。

インサイト

直訳すると「洞察（insight）」。「～したい（欲しい）」といった欲求にすらなっていない無意識の心理。

インシュアテック

保険技術とデジタル技術の融合による新たな保険商品やビジネス・モデルを指す。予防医療の取組みにより保険料を割引く健康増進型保険や自動車保険料の算出に運転情報を反映するテレマティクス保険の販売が見られる。

インスタレーション

インスタレーションとは展示、作品を体感するという意味性があり、そのためインスタレーション作品は大きな作品が多いのが特徴である。インスタレーション作品の素材は無限にあると言えるが、モラルに反した素材は使うべきではない。

インターネット

狭義では IP（Internet Protocol）により接続されたコンピュータネットワーク。広義では現在の IT 社会を支える通信基盤。WWW、ファイル共有、メール、ビデオ会議など様々なサービスがこの上で展開されている。

インターフェイスデザイン

私たちの生活では、例えば自動車を運転して目的地に行くように、行為や行動に応じて様々な機器や機械を使って営まれる。この人と機器や機械が交わる境界をインターフェイスといい、機器や機械の使いやすさや見やすさなどを追求するのがインターフェイスデザインである。

インターメディア

芸術上の異なるジャンル、複数のメディアどうしを関合わせ、その“間”に新しい表現を成立させようとする、1950 年代以降活発に実践されるようになった現代芸術の一つの方向性。「フルクサス」「実験工房」等のアーティストたちが先鞭をつけ、既存の枠組みを解き放ち、芸術をひらかれたものにする多様な試みを繰り返してきた。

Industrie4.0

ドイツが世界で初めて IoT の普及を国家プロジェクトとして宣言したもの。コンセプトの中心にあるのはスマートファクトリーという考え方で、製造業のデジタル化・自動化を推進していく点が特徴である。

インタラクティブ

日本語では「相互作用性」と訳す。利用者からの働きかけに対し、その内容ごとに異なる反応を示す。わかりやすく言えばゲームなどがその代表例。コンピュータ登場以前には、人と話すのが唯一のインタラクティブであった。

インタラクティブアート

鑑賞者を巻き込むことで表現を成立させるアート。表現の特徴としては、コンピュータやマイコンなどを用い、それに接続されたセンサー、入力装置が用いて体験型の表現とする。現在ではネットワークやクラウド、さらには人工知能の利用により、新たなフェーズに進んでいる。

インテリアエレメント

インテリアエレメントとは、床・壁・天井の内装材や家具、照明器具、カーテンなどの室内空間を構成する要素のこと。アートやインテリア小物、観葉植物なども含まれる。

インテリアデザイン

インテリア（interior）とは内部や室内という意味であり、インテリアデザイン（interior design）を直訳すると室内設計または内装設計となる。デザインの対象となるのは、住空間だけでなく商空間や公共空間、船や自動車等の乗り物など内部空間のすべてである。よって、室内の床・壁・天井や扉などの開口部の材料や仕上げを考えたり、家具・カーテンや照明器具などを選んで配置を考えたりするだけでなく、その空間での過ごし方やその空間から発するべきメッセージなども考慮しながら室内をデザインすることである。近年、「お部屋のインテリアとして～」と会話で使われる日本語の「インテリア」は「インテリアの飾り」の意味で使われていると考えられる。

インテリアの色彩計画

インテリアの色彩計画とは、空間の使用目的や条件に沿って、床、壁、天井を含む各インテリアエレメントの色を調整し決めること。色の選択だけでなく、色の分量や配置など、どのように組み合わせるかといった配色が重要である。

インテリアの照明計画

インテリアの照明計画とは、空間の目的や用途に適した「機能」や「雰囲気」を有する照明環境を計画すること。計画の際は、ふさわしい照明方式を選ぶことと、照明の具備条件を十分考慮することが大切である。

インバウンド

①元々は「外から中に入り込む」という意味であるが、外国人の訪日旅行の意味でも使われ、日本へのインバウンドを「訪日外国人旅行」または「訪日旅行」と言う。これに対し、自国から外国へ出かける旅行をアウトバウンド(Outbound)または海外旅行と言う。②コールセンターなどで外から電話がかかってくること。③マーケティングの分野では、顧客が欲しい情報をブログや SNS などで発信することで、興味のある見込み顧客自ら関連情報を見つけてもらう手法としてインバウンドマーケティングがある。

インバウンド対策

「訪日外国人観光客」への観光対策のこと。例えば、集客力の向上、外国人観光客が過ごしやすい環境や利便性向上などの受入体制の整備、観光消費額を増やすことを目的にキャッシュレス化への取組や観光魅力、コンテンツの開発、認知度及びクオリティの向上、地域でのトラブルが発生しないようにすることなどの施策。

インプット / アウトプット

インプット / アウトプットとは、制作及びデザインする際の循環プロセスであり、様々な情報をインプットし、それらの情報を整理、分析、分解などを施し、目的に合わせた表現で視覚的にアウトプットすること。

ヴィジュアルスプリクティング

ノードを使用したプログラミング手法のこと。アナログシンセサイザーのようにパッチケーブルを配線する要領でプログラミングを組み上げることが可能である。比較的容易に且つ迅速な開発が可能となる。

ウイルス

生物と無生物の間にあるものと表現され、宿主生物の種類で植物ウイルス、動物ウイルス、バクテリオファージに、また、核酸の違いで DNA ウィルス、RNA ウィルスに分類される。

Web アクセシビリティ

Web 上のコンテンツの使いやすさのこと。元は高齢者や障害者にもアクセスしやすい Web を念頭に置いたものであったが、現在は、様々な利用者の様々な端末で様々な環境からのアクセスを念頭に置いている。JIS X 8341-3 で基準が定められている。

渦糸相図

第 2 種超伝導体に磁場を印可すると磁場の一部が量子化した磁束として超伝導体内に侵入する。これを渦糸と呼ぶ。渦糸は固体（格子、ガラス）や液体など様々な状態をとり、その状態を温度と磁場の関数として表したものが渦糸相図である。

浦

江戸時代に全国各地に発展した港町。海上沿岸交通は車社会以前において、もっとも大規模な移動・運搬手段であり、廻船によって人・もの・情報が往き来した。地域における経済・文化の集散地として大きな役割を果たした。

運動学

運動学とは、体育指導に不可欠な運動に関する様々な知識を体系的にまとめたものであり、運動の特性や構造を明らかにすることで、運動の実践者や指導者に提供するものである。

運動方程式

物体の運動を記述する基本方程式。対象が質点である場合にはニュートンの運動方程式 ($F=ma$) により記述される。本質的には 2 階の微分方程式であり、これを積分することで物体の運動の時間発展を追うことができる。

英語学

英語という個別言語の特徴を研究する言語学の分野で、研究の手法は言語学と大きく変わらない。英語の音、語彙、語順、意味の研究に加え、英語の歴史的な発展、世界共通語としての特徴、さらに第二言語教育への応用研究なども盛んに研究されている。

エイジズム

年齢によって人を差別することをエイジズム（年齢差別）という。主に高齢者の個別性を無視し、年齢の基準によってレッテルを貼ったり、差別的な扱いをしたりすることをいうが、若年者への差別など他世代を対象とした差別も含む。

HTML

Hyper Text Markup Language の略。WWW 上で広く使われている、ハイパーテキストを記述するためのマークアップ言語。HTML5 と呼ばれていた最新版は、現在は HTML Standard と呼ばれている。

HDL

Hardware Description Language の略。論理合成や検証等を行うためのハードウェア記述言語である。プログラミング言語に似た構文や表記法で、回路の構成やその動作条件、配線等を記述することができる。

栄養機能食品

特定の栄養成分の補給のために利用される食品で、栄養成分の機能を表示するもので、ビタミン、ミネラル、一部の脂肪酸などが栄養成分として認められている。

AR

現実世界にある物体に、3DCG で作成された物体等をぴったりと重ね合わせる技術のこと。ただ合成して重ねるのではなく、視点が移動しても違和感なく重なるところがポイント。物体以外に音などの AR も存在する。

エージェンシー理論

プリンシパル（依頼人）が、自分の目的を達成するための行為をエージェント（代理人）に委託することによって生じる関係をエージェンシー関係という。エージェンシー理論は、このプリンシパルとエージェント間のあるべき契約関係を考察する理論。

エクソソーム

様々な細胞が分泌する小型（直径 30 ～ 100nm 程度）の膜小胞で、殆どの体液（血液や尿、髄液など）中に存在している。生体内でマイクロ RNA などを運ぶ新たな細胞間情報伝達媒体として注目されており、特にがんの転移に重要な役割を有していることがわかってきている。その生理的または病態生理的機能の解明が急速に展開されている。

エシカル消費

エシカル（ethical）とは「倫理的・道徳的な」という意味で、よりよい社会に向けて「人や社会、地域、地球環境などを考えて、モノやサービスを選択する消費行動」のこと。

エスキース

エスキースとはフランス語で、スケッチのことであるが、語源的には、「下絵」を指す。美術の世界ではアイデアや初期コンセプト等をまとめ、検討する際の資料とする。

SDGs

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略、2015年に国連総会で決められ、2030年までに目指すべき国際社会共通の目標のこと。

SDGs ウォッシュ

SDGsに取り組んでいるように見えて、実態が伴っていないビジネスのことを揶揄する言葉。実際はそうではないにも関わらず、広告などで環境に良いように思いこませる「グリーンウォッシュ」（見せかけのエコ）が元になっている。

STP 戦略

STP戦略はマーケティング戦略の基礎的フレームワークの1つ。Segmentation（セグメンテーション）、Targeting（ターゲティング）、Positioning（ポジショニング）、それぞれの頭文字を取って名付けられた分析手法でマーケティング戦略の明確化や顧客ニーズの把握、他社との差別化などが目的である。

エストロゲン

エストロゲンは女性ホルモンとして女性の生育や行動、また妊娠の継続に関与し、また、その分泌低下は更年期障害の原因になる。また、エストロゲンは動脈硬化や骨粗鬆症に効果があると考えられており、エストロゲンの作用を持つ物質はエストロゲン製剤としてホルモン補充療法などの治療薬として利用されてきた。しかし、ホルモン補充療法は乳がん発症などの副作用が指摘され、動脈硬化や骨粗鬆症に対しては他の治療法が推奨されている。

XBRL

経営成績や財務状態などの情報を作成するためのコンピュータ言語である。EDINETで開示されている報告書はこれによって記述し、提出することを金融庁は義務付けている。

エッジインテリジェンス

データ解析やソリューション開発のために、データソースに近いエッジノードにAIを導入すること。

エッジコンピューティング

データの処理をデータ源のエッジノードで行う分散コンピューティングである。クラウドコンピューティングを補完し、アプリケーションの応答を向上させる。

EDINET

証券取引所に上場している企業（上場会社）が提出している有価証券報告書を見ることができるサイトである。

NFT アート

デジタルアートと仮想通貨のブロックチェーン技術を組み合わせ、唯一性を証明し、デジタルアートを価値づけることができる。絵や音楽以外にもさまざまな形で作成される。また投資分野としても急成長しており、アーティストだけでなく多くの投資家が投機目的で取引をおこなっている。

NPO

Non-Profit Organization の略。民間非営利組織。公益目的の活動を行うが、民間組織として行政とは異なる立場と視点から活動する。利益を得ても関係者の間で分配せず公益目的の活動の原資とする点が企業と異なる。

FTA

Free Trade Agreement の略。日本語の名称は自由貿易協定。地域貿易協定の一種。日本の FTA の多くは経済連携協定（EPA）と呼ばれる。FTA では、域内国のそれぞれが、域外国に対して、独自の通商政策を持つことができる。

FDTD 法

マクスウェルの方程式を Yee 格子を用いて直接、空間・時間領域での差分方程式に展開して逐次計算をする電磁界シミュレーション手法。無線通信の普及から、周辺機器や生体への影響評価のため重要となっている。

FPGA

Field Programmable Gate Array の略であり、開発者の手元で何度でも変更できる集積回路で、自由度の高い製品を短期間で開発できる。最近では、高い処理能力が求められる AI 分野でも応用されている。

絵本

子どもたちにとって絵本は最初の本であり、物語・文学である。このような文化的意義のみならず、今はブックスタート（0 歳児健診時に絵本とメッセージをプレゼントする活動）に明らかなように、子育て支援でも高い評価を得ている。

MR

いろいろな企業が使っている言葉だが、今のところは Microsoft の Hololens で使われている「奥行きも重なりもきちんと考えた AR の発展版」が一番普及していると思われる。

M&A

「Mergers and Acquisitions」の略語であり、企業の合併・買収のことである（Merger = 合併、Acquisition = 買収）。資本提携や業務提携を含める場合もある。

エリア再生

人口の減少や空き家の増加等により活力がなくなったエリアを、リノベーションやコンバージョンなどの手法によりソフト的・ハード的に活力を取り戻すこと。個々の建築的価値よりもエリアの価値のほうが地域の維持には重要であることやハード的改修よりもソフト的再生が効果的であるという時代背景に起因する。

LCC

Low-cost carrier の略称で、格安航空会社。効率化によって低い運航費用を実現し、低価格の運賃で運航サービスを提供する航空会社を指す。これに対し日本航空（JAL）や全日本空輸（ANA）のような従来型の航空会社は「Full Service Carrier」（FSC）、または「Legacy Carrier」と呼ばれる。

煙火

花火の業界用語で打上煙火やがん具煙火等がある。

エンカウンターグループ

Carl Rogers が始めた集団療法の一つ。集中的グループ体験であり、1 人または 2 人のファシリテーターと通常 6 人から 10 人程度の参加者であるメンバーで成る。グループには決められたテーマはなく、メンバーがその時の気持ちを大切にしながら、お互いの話を聴き、ファシリテーターは一人一人の存在を大切にしながら、話したい人が話をし、話したくない人が話すことを強要されない場を提供する努力をする。

エントリーシート

就職希望者が志望先の企業に、筆記試験や面接の前に提出する応募書類の一つで、志望動機、自己 PR、就職後の未来像などを記入する項目がある。就職希望者は企業に対して自分をアピールし、採用側は内容を参考に選考する。

エンパワメント

自分自身の生活を自分自身で決定し、統制できている状態。社会的・環境的な要因によって力を奪われた人々の権利擁護の過程の中で創出された概念で、人々が本来持っている力を発揮できるように支援する過程でもある。

応答的保育

子どもの育ちを支え促すためには、子どもにとっての環境が応答的であることが大切となる。周囲の保育者（大人）が子どもの言葉、表情、動き、状況の中から思いや意図を受け止め、子どもからの働きかけに応え適切に関わる保育（環境）を指す。

OTA

Online Travel Agent の略であり、オンライン（インターネット）上だけで取引を行う旅行会社を言い、国外や旅行業以外の企業からの参入がある。旅行は形のない商品（情報）だけに、オンライン取引と馴染みやすく、取引額は拡大している。

オートチューニング

産業機械を駆動するモータの制御パラメータを自動調整する機能であり、ロボット、半導体製造装置、工作機械などを高速・高精度・高安定に駆動させるために必要な技術である。

オーバーツーリズム

特定の観光地にキャパシティ以上の観光客が押し寄せること。またその状態を言う。オーバーツーリズムが発生すると、観光地や観光施設が混雑状態に陥り、観光客の満足度が低下しやすくなる他、騒音や渋滞などによる地域住民の生活環境の悪化、自然環境への悪影響を引き起こすなど、さまざまな弊害が生じる。観光公害。

オープンソース

ソフトウェアの中身（ソースコード）が公開されている状態、もしくはそのような状態のソフトウェア。コピー、改変、再配布が自由で無料の場合が多い。代表例としてスマートフォンの OS である Android やウェブブラウザの Chromium などがある。

オープンデータ

機械判読に適したデータ形式に基づき作成され、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータのことである。誰でも許可されたルールの範囲内で自由に複製・加工や頒布などができる。

音環境計画

対象空間における騒音の伝わり方、音響材料の性質および室内拡散音場について事前に予測し、騒音の防止や適切な室内音響について計画すること。

オブジェクト指向プログラミング

オブジェクト指向の概念では、役割を持ったオブジェクトが相互にメッセージをやり取りすることによりシステム全体を実現する。この考え方に基づいたプログラミング言語を用いてシステムを記述する方法である。

オフショアリング

社外に業務の一部を委託することをアウトソーシングというが、それを海外に対して行うことをオフショアリングという。また、ソフトウェア開発のオフショアリングのことを、オフショア開発という。

大伴旅人

『萬葉集』を最終的にとりまとめたとされる大伴家持の父。神亀四（727）年末頃に大宰府の長官として九州に下向し、数々の歌を残した。元号「令和」の出典となった「梅花の歌三十二首」（序文・歌）は、大伴旅人の自邸で開かれた宴で生み出された作品である。また、大伴旅人の名は、西鉄の観光列車やバスの名（「旅人」）としてもよく知られている。

オマージュ

①尊敬、敬意、賛辞。②尊敬する作家や作品に影響を受け、似た作品を創作すること、またその創作物を指す語である。しばしば「リスペクト」（尊敬、敬意）と同義に用いられる。

オムニホイール

自動車に使われる一般的なゴムタイヤとは異なり、全方向へ移動するロボットに利用される特殊車輪。一般的には複数のタル型フリーローラが使用されており、進行方向とは異なる方向に滑りを発生させることができる。

オルタナティブツーリズム

マストツーリズムに対する“もうひとつの”（代替の、alternative）観光のこと。自然環境の破壊や伝統的文化の変容、騒音、渋滞など、観光の大衆化にともなって観光地において生じた弊害をできるだけ回避することをめざす観光の形態の総称である。

オルレ

韓国・済州島から始まったトレッキングコースで、済州の方言で「通りから家に通じる狭い路地」という意味。九州オルレは済州オルレの姉妹版で、各県にコースがある。自然保護、地域交流は来訪者を魅了し、新たな観光として注目される。

卸売市場

農産物を産地から消費地に集荷し、卸売業者と仲卸業者・売買参加者とが取引することによって地域の需給バランスに応じた価格を形成し、消費者が農産物・食品を購入している地域の量販店や飲食店などに分荷する流通施設。

音韻

実際の言語音声を、その言語の意味の区別に役立つかどうかという点から区別した時の最小の単位。日本語学では、それらの総体を音韻と称することもある。

カーボンニュートラル

環境に関する用語で「温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」ことを意味。日本語では炭素中立と言う。人間活動によって排出される温室効果ガスを、人間活動によってすべて吸収・除去することで、排出される二酸化炭素（排出量）と吸収される二酸化炭素（吸収量）が同じになるようにすること。カーボンニュートラルが実現された社会を「脱炭素社会」と呼ぶ。

海外直接投資

経営への影響力行使を目的として、企業が海外に対して行う投資（株式の取得や工場の建設など）のことで、投資を受け入れる側からは「対内直接投資」と呼ばれる。近年、開発途上国では、工業化を促進する手段として重視されている。

解決志向アプローチ

インスー・キム・バーグとスティーブ・ディ・シェイザーらによって提唱された心理援助の方法。問題よりも人々の肯定的側面に焦点を当て、そうなりたい自分（解決の姿）を実現させていく。シンプルで実用的で安全性が高いことが特徴である。

介護ロボット

介護施設や家庭内で介護を支援する。屋内の移動には装着するタイプやそうでないものがありパワーアシストをおこなう。例えばベッドから車いすへの移乗を介護者が行う場合、腰痛防止のためにパワースーツが使われる。屋外の移動には坂道などでブレーキをかけ安全を保つものがある。その他、入浴、トイレ、またベッドサイドの見守りをするものがある。

会社

企業活動を行うために設立される経済組織体の一形態である。日本では会社法に基づいて設立されるため、法人格が付与される。共同での出資による設立が通常であるが、現在の会社法では単独での出資による設立も認められている。

街道

江戸時代に全国各地に発展した陸上交通路。街道沿いに宿場町が栄え、大名行列の通過する街道では、とくに経済・文化面において各地特有の発展を促した。福岡では赤間宿、木屋瀬宿がかつての雰囲気伝える。

外部化と集中の経済性

特定の活動を外部業者に委託し、自社は別の活動に集中することで得られる経済的便益の総称を指す。たとえば大規模な生産設備を持つ外部業者に生産委託すると規模の経済性が発揮されるため、自社で生産するよりも単位あたりコストを低減させることができる。このとき、生産にかかっていた費用を研究・開発など自社の強みに関わる活動に集中的に充てることができるため、より強みを強化していくことができる。

外部性

ある個人、またはある企業の行動が市場を通さずに他の第三者（個人、企業）に影響を及ぼすことである（技術的外部性ともいう）。外部性には、プラスの影響を与える正の外部性とマイナスの影響を与える負の外部性がある。

解剖生理学

人体の構造と機能を解明する分野で医学の基礎である。

界面活性剤

ひとつの分子中に親水部と疎水部を持つ物質の総称で、おもに水と油剤など混じり合わない物質の境界である界面において双方に作用して馴染ませる働きがある。

科学革命

ルネサンス以降の欧州における自然に対する姿勢の一大転換。宗教と結びついたギリシャ的自然観に対する批判的再検討の結果、ニュートンら多くの科学者により、普遍的な自然法則を導き、それに基き自然を理解するという現代的科学観が生み出された。

科学的管理

19世紀末～20世紀に従来の勘と経験による成行管理から、調査・研究・分析による管理を目指したのが科学的管理である。当初、現場課業の管理体系（テイラー・システム）として成立したが、企業活動全般への科学の応用という意味では、現代の管理の根幹である。

格差社会

親の所得や出生地域・国、ジェンダー、年齢などにより、教育機会や得られる収入、社会的な地位が決定づけられる不平等な社会を意味する。近年では、富める者の子世代が富み、貧しい者の子世代が貧困に陥る格差の固定が社会問題となっている。

学習指導要領

各学校における教育課程（教科指導や特別活動等の全体計画）の基準として文部科学省が大綱的に定めるもの。およそ10年に一度改訂され現行の高等学校学習指導要領は令和4年度から実施。

学習指導論

授業づくりの過程で、授業の目標・内容・方法・評価のそれぞれを明らかにするとともに、これらを統合的に貫く理論。体育の場合、「学習の共同性」に貫かれる「グループ学習論」や「学習の個別化」による「めあて学習論」が代表的である。

学習集団

授業における学習者の集団のことで、単に活動の時空間を共有し、協力し合う「協働」だけでなく、活動の目的や成果を共有しつつ、役割を担い合ったり、教え合ったりという活動を通じて「みんなができる・わかる」を目指す集団のこと。

学生相談

大学に設置された主に学生を対象とした心理支援の場。個別対応やグループ対応をおこなっている。学業について、就職についてなど学生の悩みを聴く場である。

確率的プログラミング

確率的なモデルを指定し、そのモデルに対する推論を自動的に行うプログラミングパラダイムである。普通のプログラミング言語に、プログラムの統計的な振る舞いを理解するのに役立つ関連ツールを足して、不確実性に直面した場合の意思決定を支援するシステムの構築に利用できる。

課税の超過負担

消費者や企業に課税を行うと、それらの消費行動や生産行動が影響を受けて、需要曲線や供給曲線が変化してしまう。結果、市場均衡が変化して、それぞれの余剰も変化して、社会的余剰が減少する。この減少分を課税の超過負担という。

過疎・過密

大都市への労働力人口の移動の結果として生じる社会現象。若年層を吸収される非都市部では異常な人口減少である過疎が生じる一方、若年層を吸収する都市部では人口が増え続ける過密が生じる。就労機会といった労働問題とセットで論じるべき社会問題である。

画像解析

デジタル画像から、色や形状などの特徴を手掛かりにして、そこに写っている対象に関する情報を解析する技術のことである。防犯、医療、車・ロボットの視覚などに応用されている。動画の場合は動画画像解析と呼ばれる。

画像処理

入力画像になんらかの処理を施して出力画像を得ることである。画像補正、画像変換、加工、特徴抽出など、目的に応じてデジタル画像を処理する。その目的毎に適切な画像処理アルゴリズムを記述することが必要となる。

仮想発電所

需要家側エネルギーリソースや電力系統に連系されている発電・蓄電設備等のエネルギーリソースを制御することで、発電所と同等の機能を提供する仕組みのこと。

可塑性

外から力を加えたときに自由に形を変え、力を取り去ってももとに戻らない性質を表した言葉である。粘土や合成樹脂などの物質だけではなく、人の能力や性質の柔軟さや成長の可能性などを示す言葉としても使用される。

学校環境衛生基準

児童生徒や教職員の健康を保持増進するために維持されることが望ましい基準として、学校保健安全法により定められているもの。教室及び水道、衛生、プール、日常の環境衛生に係る項目がある。

学校行事

学校で行われる教科外の教育活動。たとえば、入学式、卒業式、運動会、修学旅行がそれに該当する。特に日本では学習指導要領にもとづき初等教育、中等教育諸学校において「特別活動」の一つとして正規の教育課程として位置づけられている。

活性酵素

種々のものに対して酸素が活性に働くこと。

活性酸素

呼吸によって体内に取り込まれた酸素の一部が通常よりも活性化され、反応性の高い状態になること。ヒトでは取り込んだ酸素の数%が活性酸素に変化すると考えられているが、通常、活性酸素の産生と抗酸化機構のバランスが保たれている。活性酸素の過剰な産生は、生活習慣病やがん、老化に関係すると言われている。

家庭支援

少子化や急変する家庭状況を受け、多様な子どもと家庭を支援することが保育現場でも求められている。保育者養成課程の講義の中で、家庭支援の必要性を学び、具体的な支援の展開や関係機関との連携について理解する。

株式

株式会社に出資をした証拠となる有価証券で、その保有者が株主（会社の所有者）となる。株主は、株主総会を通じて会社の経営に参画する権利や利益の分配を受ける権利がある。

株式会社制度

株式により資本集中する株式会社はわが国の代表的企業形態（法人企業の約95%）であり、その本質は資本集中の機構（資本金10億円超の企業の90%）である。株式会社制度の成立・普及により、資本主義の発展と高度な産業化が可能となった。

壁式構造

建築物が外からの力に耐えるために、壁や床スラブなどの面材で抵抗する構造。建築物を支える構造の一つ。

加法混色

色光（光）の三原色であるレッド（Red）・グリーン（Green）・ブルー（Blue）の混合比により、全ての色を表現する方法。色光による混色では明るさが増し、色光の三原色を最も明るい状態で混色したとき白色（白色光）になる。このような混合の仕方を加法混色と言う。

科目ナンバリング

開講しているすべての科目に付けられたナンバーのこと。教育課程の体系が容易に理解できるように、科目間の連携や科目内容の難易を表す番号をつけ、学修の段階や順序等を表し、教育課程の構造や体系性をわかりやすく明示する仕組み。

カラーグレーディング

シーンの内容やイメージに合わせて、映像の色調をコントロールする作業工程のこと。光や色は人間の映像認知に大きな影響を与えるため、ポストプロダクションで行われる作業の中でも重要な工程の一つといえる。

カリキュラム

学習段階に応じて教育内容と学習支援を計画的に編成したもの。

カリキュラム・ツリー

履修系統図。カリキュラムの年次進行、授業科目間のつながりなど、学習成果の達成に向けてどのような授業科目が連携し年次配当しているかを図で表したもの。

カリキュラム・ポリシー

教育課程編成・実施の方針。教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために、教育課程の編成及び教育内容・方法の実施、学修成果の評価に関する基本的な考え方を定めたもの。

カリキュラム・マップ

授業科目と教育目標の関係を示した表。履修系統図であるカリキュラム・ツリーを発展させ、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）」に基づき、各科目が卒業までに身につけるべき能力との関連や、学修成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したもの。

カリキュラムマネジメント

学校が教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立て、実施、評価、改善まで総合的かつ継続的に行うこと。

加齢効果

年齢差のある集団間の差が時代背景によるものではない場合、その差は加齢効果による差となる。加齢効果とは、いつの時代でも加齢によって共通した変化が見られることをいう。加齢は世代差によって修飾され、加齢の影響は過大に評価されがちになる。

がん

がんは悪性腫瘍のことで、遺伝子の突然変異により細胞が不死化（腫瘍化）したのちに悪性（浸潤や転移をすること）になった細胞の集団をいう。30 年以上の間、日本人の死亡原因の第 1 位であり、年間 30 万人以上の日本人ががんで亡くなっている。がんに関係する遺伝子は多く知られており、KANK1 遺伝子は腎がんのがん抑制遺伝子として、がん化を抑制していると考えられている。がん抑制遺伝子の突然変異により機能ができなくなると細胞ががん化すると考えられている。

漢画

中国絵画のことを指す場合もあるが、中世では中国よりもたらされた絵画、しかも同時代ではなく、過去の宋元代の絵画をもとに日本で描かれた絵画を指す。これには将軍の御物とそれを管理した同朋衆が大きな役割を果たし、同時代の水墨画を中心とした絵画制作やのちの狩野派の展開に大きく寄与した。狩野派の絵画は近世になると漢画とやまと絵を統合したものと位置付ける。

環境応答

環境刺激に対して何らかの応答がおこること。

環境計画

建築や都市の計画をする際に、環境負荷を低減し省エネルギー化を図り地球環境の保全に寄与できる計画の総称。

環境工学

環境問題を技術的に解決したり、環境を向上させたりする、具体的かつ現実的な方法を探り、そのしくみをつくらうとする研究分野。環境とは、衣環境、食環境、住環境、建築環境、地域環境、都市環境、熱環境、学習環境、居住環境など多岐にわたる。

環境法規

自然環境の持続可能な利用に関わる法令や条約、そしてこれに関連する議定書や宣言など（を理解する学問）。

環境マーケティング

企業活動を環境に調和するように見直し、それを企業経営として成立できるように市場に働きかけることや、環境保全につながる行動を促進するためのマーケティングの手法のこと。

関係人口

その土地に住んでいる、または移住した「定住人口」でもなく、観光などで訪れた「交流人口」でもない、その地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。

観光学

観光に関わることを学際的に研究する学問。観光を構成する観光者や観光地、観光ビジネス、観光政策、の 4 つの要素および要素間の相互作用を体系的に学ぶ学問。

感光性樹脂

光を照射することにより構造変化や重合反応を起こして、本来有する性質が著しく変化する高分子材料の総称のこと。半導体作製用のレジスト材料や、テレビやスマートフォンなどの有機 EL ディスプレイ、3D プリンタ、ジェルネイル、歯科材料等、様々な用途で使用されている。

観光地ライフサイクル

地理学者 R.W バトラーが提示した観光地の発展段階を説明するモデル。観光地は探索段階、住民参加段階、発展段階、完成段階、停滞段階、衰退段階の 6 段階を経て発展し、各段階の特徴に応じて適切なマネジメントが求められる。

観光 DX

観光分野におけるデジタルトランスフォーメーションのこと。データとデジタル技術を活用して観光地や観光企業が環境の変化に対応しながら、観光商品やサービスの品質を向上し、ビジネスモデルを変革することによって、地域の経済を活性化させ、基盤を強化させることが狙い。

観光ビジネス

観光現象を成立させる基礎的な機能。観光者、観光地を結びつけるための機能を発揮する。交通業（航空・鉄道など）、宿泊業（ホテル・旅館など）、旅行業の他にも国や地方自治体なども観光者集客のためのさまざまな事業を展開する。

観光立国推進基本法

日本の観光に関する政策の目的や諸政策を示した法律で、1963 年に制定された旧「観光基本法」を全面改正し、2007 年に施行された。この法律において、観光は 21 世紀における日本の重要な政策の柱として位置づけられた。

乾性油

リンシード、ポピーなどの、「乾燥して固着」する、画面に定着する油。

間接流通

メーカーは卸売業者や小売業者などの流通業者を介在して消費者に間接販売する形態である。直接流通と比べて、広範囲で多数の消費者に効率的に商品を販売することができる。

完全競争

市場に存在するすべての売り手と買い手が価格を所与（プライステイカー）として行動する状態。言い換えるならば、すべての売り手と買い手が財の価格に影響力を持たない（価格に対する個々の影響力が非常に小さい）状態。

完全失業者・完全失業率

完全失業者とは、仕事をしておらず、仕事を探しており、仕事が見つかり次第すぐに働ける人のことを言う。また、働いている人と完全失業者を足し合わせたものに占める完全失業者の比率を完全失業率と呼ぶ。

顔料

絵具の素となる、色のついた粉末状の物質の総称。英語名：pigment。

官僚制組織

「ルールに基づく職務の遂行」、「文書に基づく遂行」、「明確な職務権限の原則」、「階層的な権限体系」、「専門的訓練」、「フルタイム勤務」の6つの要素を兼ね備えた組織。これらの要素により、組織は安定性と効率性を実現することができる。現代の大規模な組織は程度の差こそあれ、ほぼすべてが官僚制組織であるといえる。他方で、この官僚制組織には「手段の目的化」、「最低許容行動」、「顧客の不満足」、「革新の阻害」、「訓練された無能」などの逆機能もある。逆機能はどのようにしても生じてしまうため、その悪影響をいかに小さくするのが組織のリーダーには問われる。

キーフレーム

動きの作成や記録の基点となるフレーム。

議院内閣制

イギリスで発達した議院内閣制は、行政権を行使する内閣の基盤を、立法機関である議会からの信任に求める制度であり、国民の代表である議会の信任に基づいて内閣が成立する政治制度である。

祇園祭

旧暦の6月、現在7月に数日間にわたり行われる疫病退散を願う都市祭礼。京都の祇園祭を筆頭に全国各地で行われ、大きな山鉦や山車が巡幸する。福岡では7月1日から15日に行われる博多祇園山笠が有名。

機械学習

機械学習（人工知能の一部）とは、データを分析する方法の1つであり、様々な手法（アルゴリズム）を用いて、データに内包する傾向・パターンを学習させ、コンピュータに自律的判断を行えるようにする技術のこと。

機械工作

機械要素、機械を作るには、通常バイト、エンドミル、金型という工具、旋盤、フライス盤、溶接機という加工機械を使用して、切削、溶接、組み立てなどの手法を利用して行われる。このような設備・工具を含む機械の製作プロセス・技術を機械工作という。

機会費用

ある選択（活動）をするときにあきらめたものの価値を指す。労働のみを用いて生産されるA財とB財が存在するとする。A財とB財のそれぞれを1単位だけ生産するために必要な労働量が1時間と2時間である場合、1単位のB財を生産することの機会費用は2単位分のA財である。

機械要素

機械は特定の運動を実現する物体の組合せである。特定の運動を伝える各部分の組合せを機構といい、機構を構成する一つ、一つの要素を機械要素という。例えば、ボルトとナット、軸とベアリング、クラッチとブレーキ、歯車とばね、など。

器楽合奏

音色の異なる複数の楽器で演奏する形態およびその音楽。管楽器、弦楽器、打楽器などが用いられ、その組み合わせや編成、演奏人数は多様。幼児教育・保育の場では、比較的演奏が平易な打楽器が活用される機会が多い。

規格判

日本工業規格（JIS）の規定（紙加工仕上寸法）に従った印刷物や書籍の大きさのものを規格判と言う。規格判には、A 列と B 列の二系列がある。また、書籍の大きさのことを判型（はんけい、はんがた）と言う。

危機耐性

設計において照査の対象とされていない事象によって生じる危機にも耐えうる性質。東北地方太平洋沖地震（2011）において原子力発電所の事故や巨大津波による被害など設計で想定されていなかったことに帰着される考え方である。

危機にさらされている世界遺産一覧表（危機遺産一覧表）

世界遺産条約第 11 条第 4 項により、世界遺産委員会が、世界遺産一覧表に記載されている遺産のうち、「重大かつ特別な危険」にさらされていると判断したものを記載した一覧表のことである。

企業家精神

事業創造や新商品開発等に高い創造意欲を持ち、リスクに対しても積極的に挑戦する姿勢や発想、能力等を指すアントレプレナーシップのことで、独立心や達成動機、独創的な発想力が中核となる。ベンチャー企業の起業家が持つ精神として起業家精神と定義されることもある。

企業研究

企業が創り出す商品やサービスによって、私たちの日常生活や社会、世界のあり様は大きく変化している。企業とはどのような役割を果たし、どのような存在なのかについて理解し考えていく企業研究は、私たちが他の人々と共に生きていくことについて考えることにもなる。

企業の社会性

「どれだけ稼ぎ出したか」を重視する企業の「収益性」に対して、「いかに社会的にプラスのインパクトをもたらしたか」を重視する、企業を評価する新しい指標の一つ。

危険因子

ある疾患の発生や進行を促進する因子。心血管病や認知症には種々の生活習慣や高血圧、糖尿病などが危険因子となるが、高血圧や糖尿病の危険因子を考えることも大切である。また、他の疾患でも危険因子を問うことができる。

機構設計

機械の運動が構造に強く関連しており、両者の関係を対象とする学問は機構学である。これは機械工学の最も基礎になる技術・学問領域の一つにもなる。機械を製作するには機械の設計から開始し、機械の設計においてまず考えるのは運動の実現、すなわち適切な機構の選択・設計である。

気候変動

気温と気象パターンの長期的な変化。太陽の周期的変動も影響するが、1800年代の産業革命以降、温室効果ガス（化石燃料の燃焼時に生成されるCO₂など）の排出など、人間の活動が気候変動（地球温暖化）の主要因であることは疑いの余地がないとされる。

技術者倫理

技術者倫理とは専門職倫理の一つである。技術者は、人の生命や健康と深く関わることになり、特に安全性を守る義務が強く課せられる。さらに、組織として技術を行使することが多く、組織の利潤を追求する義務も課せられる。

基礎構造

建築物に作用する力を地盤に伝える部分の構造で、直接基礎と杭基礎に分類される。

基礎代謝量

心身ともに安静な状態において、血液循環、呼吸、体温維持など、生命活動を維持するために必要な最小限のエネルギー消費量。一般成人では、基礎代謝量の約20%を筋肉（骨格筋）が消費する。

基底状態

原子や原子核などを構成する粒子や化合物の量子力学系のエネルギーは、さまざまな値をとるが、このうちエネルギー値のいちばん低い状態。

機能性高分子

特徴的な分子構造や反応性の置換基を持つことによって、通常の高分子が有する物理的特性（機械強度や加工性、化学的安定性）に加え、優れた耐熱性、透明性、電気導電性等の機能を付与された高分子化合物及びその複合材料の総称のこと。あらゆる産業製品の原材料として使用される。

機能性表示食品

国の定めるルールに基づき、事業者が食品の安全性と機能性に関する科学的根拠などの必要な事項を、販売前に消費者庁長官に届け出ることによって健康機能を表示することができる食品。

揮発性油

テレピン、ペトロロールなどの、「時間がたつと気化し」、画面にほとんど残らない油。

規模の経済性

製品・サービスの産出量が増えるごとに、より固定費が分散され、単位あたりの平均費用が下がることを指す。固定費とは、製品・サービスの産出量にかかわらず、必ずかかる費用のことを指す。1日稼働させると1億円の費用がかかる工場があるとする。もしその工場ですら1日あたり1個の製品しか作ることができなければ、1億円の費用はその1個の製品を通じて回収せざるを得なくなるため、その製品を1億1円以上で売らなければ利益を獲得できない。しかし、もし1日あたり1億個の製品を作ることができればその1億個の製品に固定費が分散されるため、2円以上で販売するだけで利益を獲得できる。規模の経済性は生産だけではなく研究・開発や流通、広告など、企業の活動のいたるところで生じる可能性がある。

基本的な動き

日常生活に必要な動き、とっさの時に身を守る動き、将来的にスポーツに結び付く動きへ繋がる動き。体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具などを操作する動きに分類される。自発的に様々なあそびを体験しながら習得するのが望ましい。

キャッシュ・フロー計算書

一定期間（通常は1年間）における企業のキャッシュ・フローの状況を示す報告書である。営業、投資、財務の活動ごとに資金の流入と流出（収入と支出）を区分表示して、企業全体の資金の流れと増減の原因を明らかにする。

キャッチコピー

みた（聞いた）人の心をキャッチする短く印象的なフレーズ。訴求するモノの本質を的確につくだけでなく、深くターゲットへ響く言葉となることで商品に強い個性が生まれる。

CAD

Computer（コンピュータ）Aided（支援）Design（設計）の3つの単語の頭文字を組み合わせた略語。CADを用いることで人の手によって行われていた設計作業・製図作業をコンピュータで行い、効率を高めることが可能になる。

CAM

Computer（コンピュータ）Aided（支援）Manufacturing（製造）の3つの単語の頭文字を組み合わせた略語。CADで設計した図面からその製品を工作機械で加工をする際に必要なプログラムを出力するソフトウェアのこと。

キャリア支援

人が自分の未来に意義を感じられるようになるための支援。キャリア支援を受ける人の体験は、山登りの途中で周りを見渡し、様々な出会いや経験を思い出し、歩いてきた甲斐があったことを実感し、これから歩いていく道を思い描き、先々を楽しみにすることに似ている。

九州温泉道八十八湯めぐり

九州の温泉対象施設88か所を「湯遍路」となって巡り「ご湯印帳」に施設印を押していく企画で、広域観光やリピーター対策にも繋げている。九州温泉道実行委員会が運営し、毎年九州八十八湯選定委員会にて対象施設選定が行われる。

九州観光機構

九州地方知事会と九州経済連合会など経済団体から成る九州地域戦略会議で策定された「九州観光戦略」の実行組織。2005年4月に設立後、第二期観光戦略初年度の2014年に一般社団法人となった。2018年広域連携DMOに認定。2022年6月、名称を九州観光推進機構から「九州観光機構」に変更。

吸収波長

連続したスペクトルをもつ電磁波が物質に当たったときに、その物質特有の波長範囲の部分が選択的に吸収される波長のこと。

教育改革

国家はそれぞれ教育の目的を規程している。教育改革とは、その教育目標を達成するために社会の需要や要請に応じて、教育制度、とりわけ学校教育における制度、内容、方法を変え、最適な教育制度に整備するために行われるもの。

教育課程

学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を子どもの心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織する学校の教育計画で、各学校で編成するもの。

教育行政

一般的には「公教育」を運営する国・地方公共団体の行政作用として理解されるが、教育行政は、学問の自由と教育の自主性を尊重し、教育の目的遂行に必要な諸条件の整備確立を目標として行われなければならない。

教育権

一般的には憲法 26 条の「教育を受ける権利」を意味するが、教育行政学者の宗像誠也によれば、それは教育行政の中における教師の地位の問題、教育課程の自主編成の問題、教師の人事権の在り方等「教育する権利」の問題にまで広がる概念である。

教育工学

工学技術を教育に応用しようとする研究分野。

教育哲学

教育の本質を人間とのかかわりの中で、多様な側面から探究していくときの普遍性と現実的有効性のバランスを常に吟味していく学問。

教育法

法論理としての教育法は、「教育制度に特有な法論理の体系」であり、現代における社会生活の各分野ごとに独特な法として生じている「特殊法」である。このことは、教育という事柄の性質に即して正しく条理解釈できる可能性をもつものであることを意味する。

業界の平均的利益を決める5要因

M. Porter が提唱した、業界の平均的利益を決める「業界内の競争の激しさ」、「売り手の交渉力」、「買い手の交渉力」、「新規参入の脅威」、「代替品の脅威」の 5 つの要因のことを指す。これらの要因は業界固有の構造的要因であり、一企業の努力だけで変えることは困難であるため、戦略立案時には事前にどの業界の平均的利益が十分に高そうであるかを分析しておくことが重要であるとされる。

競技力

スポーツ競技を遂行する能力。目標を達成するために集約される能力のこと。

競争戦略

狭い意味では、同じ業界における業者間の競争を指しているが、広い意味では、同業者間の競争に加え、その業界にとって買い手や売り手となる業界との力関係、代替製品による影響の強さ、さらにその業界に企業が新しく参入する難易度の総合的な要因を考慮したものを意味する。

業態店

コンビニエンスストアや百貨店、スーパーマーケットなどのように商品の「売り方」によって小売業を分類する方法である。

競争と協調・共創

これまでの時代では「競争」に打ち勝つ戦略が重視されてきたが、現代のような不確実性の高い時代では、一連の観光行動プロセスにおける商品提供が観光者の利便性を向上させることから、観光ビジネスにおいても業界や企業が協力し合って観光集客システムを構築する「協調」・「共創」へと変革することも重要である。

業務系施設

住宅と対比して生産活動、経済活動を行う施設のこと。一般的には、オフィス、商業店舗、工場を指すが、行政サービス施設や医療施設、教育施設を対象に含める場合もある。

極値

1変数の関数 $f(x)$ と定数 a に対して、 $f(a)$ の値が a の近くでの $f(x)$ の最大値となるとき、 $f(a)$ の値を極大値という。また、 $f(a)$ の値が a の近くでの $f(x)$ の最小値となるとき、 $f(a)$ の値を極小値という。

近世

江戸時代のこと。古代・中世と近代の境界に位置する。文学史においては、伝統的な古典文学を受け継ぎつつ、近現代文学へと続く可能性を胚胎した時期。

均斉成長経路

均斉成長経路は資本労働比率が一定に保たれる成長経路である。新古典派経済成長論では任意の初期状態から出発した成長経路は均斉成長経路に収束し、技術進歩がないとき、均斉成長経路上の経済成長率は人口成長率に等しい。

近代経済成長

産業革命以前、どの国と地域においても1人あたり実質所得の顕著で持続的な上昇は見られない。産業革命が発生すると、各国では1人あたり実質所得の持続的な上昇が始まり、この特徴を持つ経済成長の型を近代経済成長と呼ぶ。

近代建築史

近代以降の建築様式（おおよそ18世紀以降に共通してみられる建築の形・色・素材などの特徴）を明らかにする学問である。近代は地球規模で各地の建築様式が影響しあった時代であり、世界各地の建築様式を考察する。

勤勉革命

ヨーロッパの産業革命が資本の投下量を増加させ、労働力を節約することで経済発展を果たしたのに対し、近世日本の勤勉革命は資本を節約し、労働力の投下量を増大させることで経済発展を果たしたとする日本経済史の学説。

金利・利子率

貸借された資金（元金）に対して、利息がどのくらいの割合で支払われるのかを表す数値。一般的に百分率（％）で表すので、 $\text{利息} \div \text{元金} \times 100$ の計算で求められる。

筋力トレーニング

日常生活より高い負荷をかけ、特定の動作を行うトレーニング方法。動作中かける負荷は自重あるいはウェイトスタック（おもり）を用いることが多い。抵抗負荷運動、レジスタンス運動とも言われる。

クアオルト

ドイツ語で療養地や健康保養地を意味する。由布院の溝口氏、中谷氏、志手氏は 1971 年欧州温泉保養地を視察。単なる観光地化ではなく、温泉、文化、自然等の住民生活環境を整えるクアオルト構想が推進され、現在の由布院の礎を築いた。

空間デザイン

住宅や建築などは、人間の諸活動が行われる「空間」を内包するが、空間デザインとは、床、壁、天井、窓などの「もの」の操作によって、空間の機能や質・性能、そこでの人間の活動や心理などをコントロールする行為である。

空気環境計画

居住者の健康に重大な影響を及ぼす室内空気について、機械換気と自然換気を適切に計画し、シックハウスをはじめとする諸問題を事前に解決すること。

クールジャパン戦略

食、ものづくり、アニメ、ポップカルチャーをはじめ世界から「クール（かっこいい）」と捉えられる日本の魅力に世界の共感を得ることで、日本のブランド力を高めソフトパワーを強化して、日本の経済成長につなげようとする戦略。

クールノー競争

企業が価格ではなく生産量を選択するような競争をクールノー競争と呼ぶ。ここでは、企業が選択した財の生産量に応じて市場価格が決定される。

くずし字

草書体で書かれた文字。特に変体仮名を言う場合もある。前近代の文学作品や文書はくずし字で書かれる場合がほとんどだった。

組合せ最適化

二種類の物 A と B を欲しいとした場合、どちらも買わない、A だけ買う、B だけ買う、全部買う、というような組み合わせの中で、どれが一番良い（最適）かについて理論的に考える分野を組合せ最適化と呼ぶ。

組込みソフトウェア

ソフトウェアによって実現する制御に従って、ハードウェアを動作するシステムである。ソフトウェアを用いることにより開発効率が良く、また小型化できるようになったため、さまざまな機器の実現に用いられている。

クラウドコンピューティング

サービスとして提供されるコンピュータ資源をオンデマンド利用すること。クラウドという言葉は、データの処理をユーザーから隠蔽する架空の場所として機能する。

クラウドファンディング

群衆（crowd）と資金調達（funding）を合わせた造語で、インターネットを利用し、ある目的を達成するために不特定多数の人に出資（資金提供）を呼びかけることを指す。資金や支援者へのリターン（特典）のあり方によって、寄付型、投資型、融資型、購入型に分類される。

グリーンインフラ

自然環境が有する多面的な機能を防災・減災、まちづくり、環境保全等の社会課題解決に積極的に活用し、持続可能な社会システムの構築を目指す考え方。また、その考え方に基づくインフラや施設、装置、および土地用計画などのこと。

クリーンエネルギー

発電に際し、二酸化炭素などの物質を排出しない、または極めて排出が少なく環境負荷が小さい、太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスなどから作られるエネルギー（電気）のこと。

グリーンリカバリー

環境関連産業はいまや経済性に劣る産業ではなく、次代の成長産業である。経済不況からの復興支援策に環境配慮を条件付けたり、環境配慮型の経済活動を優遇したりすることで、経済復興と環境改善を同時に進めることができると期待されている。

クリエイティブ・コモンズ

アメリカ合衆国の法学者であるローレンス・レッシグを中心に設立されたライセンスに関する新しい考え方の普及を図る団体の名称。団体が提唱するクリエイティブ・コモンズ・ライセンスは著作者自らが保護範囲を取捨選択できる。

グリコーゲン

主に動物の細胞中に存在する貯蔵多糖類で、ブドウ糖（グルコース）が多数重合した高分子化合物。ヒトでは肝臓と筋肉（骨格筋）に多く含まれ、前者は血糖値の調節、後者は運動時のエネルギー源としての役割が知られている。

グループ・ダイナミックス

組織や地域の活性化をめざす実践学。

グローバリゼーション

グローバル化、地球規模化、世界化、世界的拡大などと訳され、技術の発達や革新によって国や地域を越えてヒト・モノ・カネが移動し、地球規模で資本や情報のやり取りが行われ、政治、経済、文化などが世界規模で拡大していく現象のことを指す。

グローバル・ヒストリー

ヨーロッパ中心に歴史をみたり、個々の国の歴史だけをみたりするのではなく、それ以外の地域に存在していたネットワーク（人やモノの動き）の全体に着目して、世界全体の歴史を描き出そうという、歴史学の新しい動き。

グローバルイシュー

グローバル時代に生じた国や地域を越えて解決すべき地球規模問題のこと。

グローバル経営

企業経営を世界レベルで遂行すること。それには日本人以外の従業員、株主、取引先、消費者といった利害関係者を積極的に経営活動に活用していく必要がある。

グローバルサプライチェーン

今から40年ほど前の貿易は完成品の国境をまたぐ取引が中心であった。しかし、今日の貿易は部品ごとの貿易が中心である。自動車を例にとれば、昔は日本で部品の調達組み立てをして海外に輸出していたが、今日ではその部品も世界各国から輸入し日本で組み立てて輸出している。この供給網の連鎖・広がりをグローバルサプライチェーンと言う。

グローバルマーケティング

世界全体をターゲット市場とし、地球規模で工場や物流を調整することで、強い国際競争力を獲得しようとするマーケティング活動のこと。

XR (X Reality)

VR（仮想現実）、AR（拡張現実）、MR（複合現実）SR（代替現実）といった仮想世界と現実世界を融合することで新たな視覚世界を表現する技術の総称のこと。

クロッキー

短時間で対象物の形や動き等をとらえ、紙に描く方法。作品を制作する前に、対象物の特徴とらえ理解するため、習作として活用されている。

経営資源

企業経営に役立つものの全般を指し、概ね「ヒト」、「モノ」、「カネ」、「情動的資源」の4つに分類される。この中で特に企業に持続的競争優位に貢献するのは情動的資源であると言われている。その理由は3つ挙げられる。①多重利用可能であるということ。②具体的な事物ではないということ。③競争優位との因果関係が外部からは明確ではないことである。いかに知識などの有益な情動的経営資源を蓄積し、それを多重利用していくかが戦略においては重要である。

経営戦略

経営戦略とは、企業目標を達成するための道筋、シナリオのこと。道筋、シナリオでは、「どのような製品やサービスで、どのような顧客を狙うか」「自社のどのような強みを活かすか」などを明らかにすることである。

景観

人間を取り巻く環境の眺めのこと。外的環境、その光刺激、および視覚をとおした脳の働きによる、主観的かつ客観的な側面をもつ。2005年の景観法施行により、景観行政団体による景観計画の策定が進んでいる。また、景観法の施行により公共施設の設計において美的観点が内部目的化し、景観を考慮することが重要な目的になったのである。

景気動向指数

景気動向指数とは、生産活動や商業活動、労働者の雇用状況といった様々な経済活動に関する重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することで、景気の現状把握及び将来予測に用いるために作成される指標のことである。景気変動の大きさやテンポを測る「CI」と景気変動の波及度合いを測る「DI」がある。

経験

過去に生じた内容をそのまま当てはめるというのではなく、お互いの考えや願望をその瞬間瞬間にいきいきと関係づけていき、そのことを通じてさらに新たな活動へと導いていく「関係づけの活動」である。そこから潜在的な力やエネルギーが引き出されていくことを本質とする。

経済成長（率）

経済成長率は、国内総生産（GDP）の変化率をもって示される。たとえば、ある国のGDPが、2020年は500兆円で、翌21年に510兆円であったとすると、2021年の経済成長率は、 $(510 - 500) \div 500 = 2/100$ 、すなわち2%の経済成長となる。

計算オフロード

アプリケーションデータやタスクの一部を、近隣の高性能の計算機などに移行して計算効果を高める手法である。

計算科学

物理や化学の理論的手法に基づいて、コンピュータを使って数値計算をする学問分野。

計算量

コンピュータは、何らかのデータに対して、何らかの処理を行って、何らかのデータを作り出す。この処理に、どの程度の時間を必要とするかや、どの程度の記憶容量を必要とするかを計算量と言う。

形成位相論

運動を習得する過程を「1. 原志向位相、2. 探索位相、3. 偶発位相、4. 図式化位相、5. 自在位相」の5段階で表したものの。

契約

複数当事者の意思表示が合致することによって成立し、当事者間に債権と債務を生じさせる法律行為のこと。典型契約として、売買・賃貸借・委任・請負などがある。

軽量化

軽量化とは、製品の重量を適切に軽くすること。地球資源の有効利用の観点から重要な因子である。材料、構造、コストなどの面から、様々な方法で軽量化がなされ、軽量化と安全性の両立が、常に課題となっている。

経路依存性

社会・経済システムにおいて制度や規則が、必ずしもその合理性や最適性によって定まったものではなく、ある時点における偶然や歴史的な経緯の結果として生み出されたことを意味する概念。

ゲイン

制御工学において、入力された信号をゲインの値だけ倍増して出力する。PID 制御系においては、P ゲインやI ゲインと呼ばれることもある。

ケーソン

コンクリート製で中が空洞の箱状構造物。防波堤などを沿岸域に建設する場合、あらかじめ陸上で作成したケーソンを海に浮かべて設置場所に輸送し、空洞部分に砂などを詰めることによって沈めて防波堤として利用する。

化粧品

化学原料を用い、工学的技術を利用して安全な化学原料を配合して、「人の身体を清潔にして美化し、魅力を増し、容貌を変え、又は皮膚もしくは毛髪を健やかに保つものであり、身体に塗擦、散布その他これら類似の方法で使用され、その使用の程度は人体に対する作用が緩和なもの」とされている。

ケミカルバイオロジー

生化学や分子生物学とは視点が異なり、化学の視点からみた生化学となる。具体的には、生体内で起こる化学反応を分子レベルで扱う分野である。

限界代替率

消費者が2つの財を消費する状況において、一方の財をわずかに（1単位）増加させるとき、同じ効用を保つために犠牲にしてもよいと考える他財との交換比率のこと。言い換えれば、一方の財で計った他方の財の価値となる。

限界費用

企業で財を一単位追加的に生産するときに追加的にかかる費用のことを言う。これは財の生産量に応じて変わっていく場合がある。これらをすべて足し合わせると総可変費用になる。

言語・文化政策

国際化の中、異なる言語・文化を有する者同士がいかにコミュニケーションを図ればいいのか切実な問題となっている。言語文化政策とはこれらの問題を一国主義でなく日本語・日本文化を世界の一言語・文化として捉え、他言語・文化も視野に入れた政策のことである。

健康科学

健康の維持増進にとっての望ましい運動・スポーツのあり方を科学的に明らかにする学際。運動、栄養、心理を主科とした総合科学。

健康寿命

平均寿命と対なる単語。健康寿命が「自立して健康で生活できる期間」に対し、平均寿命は「その年に生まれた子ども（0歳児）が何年生きられるかを表した数値」。今後の医療費を考えると、健康寿命の延伸が課題である。

言語景観

文字を伴う看板や標識など、街中で目にする言語を景観の一部として視覚的にとらえたもの。特に外国語による看板・標識などが混在している状況を対象とする研究で使用される概念。

原始反射

新生児期において、ある特定の刺激に対して無意識に行われる反応のこと。内容や消失時期に違いがあるが通常は成長と共に消失する。原始反射が見られない、もしくは消失しない場合には何らかの神経の異常がある場合がある。原始反射は生命の維持やその後の発達の基礎となっている。

源氏物語享受史

人々が『源氏物語』を享受してきた歴史。『源氏物語』は、和歌の手本である「教養書」として位置付けられていたが、純粋に文芸作品として楽しむ読者も多く、多種多様な方法で享受されてきた。

現代言語学

人間の言葉の特徴や人間はそれをどのように獲得するのか、などの疑問を解明する学問分野。言語の音、語彙、語順、意味を研究する4大下位分野がある。言語学の裾野は広く、類型論や歴史、方言学から、近年は言語と社会の関係に着目した研究も盛んである。

建築英語

建築技術者が国際実務において求められる国際的コミュニケーション能力について必要とされる基礎的能力のこと。

建築計画

建築空間の設計において、形態・寸法をどのような方法、組み立てで導くかを考えること。

建築ストック

既存の建築物のことであり、空き家も含まれる。

建築製図

配置図、平面図、断面図、立面図などの図面に付随する文字、表示記号などによって建築について規則に則り表記する行為であり、建築家や設計士の構想内容や計画・設計内容を建物の造り手（施工者）に伝達する手段である。

建築設備

建築物の空調、換気、給排水、衛生、電気等の設備を総称したもので、住宅ではエアコン、換気扇、照明、給湯、コンセント、トイレの便器、浴槽などがある。

建築デザイン

住居や公共建築物などの外観の美しさだけでなく、居住性、機能性などを総合的にデザインすることを指す。

建築人間工学

建築人間工学とは、人間と建築空間・設備機器・家具等との調和（安全性や快適性等）を考える学問分野のこと。人間と環境との関係の解明を目指して、人間の行動に影響を及ぼす心理的・生理的分野に焦点をおいた研究が行われている。

建築法規

建築法規とは、建築基準法、都市計画法、消防法、建築士法、建設業法等の建築物の設計、工事の実施、使用、除却、また、それらに関わる手続き等に関する法令である。

減法混色

色料（インキや絵具）の三原色であるシアン（Cyan）・マゼンダ（Magenta）・イエロー（Yellow）の混合比により、全ての色を表現する方法。色料による混色では明るさが減り、色料の三原色を最も多い状態で混色したとき黒色になる。このような混合の仕方を減法混色と言う。

公開会社

会社法の定める用語であり、発行株式に譲渡制限を課していない会社、また発行株式の一部のみ譲渡制限を課している会社をさす。なお、発行株式のすべてに譲渡制限を課している会社は「株式譲渡制限会社（かぶしきじょうとせいげんがいしゃ）」と呼ばれる。

工学教育

工学教育とは工業生産技術の教育のことであり、機械、電気、化学、土木、建築、冶金、鉱業、航空、造船、原子力、その他多くの分野がある。またその基礎として、一般的科学や物理、化学、数学やその専門に関係のある社会的関連事項も含む。

公教育

狭義には、国や地方公共団体によって行われる学校教育を指し、学習塾や家庭教師による私教育との対比で用いられる概念であるが、広義に捉えれば、家庭や地域社会も含めた大人世代全体で次世代の育成を行うべきとする考え方を意味する。

公共財

誰かが負担を行う事ではじめて提供される財が、負担しなかったものも利用できてしまうという非排除性と、誰かが利用していても他のものも同様に利用できるという非競合性という性質を両方満たすものが公共財という。

公共の福祉

日本国憲法が定める基本的人権を制限する根拠となる概念のこと。その内実には争いがあり、社会における公益を意味するとする「外在的制約説」、他の基本的人権との調整を意味するとする「内在的制約説」、及びそれらを混合させた説がある。

工具寿命

切削工具が破損あるいは摩耗し使用に耐えなくなるまでの正味切削時間である。実験室的工具寿命の判定基準として、逃げ面の摩耗幅やすくい面摩耗深さがある値に達した時点とされる。

工芸

高度な熟練技術を駆使して作られた芸術作品、またそれを制作する分野。伝統的技法や素材を用いて、鑑賞性を主体に美術面を重視した物は伝統工芸と呼ばれ、芸術上特に価値の高い工芸技術を有する個人及び団体は、重要無形文化財に指定されている。

合計特殊出生率

合計特殊出生率とは、15～49歳の女性に限定し、各年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯、何人の子供を産むのかを推計したものである。15歳から49歳までの年齢別の出生率を「合計」し、限定した女性人口を用いるので「特殊」が付いている。

広告媒体

広告主が広告代理店を通じて広告を掲載し発信するもの。媒体の特性を理解し、ターゲットや企画に応じて設定する必要がある。近年では拡散、シェアされやすい OOH 広告が注目されている。

公債

公債とは、国または地方公共団体が経費の財源不足を補うために行う借入金である。公債の発行により社会資本の整備等が円滑に進められてきたが、今日、公債残高の累増が財政上の大きな課題となっている。

工作機械

機械を作る機械であり、マザーマシンとも呼ばれる。その使用目的によって多くの種類がある。例えば、回転面を加工する旋盤、角型・平面・溝を加工するフライス盤、複数種類の加工が1台で完成できるマシニングセンター、鏡面のような滑らかで綺麗な表面を仕上げる研削盤、など。特に制御・情報・計算機技術と複合する NC 工作機械の活躍のお陰で日本の製造技術は世界の先端をリードしている。

麹菌

酵素生産性に優れ、清酒・焼酎・甘酒などの日本の伝統的な発酵食品に欠かせない発酵微生物の代表。

公衆衛生

集団の健康を対象に、組織化された地域社会の努力を通じて、予防医学や環境の改善、生活水準の保障、健康教育を推進する活動のこと。

恒星

核融合反応により、自ら光や熱などのエネルギーを放出し得る天体。当初は水素を核融合させて光るが、進化が進むとより重い元素の核融合が進み、副産物として重元素を生成する。太陽は恒星の典型的なものである。

酵素

多種多様な化学反応を促進するはたらきがあり、医療・食品・化学など様々な分野の商品（物質）の生産に利用されているタンパク質。

構造解析

- ①タンパク質高次構造で述べたように生体分子は様々な構造を形成することで生体内での機能を担っている。分子の形を調べる作業を構造解析といい、NMR や X 線結晶解析などの手法を用いて行う。
- ②構造物に作用する外力によって、構造物の各部に生じる変形や応力の状態を、材料特性に基づく力学モデルを用いて、計算し分析すること。

構造設計

建物の安全性や経済性を考慮して、建物に作用する様々な外力に対して、構造計算に基づいて建物の形態、建物の骨格を構成する部材の材料や寸法など決め、図面に表現すること。

高速船

一般の船舶より高速で航行する船舶を指す。国土交通省海事局によれば、旅客船のうち、航海速力 22 ノット以上で航行する船舶を高速旅客船という。

酵素反応ネットワーク

酵素は、他のタンパク質に一時的に結合し、その化学反応を制御する。酵素自体もタンパク質であり、他の酵素によりその酵素活性が制御される。複数の酵素が互いに酵素活性を制御し合う形で連結したものを酵素反応ネットワークという。

交通流シミュレーション

道路上で起こる交通現象をシミュレーションによって再現する研究であり、物流の効率化、渋滞の解消、交通事故削減など様々な交通問題を改善し解決するために用いられる。

公的統計

国の行政機関・地方公共団体などが作成する統計。公的統計のうち特に重要なものは総務大臣によって基幹統計に指定されている。代表的なものとして国勢調査、国民経済計算などがある。

公的扶助

税財源を用いて、経済的に困窮している人々に対して健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立を助長する公的な制度である。資力調査を要件とする貧困者対策と所得調査（制限）を要件とする低所得者対策の二つに大別される。

行動認知心理学

熟練行動の基礎的・応用的研究を通して、その諸現象や効用性を心理学的に分析し、実践や指導に科学的知識を与える応用心理学のひとつの分野である。

後発性の利益

遅れて工業化を開始した国は、先進国が開発した技術を導入することで、技術開発に必要な時間とコストを節約できる、つまり先進国より速いスピードで工業化できるという優位性を持つ、というもの。ガーシェンクロンが見出した。

酵母

アルコール発酵に優れ、アルコール飲料・大豆発酵食品・パンなどの製造に欠かせない発酵微生物の代表。

合理的配慮

障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で役所や事業者が対応すること。障害者差別解消法にもとづく。

交流及び共同学習

学校間で教育活動として障害のある子どもと障害のない子どもがともに過ごす取り組みのことである。相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むことを目的とする交流の側面と、教科等のねらいの達成を目的とする共同学習の側面を分かちがたいものとして捉えて進めていく必要がある。

交流人口

ある地域に訪れる人々、地域に来訪する旅行者のことであり、その地域に住んでいる人（定住人口）に対する概念。減少する定住人口を補うためにも、交流人口の拡大、観光振興が図られている。

コーポレートガバナンス

典型的組織である企業組織は資本主義の発展とともに拡大している。その中で企業は単なる「私企業」ではなく、企業を取り巻く利害関係者の利益・損失を調整しながら動く（「公的側面」）ことが要請されている。それをコーポレートガバナンス（企業統治）と呼んでいる。

顧客志向経営

従来の企業中心のマネジメントに対して、顧客のメリットを最優先に考え、自社のミッションやビジョンに応じ、顧客のニーズに適った製品やサービスを提供するために、自社の経営資産を最大限に活かす経営、または、その考え方。

顧客の創造

事業の目的は、顧客の創造である。企業は自社の製品・サービスの利用者・購入者（顧客）を創造することにより、市場を開拓し、自らも成長・発展する。顧客の創造は、マーケティングとイノベーションを手段として行われる。

国際協力

誰もが幸せになることを願い、国際社会の平和と安定のため、主に発展途上の社会や人々を支援すること。

国際文化教育交流

国際交流、留学、日本語・外国語教育を通じて国際理解力を備えた人材育成が盛んである。特に留学は、新たな文化や文明を摂取することで国際感覚や国際理解力を修得できる。しかし、日本においてこれらを身につけることが未だに十分だとはいえない。国際教育文化交流とはこれらの問題を近代以降の日本及び世界で実施された教育文化交流を検証することである。

国民国家

Nation State の訳語。「民族国家」とも訳される。国家を「ネイション」の共同体とする考え方。「ネイション」は、政治的背景や理念を共有する「国民」や、歴史や文化的背景や共有する「民族」として想定される。「国民/民族」の統合のためにファシズムになったり、排外主義になることも少なくない。

コスト病

ウィリアム・ボーモルによって提起されているコスト病理論は、労働集約型産業（サービス業など）では、労働生産性の向上が限定的であるため、時間が経つにつれてコストが高くなる現象を指す。一方、生産性が高い産業（製造業など）の賃金上昇が、労働集約型産業のコスト上昇を引き起こすとされている。

子育て支援

子どもの健全な育ちと養育者が安心して子どもを産み育てる為に、社会全体が子育て家庭に対して働きかける営みのこと。地方自治体、幼稚園・保育所等の保育施設、民間施設等で支援活動が行われている。

5W1H

5W1H は、「When:いつ」「Where:どこで」「Who:だれが」「What:何を」「Why:なぜ」「How:どのように」の頭文字を取ったもの。製品デザインのコンセプト立案を行う場合に、5W1H に沿って状況を整理することで、ターゲットを整理しやすくなる。「How much:いくらで」を加えて 5W2H とする場合もある。

国家賠償法

国または地方公共団体の公務員の違法な行為や、それらによる物の管理が不十分であったことを原因として、私人に損害が生じた場合に、被害者が行政主体に損害賠償を求めるための法律のこと。

古典受容

『古今和歌集』『伊勢物語』『源氏物語』などの作品は、後世において文学の規範となる「古典」とされ、さまざまな注釈書や二次創作を生み出した。近年ではそうした受容の様相についての研究が進んでいる。

古典派経済学

ヨーロッパにおいて、18世紀から19世紀前半にかけて活躍した、経済の再生産構造や労働価値論、分配論などを重視した経済学説の総称である。経済学の祖であるアダム・スミスやD・リカード、J・S・ミルなどがその代表的なものである。

子供

大人とは見なされない未成熟な状態を意味するが、本田圭佑風に言うなら「伸びしろ」の塊であり、そこに教育の可能性が生ずる。なお、教育界では従来「子ども」を慣例的に使用していたが、文部科学省は2013年以降「子供」表記に統一した。

胡粉

帆立、牡蠣などから造られた白色絵具。

コマンドキー

Apple製コンピューターキーボード固有のキー。他のキーと組み合わせて様々なショートカット操作が可能。

コミュニケーションデザイン

外見的なデザインではなく、人と人との関係。あるいは企業と顧客との関係をデザインすること。相手の心を動かすためのコミュニケーション自体を設計し、媒体における有効なデザインの定着まで行う。

コミュニティ・アプローチ

問題を抱える個人のみならず、身近な支援者である家族、同僚・上司、友人、地域の人々や、学校、職場、地域社会などのコミュニティへ働きかけることによって、問題解決や更なる成長発達を促すことを目指す。

コミュニティ・ベースド・ツーリズム

地域共同体を構成する住民の手によって実践される観光活動を意味する。従来の観光客のニーズを優先した観光開発に対して、地域共同体の持続可能性に配慮した住民主体の観光開発の文脈で用いられる。もともとは開発途上国の支援策で、先進国内の地域間格差を考える上で注目されるようになった。

コモンプール財

コモンプール財は非排除性かつ競合性の性質を持つ財で共有資源、あるいは共的資源ともいう。つまり、財・サービスについて無料で誰でも消費することができるが、その消費が増えるほど、消費できる財・サービスへの入手が困難になる財のことである。

固有値

正方行列 A に対して、ある零ベクトルでないベクトル v が存在して、 Av の計算結果が v の λ 倍になるとき、その定数 λ を正方行列 A の固有値という。固有値を求めるには、固有方程式を解く。対角化した行列の対角成分には、固有値が並んでいる。

御用絵師

近代以前、画家は朝廷や幕府、大名あるいは寺社に所属して、依頼によって絵を制作した。朝廷の絵師は絵所預かりという絵師の職を得た。幕府や大名、寺社の絵師は法橋、法眼、法印などの僧号位を与えられ、所領や俸禄を得た。江戸時代狩野派の奥絵師、例えば狩野探幽で二百石の禄であった。これは旗本待遇で、肖像描きの際、将軍に直接会う必要があるためであったらしい。同じころ薩摩藩の木村探元は五百石、筑前福岡藩の狩野昌運は三百五十石など地方の大藩で高い俸禄で絵師を抱えたことも知られる。

コラージュ

平面作品の技法で、描く代わりに、布や紙や貼り付けられる様々な素材を画面に貼り付け作品を構成する方法。

コンクリート

セメントに水、細骨材および粗骨材を混ぜたもの。建物における主要な構造材料のひとつであるが、圧縮力には比較的強いが引張力に弱いので鉄筋などで補強して用いる。

コンクリート充填鋼管構造

鋼・コンクリート合成構造の一種で、角形や円形の鋼管にコンクリートを流し込んで充填し、柱にする構造のこと。英語の「Concrete Filled Steel Tube」を略して「CFT 構造」ともいう。

コンサルテーション

専門家間の援助活動であり、メンタルヘルスの文脈では、コンサルタント（相談される側）は、コンサルティー（相談する側）が担当するケースのメンタルヘルスに関する問題を、コンサルティーの仕事の中でより効果的に解決できるよう援助する。

コンセプトデザイン

コンセプトデザインとは、直訳すると概要デザインで、デザインする対象物を一言で分かりやすく説明すること。表現手段としては、2D・3D イラスト、映像、言葉など様々。主に本制作する前段階でのプロセスで、デザインの方向性、ユーザーに受け入れられるかなど検証として用いられる。

混相流

物質の複数の相が混ざり合って流動する現象である。例えば、気体液体二相流は気体と液体が混ざり合うことで、気体液体固体三相流は気体と液体と固体が混ざり合うことである。

コンティニューイティ

時間と空間が連続しているようにショットをつなぐことで生み出される映像の流れのこと。日本では、被写体の位置やサイズ、カメラの動き、音響などを記載した撮影台本の意味もある。

コンテンツ

日本語でいうところの「内容」のこと。メディアという言葉と一緒に使われることが多い。ラーメンで例えると、中身のラーメンがコンテンツで、外側の器（どんぶり、発泡スチロール）がメディア。

コンテンツツーリズム

映画、テレビドラマ、マンガ、アニメ、小説、ゲームなどを総称して「コンテンツ」と呼び、それらコンテンツを動機とした観光や旅行スタイル、および観光関連産業を振興すること。「アニメ聖地巡礼」はその典型である。

コンテンポラリーアート

コンテンポラリー（contemporary）とは現代の、同時代に属した、という意味を持つ。コンテンポラリーアートは「現代美術」と訳され、現代社会や既成概念に対して、何かしらの問題定義や批評性を持つアートを指す。

コンバージョン（工学）

建築分野のコンバージョンとは、時代の変化、社会の変化、暮らしの変化等に合わせ、対象となる建物の建築法規的用途を変更することをいう。

コンバージョン（社会科学）

英単語としての意味は「変換、転換、交換」であるが、インターネット分野での意味は「Web サイト上で獲得できる最終的な成果」を指す。サイトの種類によって成果が違い、EC サイトでは商品の購入、企業サイトや商品情報サイトではお問い合わせ／資料請求、コミュニティ／情報提供サイトでは会員登録／メルマガ登録などになる。

コンピテンシー

高い成果を生み出せる人が持っている行動特性。つまり、社会で活躍している人々に共通してみられる行動、態度、思考などの傾向や特徴などを意味し、すべての学生が卒業時に学部の区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質。人材育成に取り組む組織が、各自の組織目標、求める人材像などを考慮して設定するのが通例。

コンピューティショナルデザイン

高度の数学的手法とコンピューターシミュレーションを取り入れた設計手法。デザインの自由度を高めると同時に、構造的・機能的に問題や矛盾のない設計が可能となる。飛行機、自動車、建築物の設計で導入が進んでいる。

コンポジット

複数の要素が重なり合って合成・複合されていること。その処理を指す。

混和剤

コンクリートの品質改善を目的に混入される混和材料のうち、薬剤的に少量用いるものの総称である。使用料が比較的多い「混和材」と区別される。混和材は無機質のことが多いが、混和剤には有機質のことが多い。

サービスエンカウンター

サービスにおける顧客と従業員および組織の接点、あるいは、その接点における相互作用のこと。サービス品質が知覚・評価される重要な場であることから、闘牛士が牛にとどめを刺す瞬間に例えて、「真実の瞬間」とも呼ばれている。

サービスの工業化

サービス提供者によるバラツキの排除、効率と品質の向上と安定のために、安全性等を踏まえた上で、最適な業務手順を組織的に定め、マニュアル等を作成し、そのサービス提供手順と方法を継続的に順守、徹底させること。

財貨・サービス

財貨・サービス (goods and services) は、生産活動を通じて産出された生産物である。財貨は、商品など形あるモノ。サービスは、輸送や通信、情報、医療、教育、金融仲介など。例えば、JR や西鉄バスは、輸送サービスを生産している。

債券

主に、公共団体や企業が資金を広く市場から借り入れる際に発行する有価証券。国が発行するものは「国債」、企業が発行するものは「社債」と呼ばれ、さらに利息の支払われ方などの違いで様々な種類に分けられる。

細骨材

骨材のうち、おおよそ径が5mm 以下のものをいう。骨材は水和反応には直接関係しないが、形状や硬さなどはコンクリート強度に影響を及ぼす。一般的な細骨材は、海砂、砕砂、スラグ細骨材などで、密度は2.5g/cm³ 前後である。

再生可能エネルギー

その利用過程において二酸化炭素を排出せず、枯渇することのないエネルギー源のこと。太陽光、風力、波力等が挙げられる。

最大挙上重量

筋力トレーニングの実施者が一回だけ挙げられるウェイトスタックの重量のこと。1 repetition maximum (1RM) ともいう。筋力トレーニング時の負荷決定に用いられることが多い。

彩度

画面の鮮やかさ。コントラスト。彩度が強すぎる（鮮やかすぎる）と色調はきつくなり、彩度が弱すぎると、くすんだ印象になり、画面のメリハリが少なくなる。

サイトスペシフィック

地理上の特定の場所で、その場所に固有の条件、特性を活かしながら制作する芸術表現を“サイトスペシフィック・アート”と呼ぶ。1970 年代のアーティストたちによりこのキーワードが打ち出され、様々な土地、様々な方法で実践されてきた。

細胞生物学

全ての生物は細胞からできており、細胞の構造と機能を解明する分野で生物学の基礎である。

(連結) 財務諸表

会社法は「決算報告書」の「計算書類」の項で、また金融商品取引法は「有価証券報告書」の「財務諸表」の項でそれぞれ貸借対照表、損益計算書に他書類も加えた構成となっているが、社会一般に貸借対照表や損益計算書などを財務諸表と呼称している。

債務不履行

債務者が、債務の本旨に従った履行をしないことをいう。債務不履行には、遅行遅滞、履行不能、不完全履行の3つの態様がある。債権者は債務者が債務不履行に陥った場合に、契約の解除、損害賠償請求などが行える。

財務分析

財務諸表を資料とし、当該企業等の収益性・成長性・安全性・生産性などを、一定の算定指標を用い定量的に分析する手法。算定値の同業他社比較や年次比較などを行うことで分析を行う。

在来産業論

日本経済の近代化・工業化の過程において、工場制が本格化する以前、問屋制家内工業といった近世以来の生産組織のあり方が紡績業などで大きな役割を果たしたとする日本経済史の学説。

在留外国人問題

在留外国人数は今後も増加することが予想される。しかし、不十分な日本語能力から地域社会との摩擦が生じ、相互誤解に陥り在留外国人は日本人から排除されることが多い。在留外国人問題は日本社会の一員として受け入れるにはどのようにすればいいのか、これらの問題は日本・国際社会、言語・文化の視点から考えることである。

材料強度学

材料強度学とは、材料に外力が加わったときの変形や破壊などを取り扱い、材料力学との違いは、き裂や損傷が発生して破壊に至るまでの過程を扱うことと、繰返し負荷や温度や腐食などの環境の影響も取り扱う事である。

材料力学

材料力学は材料の変形・破損・破壊特性を知るための学問であり、機械や構造物に荷重が加わった際の応力や変形を算出する。実際には引っ張り、圧縮、ねじり、曲げとたわみ、座屈といった問題を取り扱う。

作品コンセプト

オリジナル作品を制作する場合に作品に対しての考えを文字で表現することである。

サステナブルデザイン

世界が大量消費型社会から循環型社会への転換に向かう上でデザイン分野でも生産から廃棄や循環まで、モノだけではなく仕組みまで含めた、サステナブルデザイン（持続可能性を意識したデザイン）が求められている。

サプライチェーン・マネジメント

原材料や部品の調達から生産、販売に至るまでの企業間の一連の取引・業務を一つのチェーンとして捉え、そのチェーンにおける無駄を削減して売上げ機会の増大と経営の効率化を図る経営手法である。

サミュエルソン条件

資源を用いて私的財か公共財を作ると、公共財を増やせば私的財の生産は減る。この数と、公共財が増えれば私的財を少々は減らされてもいいと個人レベルで思える数がある。前者の数と、後者の数の全員分が等しくなる公共財の供給が最適だという定理。

産業革命

18世紀後半のイギリスで機械と化石燃料を使ってモノが作られるようになり、生産性が飛躍的に高まった。その結果、生産活動の中心が農業から工業へ移り、社会全体が大きく変わったことを指す。

産業組織論

独占企業による価格のつり上げをはじめとした、市場の失敗を克服することを大きな目的の一つとする学問分野である。独占禁止法などに代表される競争政策の理論的、実証的裏付けとして、実社会に還元されている。

産地内分業（地場産業）

産地内分業とは、地場産業の製品（部材・部品と完成品）生産が主に産地内の中小企業間の仕事の分割で行われることを意味し、産地内の社会的分業とも言う。それに対する用語には、主に大企業1社の社内で部品と完成品の生産が行われる一貫生産システムがある。

賛文

肖像画や山水画に付された詩文などの文章。文人画などは絵と同じ作者が書く場合もあるが、別の作者の場合は絵の作者よりも地位や立場が高い人物が多い。絵の趣旨をとどめて詩が書かれるが、文人画では旧詩によるなど、古い詩を使いまわすことも多い。また、有名な詩を転用する場合もある。

三間の喪失

のびのびと安心して遊べる空間がない、おけいこ事などの過密なスケジュールに追われ遊ぶ時間が少ない、一緒に遊ぶ仲間がいないの三つの「間」が、子どものあそび場面から失われている状況を意味する。1980年頃から使用されている。

GIS

Geographic Information System の略で、地理情報システムと呼ばれる。電子地図に気温や降水量などの観測データ及び人口や生産量などの統計データ等を重ね、編集・検索・分析・管理などを可能とするシステムのことである。

CAE

Computer（コンピュータ）Aided（支援）Engineering（エンジニアリング）の3つの単語の頭文字を組み合わせた略語。CADで設計した製品を実際に製作する前にコンピュータ上で事前検討するためのソフトウェア。

CSR（企業の社会的責任）

企業の利害関係者（ステイクホルダー）に対して公正性や倫理性、環境や人権への配慮を組み込み、企業経営をしていくこと。SDGs（持続可能な開発目標）やCSV（共通価値の創造）とも関わり合いが深い。

CSV

「企業にはいかなる社会的責任があるか」といったCSR（企業の社会的責任）という考え方に対して、経済価値と社会価値の同時達成を果たすことで、社会が抱える課題を解決しながら同時に利益も上げていくことを重視する考え方。

CMF（Color,Material,Finish）

CMF（Color カラー、Material マテリアル、Finish フィニッシュ）を表す造語。プロダクト製品の、色に加え、材料（材質）、質感（表面の仕上げ、感触や手触り）という感性的な部分にも焦点を当てる。CMF デザインでは製品のサステイナビリティなども取り扱う。カラーデザイン部門がCMF デザイン業務を担当するところが増えてきている。

CG（Computer Graphics）

コンピュータを使って書かれた図面や画像のことを指す。CGの活用方法としては、ゲーム、アニメーション、シミュレーション表現などが含まれている。

GWP

GWPとはGlobal Warming Potential（地球温暖化係数）の頭文字であり、基準として二酸化炭素を1としている。現在エアコン等に使われる冷媒はGWPが数百～数千と非常に高いため、世界的な問題となっている。

GDP

GDPとは、国内で一定期間に生産されたモノやサービスの付加価値の合計額のことである。Gross Domestic Productの略称であり、国内総生産とも呼ばれる。実際に市場で取引されている価格に基づいて推計される「名目GDP」と物価変動の影響を取り除くことで数量的な期間比較に用いられる「実質GDP」がある。

CPS（Cyber Physical System：サイバーフィジカル・システム）

現実空間から仮想空間へ伝送されるさまざまなデータを用い、仮想空間内に設計されたモデル上でシミュレートした最適結果を現実空間に返すフィードバックループ。第四次産業革命における中核概念。

CBDC（中央銀行デジタル通貨）

国家や特定の地域の金融機構の中核となる中央銀行が発行するデジタル化された法定通貨。主に分散型台帳技術（ブロックチェーン技術）が用いられており、現在、中華人民共和国やスウェーデン、カンボジアなどで導入されている。中でもカンボジアのバコンは日本のソラミツ株式会社が開発を行っている。

CU

Customs Unionの略。日本語の名称は関税同盟。地域貿易協定の一つ。CUでは、域内国のそれぞれが、域外国に対して、独自の通商政策を持つことはできない。

シーン

編集された複数のショット / クリップの集合を指す。多くは同一の時間や場所および状況を表す。またシーンの集合はシークエンスと呼ばれる。

ジェノフォビア

Xenophobia。ギリシア語の Xenos（異人、よそ者、外国人）と Phobos（恐怖）の造語で、外国人嫌悪または外国人恐怖症と訳され、外国人や異民族などのアウトサイダーと見られている人や集団を嫌悪、排斥あるいは憎悪する気質を指す。

ジェンダー

社会的な性、または、心理的な性別のこと。男女の性別によって生き方や役割、関係性、仕事など「こうあるべき」と社会で共有されている意識や価値観。（例：日本では、男性＝外で仕事、女性＝家庭といった性別役割分担意識）。

①ジェンダーレス：男女の性差を無くすこと（ジェンダー平等）。

②ジェンダーニュートラル：男女の区別をしないこと。

視覚探索

視野に存在する多くの視覚情報の中から特定の情報を選択し、対象を正確に捉える過程。

脂環式化合物

脂肪族化合物および環式化合物の両方の性質をもつ有機化合物のこと。芳香族性を有しない飽和または不飽和の炭素環を1以上含む化合物。

時間周波数解析

時系列信号を時間軸と周波数軸の2次元平面で調べるための解析技術である。信号の周波数成分が刻々と変動している様子を細かく分析するための技術である。主に短時間フーリエ変換やウェーブレット変換が用いられる。

磁気流体力学

電離した気体（プラズマガス）などの導電性の良い流体と磁場との相互作用を考慮した巨視的な力学である。磁場中を運動する電離気体に生じるローレンツ力が鍵となり、中性気体で見られない特有の波動などが現れる。

資源の呪い

天然資源は経済の長期的な成長を支える要素の一つである。しかしながら、現実には、天然資源に恵まれた国の方が、恵まれなかった国よりも経済開発が遅れることがある。この逆説的な現象は資源の呪いと呼ばれ、原因究明のための学際的な研究が続けられている。

自己位置推定

屋外や室内において、自己の位置を推測して決定すること。例えば、室内などの平面上において、座標（ x 、 y ）と姿勢（ θ ）を求める。自動車では、GPS やオドメータ（積算走行距離計）を利用して自己位置推定を行っている。

自己決定

人は、生まれながらにして好奇心や探求心を持ち活動的である。人が、自発的にものごとを決めることを自己決定と呼ぶ。人は仕事などにおいて、自分の意志で行動を起こし、自律的で自己決定的であると感じると、満足感や幸福感が高まる。

自己免疫疾患

通常であれば免疫系は細菌やウイルス、寄生虫、癌細胞などに対して反応し、自己の組織の抗原には反応しない。ただし、ときに免疫系が正常に機能しなくなり、自己の組織を異物と認識して自己抗体や免疫細胞を産生し、これらが特定の細胞や組織を標的にして攻撃する。これにより炎症と組織の損傷を引き起こす疾患。

市場シェア

市場全体の売上高のうち、特定企業の売上高が占める割合のことである。販売数量、出荷数量などをもとに算出される場合もある。マーケット・シェア、市場占有率、シェアとも呼ばれる。

市場の失敗

市場メカニズムに任せていても望ましい状態が達成されない状況。言い換えれば、効率的な資源配分が達成されない状況を表す。独占や寡占の形成、公共財の供給、外部性や情報の非対称性の存在は、市場の失敗を引き起こす要因となる。

司書教諭

学校図書館の運営の総括、学校図書館を活用した教育活動の企画・実施等に従事することを任じられた教員。本学でも開講されている司書教諭に関する科目（5科目）を受講することで資格取得ができる。

システム最適化

産業・社会分野の多くのシステムの設計・計画・運用等を最適化する手法であり、数理計画法を中心とした最適化手法やシミュレーション、人工知能等の様々な手法の適用により現実問題に対する総合的な問題解決を実現する。

システムモデリング

情報システムの開発では分析や設計といった工程があり、そこではシステムを抽象的なモデルとして記述する。その記述には統一モデリング言語（UML、Unified Modeling Language）が有名である。

持続可能な観光

サステイナブルツーリズム（sustainable tourism）ともいう。UNWTO（国連世界観光機関）は「訪問客、業界、環境および訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在および将来の経済、社会、環境への影響を十分に考慮する観光」と定義している。

肢体不自由

肢体不自由とは、様々な原因により日常生活の動作に様々な困難（例えば、筆記などの手の運動・歩行などの移動運動など）がある状態を指す。

実技体験

実技体験（材料経験）とは、実際に紙、絵の具、はさみや筆などの道具を使って、材料の特性や表現効果を理解するものである。

6G

6th Generation の略称で、無線技術による「第6世代移動通信システム」。5Gと比較して10～100倍以上の超高速通信が実現されるといわれている。テクノロジーが日常生活、教育、産業、医療など、あらゆる分野に大きな変化をもたらす。世界各国の研究団体や民間企業が6G技術の研究開発に取り組んでいるが、日本でも2030年頃の実用化を目標に据えた動きが始まっている。

実写

ここで「実写」という用語は、主に現実をカメラで実際に連続撮影した動画により構成される映像のことを指す。

実践記録

実際の学校や教育・保育現場における子どもや教育・保育の様子を具体的に書き記した実践事例やエピソード記述など。これらの記録をもとに省察し、乳幼児期・学童期にふさわしい教育・保育を生み出していく。

実地踏査

実際に現地へ赴いて調査すること。

実ベクトル空間

実数体上のベクトル空間。その空間の要素をベクトルという。2つのベクトルの和、各ベクトルの実数倍などの演算が定められている。任意の n 次元実ベクトル空間は、 n 個の実数の組をベクトルとする数ベクトル空間と同型になる。

時定数

制御工学において、制御対象の制御量（応答）が目標値の63.2%になるまでの時間（秒）である。また、一次遅れ系の分母の切片が1の時のラプラス演算子 s の係数である。

シティプロモーション

地域の魅力を訴求することで問題解決を図る施策のこと。人口減少社会に入り移住者や関係人口獲得の文脈で注目されるが、そこに限らず地域内外からの参加や協働を呼び込み、育む、戦略的なアプローチを意味する。

私的自治の原則

個人は、法律関係を自らの意思に基づき自由に決めることができる。私的自治の原則は、民法の基本原理の1つであり、国家による個人意思の尊重を内容とするとても重要な原則の1つである。

児童文学

本来はオリジナルの創作作品をいうが、今は子どもたちの読み物として、昔話（口承）なども含め広く捉えられている。絵本化されることが多いが、絵と文が相即不離の絵本とは異なり、絵はあくまでも文（内容）の補足＝挿絵であることに注意が必要である。

児童養護施設

児童養護施設は、保護者との死別や保護者による虐待等によりその監護下で養護することが難しい児童が入所する施設のこと。できるだけ家庭的な雰囲気の中で養護し、退所後の自立を目指した支援を行っている。

ジニ係数

ある社会における所得の分布がどの程度不平等であることを示す指数。0 から 1 の間の値を取り、0 に近いほどその社会における所得の分布は平等であり、1 に近いほどその社会における所得の分布は不平等である。

地盤工学

地盤は社会基盤構造物の基礎となったり掘削の対象となったりする地球の表層部分であり、主に岩と土から成る。地盤工学は社会基盤を形成する建設事業や国土保全事業を行う際に関わる地盤の工学的な問題を扱う学問分野。

地盤災害

地盤の変形、破壊によって引き起こされる災害。地すべり、斜面崩壊、土石流、地盤沈下、地盤の液状化、地盤の陥没などがある。誘因は降雨、地震などの自然作用のほか、地下水のくみ上げや建設工事の影響などがある。

シビックテック

市民によるテクノロジーを利用した社会課題解決のこと。情報通信技術を中心に 2010 年代に世界各地で広がった。コロナ禍の混乱のなか各地の感染者数をいち早くまとめたサイトを制作し、インターネット上に公開したのもシビックテックの力だった。

脂肪族化合物

非環式または環式の、非芳香族性の炭素化合物のこと。

絞り

レンズ内に設置されており、複数枚の羽によって構成されている。この羽の開け閉めによってレンズを通る光の量を調整することができる。また、絞りの開け閉めによって被写界深度の調整もできる。

資本金

企業会計上では、出資者が企業に対して出資している金額（出資額）のことをいう。日本の会社法では、株主からの出資額の一部を「資本金」とせずに「資本準備金」とすることも認められているので、注意する必要がある。

シミュレーション

現実の事象を模擬し、その仕組みを解析するために行う実験のことである。実際の物体を使う「物理シミュレーション」とモデルの計算により実験する「論理シミュレーション」に分けられる。例えば、建物の耐震性を調べるとき、ミニチュア模型を使った実験が前者、構造力学の理論にもとづく数値モデルの計算が後者となる。コンピュータの発展とともに模型による実験を計算による実験のみで解析できるようになってきている。工学や生命科学など自然科学現象だけでなく、経済活動や社会科学現象など我々を取り巻く多くの分野の解析に利用される。

社会関係資本

ネットワーク（人と人とのつながり）、規範（お互い様という考え方）、信頼など、人々の協力行動を促進し社会を円滑にする、目に見えない資本を指す。人々の健康や幸福感、地域の治安、市民社会の発展など多様な社会的効果がある。ソーシャル・キャピタルともいう。

社会厚生関数

社会厚生関数とは、社会全体の「満足度」を評価するための関数である。全員の満足度の合計を最大化することを望ましいとするベンサム型や、最も貧しい者の満足度を最大化することを望ましいとするロールズ型等がある。

社会正義

すべての人の命や意志、権利が大切にされることが正義であるという考えのもと、そうした社会の実現のために行動すること。

社会調査

社会や集団の意識や実態を調査し、収集した資料を分析する方法。分析方法で大別すると、量的調査と質的調査がある。なお、一般社団法人社会調査協会が認定する資格として「社会調査士」「専門社会調査士」がある。

社会的企業

貧困や格差是正、ケアの担い手の問題不足など、社会の課題に取り組むことをミッションに掲げて、収益事業を行う企業体のこと。

社会的共通資本（ソーシャルデザイン）

社会的共通資本とは、すべての人の共通財産（コモンズ）として管理・運営されるべき広い意味での「環境」で、①自然環境（土地、大気、水、森林、河川、海洋）、②社会的インフラ（道路、上下水道、公共交通、電力、通信施設）、③制度資本（教育、医療、金融、司法、行政）などがそれに該当する。

社会的交換

市場での貨幣と商品の経済的交換に対して、社会のなかで人と人とが交わす、愛や権力、配慮、あいさつ、感謝の表明など経済的ではない報酬の交換を社会的交換と呼ぶ。社会的交換は、企業の経済的交換に付随して実践されており、持続的な取引と事業収益の向上に貢献できる。

社会的包摂

格差、貧困、孤独・孤立、差別などにより社会的に弱い立場にある人々をはじめ、すべての人を社会の一員として認め、支え合おうという考え方。ソーシャル・インクルージョンの訳。反対概念である「社会的排除」の動きの高まりの中で重要視されている。

社会福祉

福祉ニーズがある利用者に対して、自立生活を支援し、自己実現と社会参加を促進するため、社会的・組織的に展開される政策、制度、援助活動の総称である。

社会扶助

主として税財源を用いて、経済的に困窮している人や特定の福祉ニーズを有する人を支援する公的な制度である。社会保障制度のうち、公的扶助や児童手当などの社会手当・障がい者福祉などの社会サービスが社会扶助である。

社会保険

人々の生活の安定を図ることを目的とした強制加入の公的保険であり、人々が病気やけが、死亡、障がい、失業等の生活困難をもたらすリスクに遭遇した場合に備え、事前に保険料拠出を求め、リスクが生じた場合に一定の給付を行う制度である。

社会保障

病気や失業、介護、育児などにより生活困難がもたらされ、国民の生活の安定が損なわれた場合に、すこやかで安心できる生活を保障することを目的として、国や公共団体が現金もしくは現物給付を行い、人々の生活を生涯にわたり支える公的な制度である。

写生

自然の風景や生きた事物をありのままに写しとること。

シャッター速度

シャッター幕の開閉時間のこと、フィルムやイメージセンサーに対してどの程度光を当てるかを調整することができる。電子シャッターではイメージセンサーにおいて光の受け入れ時間の調整により実現される。シャッター速度が速ければ被写体の動きを止めることができる、遅ければ被写体がブレることにより動きを表現することができる。

集客率

試合が開催される競技場の観客席が観戦者によって埋められた割合。満員率。

従業員のインクルージョン認知

組織の中の人材が、自分は組織の一部である、自分は組織の中で貢献できている、自分の独自性を発揮できていると認知すること。従業員にそのように認知させ組織の中で従業員を活用していくことをインクルージョンという。

住行為

住まいにおける食事や睡眠、団欒といった様々な行為のこと。生理的な行為だけでなく、家族の団欒や接客といった社会的行為など、多様な行為が行われる。

修辞

言葉を巧みに用いて、詩歌及び文章を、美しく彩り効果的に表現すること。また、その技法。レトリック。文彩。和歌においては、枕詞・序詞・懸詞・対句・縁語などがある。

自由主義経済学

自由主義経済学は、個人の自由や競争を重視し、市場経済を基盤とした経済思想である。政府の経済への介入を最小限にし、自由な取引や企業活動を支持する。アダム・スミス、デービッド・リカードなどが代表的な経済学者である。

重商主義

重商主義は、経済政策の一つで、国家が貿易差額を通じて金と銀を増やすことを目的とする。輸出を促進し、輸入を制限して貿易黒字を追求する考え方である。

住生活

住居における人々の生活を指す。生活は生き方全体に関係しており、暮らしは経済的な基盤に関係すると解釈されている。さすれば、住生活は経済活動にとどまらず、住居においての文化的な行為や趣味を包括した概念といえる。

住宅計画

住宅を建てる際、敷地およびその周辺環境を把握し、風雨、地震、火災から安全で、衛生的、良好な室内環境を得、適切な建築材料を用い、家事労働の低減を図り、矛盾なく生活できる空間（平面・断面）および外観を考える。

住宅設計

そこに住まう家族に相応しい、安全で使いやすい、快適な住空間を構築し、さらに敷地特性、居住環境、外部空間をも検討し、配置図、平面図、断面図、立面図などの図面、透視図および模型などで表現する。

集団規範

集団のメンバーが自明と思っている行為や認識の前提。

重農学派（フィジオクラット）

重農学派は、重農主義を支持する経済学の流派である。重農主義は、18 世紀フランスで生まれた経済思想で、農業が国家の富を生み出す基盤であり、土地や自然資源を最大限活用することが重要だと主張する。また、自由放任政策を支持する。

情報システム技術

必要な情報やデータを、記録・処理・保存・結合・制御・発信などして、利用したり活用したりする仕組みをつくり、目標や目的の達成のために役立たせる方法。

住民監査請求

普通地方公共団体の執行機関又は職員について、違法または不当な公金の支出等や違法または不当に公金の賦課等を怠る事実があると認めるときに、監査委員に監査を求め、その行為等を防止し、是正し、損害の填補のための措置を求める地方自治法 242 条による住民の請求。

住民訴訟

住民監査請求をしたものが、その結果に不服があるときは、裁判所に対し、監査請求に係る違法な行為等について、その行為の差し止め、取消し等やその地方公共団体への損害賠償等を訴えをもって請求することができる制度（地方自治法 242 条の 2）。

住要求

自分自身が住んでいる住まいに対する要求のこと。人々は、自分の住まいについて、より良くしたいという気持ちを少なからず持っており、それが住要求として現れる。

ジュエリーデザイン

貴金属や宝石などを使用しデザインおよび制作する芸術である。ジュエリーにおけるデザインコンセプト、レンダリング、素材、技術、構成、着用性、市場調査などの構築など、知識や訓練を受けた専門家をジュエリーデザイナーと呼ぶ。現代では手描きの代わりに 3DCAD を用いることも多く、専用の機材とソフトで、職人でなくともジュエリーを作れる時代となっている。

シュタッケルベルグ競争

企業が同時ではなく順番に生産量を決定するような競争のことをシュタッケルベルグ競争と呼ぶ。例えばある市場にいる既存企業が先に生産量を決定し、新しく市場に参入してきた企業が既存企業の後に生産量を決定するような状況が考えられる。

出版文化

読者、著者、出版業に携わる人々によってつくり出される文化。「出版」と「文化」は不可分の関係であり、出版当時の世相を反映した書籍は、その時代を生きた人々が共有していた文化を知る手がかりとなる。

巡回相談

巡回相談とは、巡回相談員が幼稚園や小学校等を巡回し、教員や保育者に対して知的障害や発達障害など特別な支援を必要とする児童や生徒への支援の内容や方法に関する助言等を行うことをいう。

循環的成長

景気循環と経済成長はどちらも近代社会の主要な経済変動である。通常、景気循環と経済成長は別々に論じられるが、同一の時代と地域において景気循環と経済成長は同時に進行しており、現実には循環的成長が見られる。

春闘

春闘とは、春季闘争の略語で、毎年、春ごろに労働組合と経営側が賃上げや労働時間の短縮などといった労働条件を改善するために行う交渉のことである。2 月から 3 月にかけて本格的な交渉が行われることから、春闘と呼ばれている。春闘は、労働者側が団結し、各企業・各産業が毎年同時期に歩調をあわせ団結することで交渉力を高める狙いがある。

障害者差別解消法

障害（身体・知的・精神）があることを理由とした差別を解消するために、平成 25 年 6 月に制定された法律。障害者の権利侵害や合理的配慮の不提供について、行政や事業者にもその解消の義務や努力義務を課している。

商環境

業務施設の中で商業活動の空間のこと。ここでいう環境とは、ファサードなど街との関係を意識して外部環境を含めた意味である。

上場会社

株式会社のうち証券取引所の定める上場審査基準をクリアし、その証券取引所で自社の株式を売買することが認められた会社を上場会社という。

乗数理論と加速度原理の相互作用モデル

乗数理論と加速度原理の相互作用モデルは標準的な景気循環理論の1つである。相互作用モデルは、時間的遅れを伴う消費関数と加速度原理に基づく投資関数を導入し、乗数効果と投資決定の相互作用から国民所得の循環的変動を導く。

商店街

「商店が集まっている区画」、または「商店が立ち並んでいる通り」のこと。食品、衣類、雑貨、生活必需品などさまざまな専門店が集中することにより、単独の店舗では不可能な多様な品揃えを特定のエリアで形成・実現する。

承認図メーカー

承認図メーカーとは、日本での新車の製造において、下請企業が設計図を描いて、親企業の承認を受けて生産する仕組みを意味し、それに対し親企業が部品の設計図を描いて、入札の部品製造企業に提示（貸与）し生産する方式を貸与図メーカーという（主に米国方式）。

消費者行動

消費行為に関わる様々な現象や行動のこと。売り手にとって消費者理解は欠かせないことの一つ。経営学はもちろん、経済学、心理学、社会学、脳科学など様々な学問領域で研究の対象とされている。

消費者物価指数

消費者物価指数とは、全国の家計が購入する財やサービスの価格等を総合することで、物価の変動を時系列的に測定するものである。家計の消費構造を定めた上で、これにかかる費用が物価の変動によってどのように変化するかを指数値で示したものである。

情報学基礎理論

情報・通信を体系的に論じる際に必要である、数学的な基礎理論全般を指す。応用数学であり集合論、代数学、離散数学、数理論理学や関係計算などが関連する。

情報セキュリティ

コンピュータやインターネット、情報システム等を安心して使用できるよう、情報の“機密性”“完全性”“可用性”を確保するための技術等のことである。

情報デザイン

情報デザインとは、情報を正しく・わかりやすく・美しく伝えるために行う様々な手立てのことで、その成果は、モノと人、人と人との新しい関係を作る。情報デザインの可能性は「物質的なゴミを出さない」ということにあり、これまでモノ（ハード）で解決してきた問題を、情報（ソフト）で解決する発想が求められている。

照明デザイン

照明デザインとは、建築物や都市空間などに照明器具という光を発する装置を適切に配置して人々が夜間などでも安全快適に過ごせるように工夫すること。より良い照明デザインの実現には、光、光源、照明器具、光に対する人の生理と感覚、建築空間などへの正確で深い理解が必要。舞台やステージ上の照明演出は舞台照明と呼び、照明デザインとは別の分野。

職業性ストレス

職場や労働環境に由来するストレス要因及びストレス反応のこと。職業性ストレスを説明するモデルとしては、NIOSH 職業性ストレスモデル、仕事の要求度—コントロールモデル、努力—報酬不均衡モデルなどがある。

職業リハビリテーション

障がいのある人が適当な雇用に就き、それを継続し、さらに向上することにより、障害のない人と分け隔てのない社会になるよう支援すること。

食品衛生

飲食物による直接・間接の衛生上の危害を防止するため飲食物の監視を行い、食生活を安全な状態に保つこと。飲食物の採取・製造・加工・貯蔵・運搬・包装・調理・販売の各段階において、病原微生物の汚染を防ぎ、腐敗・変敗を防止し、有害な化学物質の混入を防ぐために手段を講ずること。

食品添加物

日本では食品添加物は、指定添加物と天然添加物に分類され、指定添加物は約 450 種類が登録されている。それぞれ安全性が認められており、正しく使うことがポイントである。各化合物には一日摂取許容量が決められている。

食品ロス

まだ食べられるにもかかわらず、何らかの理由で廃棄される食品のこと。大きく事業系と家庭系に分けられる。FAO の定義の Food Loss と Food Waste を包括したものである。

植物生理

植物の生理機能（成長にともなう現象）を示す言葉。

食料自給力

貿易に頼らず、国内でどの程度食料を生産できるのかという、潜在的な食料生産能力のこと。食料安全保障上、国が担保しなければいけない安定食料供給能力のもののさしとして、食料自給率とともに用いられている。

ショット / クリップ

映像編集で用いられる単一の映像の単位。撮影時においてはカメラの記録開始から終了までに撮影された映像で、編集点のない一連のフレーム（コマ）の集合。映像のデジタル編集ではショットのことを「クリップ」と呼ぶことが多い。

所得再分配

市場機構により決定された所得分配（当初所得）を、国民生活や社会の安定に資するため格差の是正などを目的に税制度や社会保障制度による政府の介入を通じて、分配しなおすこと。

序跋

卷子や画帖の冒頭にその絵への賛辞を述べたものを序（文）、巻末に記したものを跋（文）という。絵の制作の時期とほぼ同時期の場合もあるが、のちに編纂されて与えられたものもある。本文が転遷して、数百年にわたって書き綴られた跋などもある。絵の成立、伝来を知るうえで重要である。

ジョブ型雇用

働き手の職務内容をあらかじめ明確に規定し、役職や勤続年数ではなく成果で評価する雇用形態。テレワークと育児・介護休業、時差勤務等、多様な働き方が推奨されるようになり、ジョブ型雇用を取り入れる企業が増えている。対義語は、年功序列で給与が決まる「メンバーシップ型雇用」。

自律分散協調（ソーシャルデザイン）

地球、生命体、細胞などのあらゆる生命現象は中央管理者不在のまま、個々の要素が環境や他の要素の挙動を見ながら自身のふるまいを自律的に決定することで、大域的な秩序を維持している。このようなコラボレーションの手法は、地域社会の活性化からプログラム開発まで、幅広く応用されている。

進化計算

生物進化の過程を計算機で模倣する計算手法のことである。解の候補を個体に割り当て、個体集団に交叉、変異、淘汰という操作を施していくことで最も適応度の高い個体（解）を得る、遺伝的アルゴリズムが有名である。

人口オーナス

オーナス（onus）とは「負担・重荷」を意味し、従属人口（生産年齢以外の非労働力人口）が生産年齢人口（15歳から64歳までの労働力人口）を大きく上回るもしくは増加し続けている状態。その構成が経済にとってマイナスに作用する。その逆を人口ボーナスと言う。

人口転換論

経験則に基づいて、人口動態の特徴がどのように転換していくかを説明した理論。これによれば、経済発展と共に、多産多死で人口が停滞していた社会が、多産少死となって人口が急増した後、少産少死で人口が安定する社会へ移行していく。

新古典派経済学

1870 年代に誕生した限界効用学派（ジェボンズ、メンガー、ワルラス）の数学的な分析手法から強い影響を受け、今日では、ミクロ経済学として体系化された主流的な経済学派のこと。この学派は、価格が柔軟に変化して均衡に至るという考え方を重視しており、分配よりも効率性を重視する点に特徴がある。ネオ・リベラリズムや市場原理主義という政治社会思想は、この学派の理論をよりどころとしていることが多い。名前が似ているが、古典派経済学との共通点は少ない。

人種

人類を地域や皮膚の色をもとに分類する用語。世界三大人種はコーカソイド、モンゴロイド、ネグロイド。アメリカの人種問題において、ネイティブ・アメリカンの「赤い」皮膚の色は象徴的な人種区分の一つとなっている。

深層学習

深層学習（ディープラーニング）とは、約半世紀前に提案された人間・動物の脳の神経回路をモデル化したニューラルネットワークを多層化した機械学習手法の一つである。人工知能（AI）を支える重要な技術であり、現在では、画像認識や音声認識、翻訳などさまざまな分野で活用されている。

身体活動

安静（臥位、座位、立位）以外の全ての身体的な活動。日常生活での身体的活動、歩行などの軽い運動から各種スポーツなどの激しい運動の全てを含む。

人体計測

身体の高さ、体型などの特性を把握し、人体に計測点、計測基準線を付ける。計測器具を用いて、高度（身長等）、周径（BL 囲、WL 囲、HL 囲等）、実長（背丈、肩幅、袖丈等）を計測する。基本的に静立時の姿勢で計測する。

身体組成

ヒトの身体を構成する要素。全身は、原子、分子、細胞、組織の各レベルに分類された有機的組織体で構成されている。

身体知

運動の実践と指導において運動主体の内面に生じる運動感覚であり、言語化や数量化することが困難な身体動作の総称である。

人的資源

人的資源とは、経営資源「ヒト・モノ・カネ・情報」のなかで、ヒトのみを指して用いられる言葉である。企業活動のすべてはヒトから始まり、ヒトによってモノ・カネ・情報が動かされる。アメリカで Human Resource Management の概念が生まれたのをきっかけに、資源としての人材（従業員）の重要性が再認識され、広く認められるようになった。

人的資本理論

人的資本理論とは、教育や訓練を人間に対する「投資」とであるとみなす理論である。この理論に従えば、より長く教育を受けた者は自らに対しより多く投資を行った者であり、結果として高い賃金を受け取ることができることとなる。

深度センサ

レーザー光などを利用して対象となる物体までの距離を測定するセンサのこと。レーザー光の位置を変えていくことで物体の形状を立体的に可視化できる。自動車の自動運転や掃除ロボットなどで環境を計測する際に用いられる。

信用金庫

銀行が株式会社であるのに対し、信用金庫は協同組合という利用者同士の助け合い（相互扶助）の組織である。地域に密着して活動しており、中小企業にお金を貸している。

信頼

他者に向けて人が働きかける際に、思いどおりの結果が得られるかは事前に分からない。期待はずれの可能性があるとしりながら、それでも思いどおりの未来が他者から得られるはずだと信じる態度。市場での経済的取引においても信頼は欠かせない。

心理教育

心理学的な正しい知識・情報と具体的な対処スキル、及び参加者同士の情報共有や相互サポートの機会を提供することによって、参加者の自分自身の問題解決や成長への主体的な取組を促進すること。

水泳

水中で泳ぐ能力を身につけるためのトレーニング方法、および水中での動作を総称して水泳と呼ぶ。古来より泳ぐという動作は人間の身体運動の一つである。

水素

①グリーン水素

水を電気分解し、水素と酸素に還元することで生産される水素のこと。

②グレー水素

天然ガスなど化石燃料を用いて製造する水素のこと。

③ブルー水素

天然ガスや石炭等の化石燃料を、蒸気メタン改質や自動熱分解などで水素と二酸化炭素に分解することで作られる水素のこと。

水素経済

現在の主なエネルギー源である石油や石炭などの化石燃料の代わりに、燃焼しても水を生成するのみで、CO₂が発生しない水素を利用したエネルギーを中心とする経済のこと。

水中安全法

海・川またはプールなどの水中で安全に過ごすための方法論。例えば、プールでおぼれた場合の対処法、おぼれている人を救出する救助法などを指す。

水難事故

水難事故とは海・川またはプールにて起こる生命にかかわる事故のことを指す。特に大学生の死亡事故が多いことから、高等教育では水難事故を防ぐ方法を身につけることが望ましい。

水干絵具

胡粉や白土などに染料で染め付けた絵の具。

水分活性

食品中の水分の状態を示す値で、自由水／（自由水＋結合水）として表すことができ、純水は 1.00 である。微生物はこの自由水を使って活動するため、重要な指標となる。

数値計算

数学の問題を式変形によらずに、数値を用いてコンピュータで近似的に解く手法。行列方程式、非線形方程式、積分、微分方程式、フーリエ変換、最適化手法など様々な手法がある。シミュレーション、データ解析などで盛んに用いられる。

数理計画法

制約条件を満たし、目的関数の値を最小（大）化する解を求める手法であり、線形計画、非線形計画、ネットワーク計画、組合せ最適化等がある。現実問題の定式化により幅広く適用可能であり、機械学習等の基本ともなる最適化手法である。

すくい面

切削において切りくずが擦過する工具切れ刃の上面。この面で切りくずをすくいとるように見えることに由来した名称。

スクールカウンセリング

児童生徒の心理的な発達を援助する活動であり、「心の教育」や「生きる力を育てる」などの学校教育目標と同じ目的を持つ活動として文部科学省で定義されている。1995 年度に国の調査研究委託事業として開始され、スクールカウンセラーの小中学校全校配置にまで拡充された。

スクラップアンドビルド

老朽化したり陳腐化したりして物理的または技能的に古くなった建物や設備を廃棄し、新しく建て替えたり改装したりすること。組織の新設にあたっては、既存組織を一度解体して、新しい組織体を作ること。事業においては、例えば不採算事業を縮小または撤退し、新規事業を興すこと。英語の頭文字をとって、「S&B」（scrap：くず、廃物、がらくた、build：建てる、建設する、作る）と呼ぶことがある。

ストレングスモデル

支援対象者および取り巻く環境（家族、地域、職場、仲間など）が持っている健康な部分や可能性に焦点を当てる援助方法。長所に着目し、それを活かし、自立を促す支援方法。対象者の興味関心、夢や希望もストレングスと捉える。

スポーツ・リテラシー

市民がスポーツに多様な形で参加し、その過程で獲得した知識や技能を活用してスポーツ現象を批判的に分析・鑑賞・評価して、スポーツについてのコミュニケーションを生み出す能力のこと。「スポーツに関する知識・概念・技能」「スポーツに関する知識等を獲得する方法、また、これらを活用するスキル」「スポーツに対する価値意識・態度」から構成される。

スポーツコーチング

スポーツにおいて競技者やチームを育成し、目標達成のために最大限にサポートする活動全体。

スポーツ心理学

スポーツ心理学はスポーツに関する諸問題を心理学的に解明し、スポーツの実践や指導にあたって役に立つ知見や技術を提供しようとする科学である。

スポーツファイナンス

組織は種々の経営資源を活用して動いている。ヒト、モノ、カネ、技術・情報である。どれも重要な資源であるが、お金がないと組織は破産してしまう。おカネをどう調達して運用していくのかを学ぶ。プロスポーツクラブは企業組織であり、ファイナンスは大変重要である。

スポーツマネジメント

この世の中は「複数の人」が集まって、「一定の目的」に向かって「協働」することで、動いている。スポーツ組織も例外ではない。その組織をどう組み立てて、そしてできた組織を効率的に動かすのか。それがスポーツマネジメントである。

住み方調査

住宅における居住者の行動観察記録や聞き取りなどの実態調査のこと。住要求を読み取り、住宅の質を向上させてゆく方法論として戦後確立された。

スライディングモード制御

モータの位置を制御する場合において、位置誤差と速度誤差がバランスよく小さくなるように非線形な補償器を設計・利用して駆動力を作成することで、高速・高精度な動作を実現する制御方法。

3DCG

コンピュータが描いた画像がCG。それを立体的に計算して描いたものが3DCG。コンピュータの進化と共に広く普及してきた。

生活習慣病

食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣がその発症・進行に関与する疾患群のこと。以前は「成人病」と呼ばれていた。脳血管疾患、心疾患、動脈硬化症、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、ある種のがんなどがこれに含まれる。

生産（活動）

生産（活動）とは、企業や政府などの生産者が、家計の提供する労働と、生産設備や建物などの資本ストックとを用いて、原材料やエネルギーなどの財貨・サービスを生産過程に投入し、生産物である財貨・サービスを産出すること。

制震構造

構造物に取り付けた制震装置により地震エネルギーを吸収することで、構造物の揺れを抑えることができる仕組みのこと。

精神障害

何らかの脳の器質的変化や機能的障害が起こり、さまざまな精神症状や身体症状、行動の変化が見られる状態。精神障害は心の問題のみではないという認識と、これらの症状は、まだ分かっていないものも含め、必ず脳の異常によるという認識が大切である。

精神障がい者

精神疾患（統合失調症、感情障害など）、発達障がい、高次脳機能障がい、認知症、てんかんなど、脳神経の疾患や機能障がいがある者。疾患だけの者もいれば、認知機能障がいや自信・自尊心の低下を引き起こし、日常生活に支障がある者までいる。

精神保健福祉士

1998年に国家資格となった、精神障害がある人やメンタルヘル스에課題がある人の「生活のしづらさ」を軽減し、その人の望む生活に近づけるよう伴走者として支援するソーシャルワークの専門職。

生体イメージング

生体内の機能性分子や特定の細胞、組織、臓器を非侵襲的あるいは低侵襲的に可視化する方法。生体イメージングに用いられている検出原理としては、X線、放射性核種、磁気共鳴、超音波、蛍光、発光などがある。

生態学

生物と環境との関わり、また、生物同士の関わりを理解してそれを発展させていく学問。

生体分子間相互作用

生体内では、DNAやRNAとタンパク質、タンパク質とタンパク質というように生体分子間がついたり、離れたりすることで生命現象を担っている。生体分子間でついたり、離れたりすることを生体分子間相互作用と言う。

成年後見

精神上の障害により事理弁識能力を欠く常況にある者がいるとき、利害関係人の請求により家庭裁判所が後見開始の審判を開始し、成年後見人が選任される制度をいう。障害の程度により、成年後見・補佐・補助の3種類がある。

性能照査型設計法

構造物の目的とそれに適合する機能を明示し、機能を備えるために必要とされる性能（要求性能）を規定し、規定された性能を構造物の構造計画、設計、施工、維持管理に至る各段階で確保することにより機能を満足させる設計法。

政府開発援助（ODA）

中央及び地方政府による経済協力の一形態で、開発途上国の社会や経済の発展を目的として、優遇された条件で資金が供与されるものを指す。有償資金協力、贈与（無償資金協力・技術協力）、そして国際機関への拠出・出資という3つの形態がある。

西洋建築史

西洋（とくに地中海沿岸およびヨーロッパ地域）の建築様式（共通してみられる建築の形・色・素材などの特徴）を明らかにする学問である。残された建築と蓄積された記録をもとに、時代ごとの建築様式の変化を考察する。

生理活性物質

生体の生理作用に影響を与える天然化学物質や合成化学的に得られた化学物質である。

世界遺産一覧表

世界遺産条約第11条第2項により、世界遺産委員会が、自己の定めた基準に照らして、顕著な普遍的価値を有すると認める条約第1条及び第2条に規定する文化遺産及び自然遺産を記載した一覧表のことである。

世界遺産条約

第17回国際連合教育科学文化機関総会において、1972年11月16日に採択された国際条約である。正式名称は「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」。

セグメンテーション

市場細分化ともいう。消費者の集まりである市場を同一のものとして捉えるのではなく、年齢や性別などを基準としてより似た傾向を持つセグメント（グループ）に分けること。

世代効果

年齢差のある集団間の差が加齢によるものではなく、時代と年齢の相互作用による場合、その差は世代効果による差となる。世代効果とは、ある時代にある年齢でいることで生じる状況のことをいう。

切削加工

切削工具を用いて金属や樹脂などの材料から不要な部分を削り取る加工方法。除去加工ともよばれる。

切削抵抗

切削加工において、切削工具が材料を削る際に、材料が刃物を押し戻す力のこと。この抵抗の大小によって材料の削りやすさが異なってくる。

絶対的貧困

飢餓に苦しんでいたり、最低限の医療を受けることができないなど、人間として最低限の生活を営むことが困難なほどの貧困状態のこと。

ZEH

消費するエネルギーと、断熱・省エネ設備・創エネのトレードオフにより消費エネルギーが実質ゼロになる住宅。

セット

筋力トレーニングにおいて、複数回のレペティションをこなし、レストに入るまでのトレーニング単位。

Z世代

1996年から2015年に生まれた世代。「ジェネレーションZ」、「デジタルネイティブ」世代とも言われている。幼いころからパソコンやスマホ、様々なゲーム機器の扱いに慣れ、SNSを日常的に利用する。他者と競争するより自己実現や社会貢献に価値を見出す傾向がある。「X世代」（1965～80年生まれ）、「Y世代（ミレニアル世代）」（80～95年生まれ）に続く世代。

ZEB

建物で消費するエネルギーと建物（敷地内）で創出するエネルギーが相殺されたビルをZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）と呼び、低炭素社会における建築物の目標とされる。

セマンテックウェブ

Web文書の内容に関する意味をRDFやOWLを用いてタグを付け加え、メタデータとしてXMLによって記述し、Webページに持たせることで、情報をコンピュータが自動的に処理することができるという仕組みである。

セメント

灰色の細かい粉体で、これに水を混ぜたものをペーストといい、水和反応を起こして徐々に硬化する。セメントの主原料は、石灰石、粘土、けい石、鉄原料、石膏であり、全て国内で調達できる。主要な建設材料のひとつ。

セルオートマトン

格子状のセルと単純な規則による離散的計算モデルであり、数理生物学や複雑な自然現象のシミュレータなど、多くの分野で応用される。

禅画（ZENGA）

禅僧が書画を作るのは中世に禅宗文化が流入して、文人的な傾向もあって、余技として大に行われた。それは江戸時代になって、白隠や仙厓など数多くの書画を制作したが、彼らは自らの禅風をその書画に込めたと考え、それらを「禅画」と称することが多い。ドイツ人の日本禅の研究者クルト・ブラッシュなど外国人の禅研究者によって研究されたことからZENGAと表記することもある。

線形集中定数システム

入力と出力の係に「線形性」が成り立ち、特徴を表す量が「集中定数」となるシステムである。線形性とは、商品を購入するとき、一括で支払う金額と、一つひとつを別に支払う金額がいつも同じとなる性質である（商習慣では大量一括購入する場合、割引が適用されることが多い）。集中定数とは、気温や降水量などは福岡の県内各所で異なるが、全国の天気予報で「福岡」として一つの量で特徴を表すことである（全国規模では同じ量として近似できる）。線形集中定数システムは工学における諸問題で最も基本的なモデリングである。

全国総合開発計画

全国総合開発計画とは戦後から1998年まで行われてきたわが国における国土計画・地域開発の根幹となった計画である。時代時代で経済状況は異なるがそれを加味して国土の均衡ある発展を目指した。また大都市圏の肥大化を抑制し、地方圏の発展を促して地域間の格差を国主導で是正しようとするものであった。

全国通訳案内士

外国人に付き添って外国語で観光地を案内し、日本の歴史や文化を正しく伝え、旅行行程管理や危機管理等に適切に対応することができる公認された人材。国家試験である全国通訳案内士試験に合格しなければならない。

潜在市場

潜在市場とは特定の製品やサービスに対してある程度の関心がある消費者の集合のことを言う。でも潜在市場が商品開発のための集合体ではない。潜在市場の中には他にも「有効市場」「適格市場」「対象市場（これが一般的なターゲット市場）」などに分かれていることに注意する。

造形遊び

子どもひとりひとりの「身体」や「感覚」といった能力を大切にしたい造形表現活動のことを指す。体験を通して知識を獲得することがねらいとされており、原初的な活動である「並べる」「積む」「重ねる」などを用いた造形表現活動は造形遊びの独自の視点といえる。

造形表現

様々な材料を用いて“ものや絵”で表現すること。とくに幼児の造形表現においては、発達段階に応じた表現がみられ、保育者は豊かな感性を養うために身近にある形、色などに気づくようにする造形表現活動を実践できる力が求められる。

総合償却

総合償却は資産に対する減価償却の方法の一つである。通常、総合償却という場合、耐用年数または物質的性質に共通性のない複数の資産に対して平均耐用年数を用いて計算する方法を指す。

装身具

身体や衣服などに着け、飾るものの総称である。その区別は諸説あり、西洋式のものをジュエリー、和装用のものを装身具と定義する説や、実用的な目的の無い権力や財力の象徴として他者に示す目的で身につけるものなど様々である。現代では、用いられる素材も様々で身につけて飾るものを装身具と言う。

創造性

創造性とは、人と人との相互作用が双方の活動をより自由にしていく過程となることによって、新たな理解や新たな考え、新たな関係がつくり出されていくことである。何もないところから生み出されるのではなく、人々の協働の継続に基づいて生み出されていく。

創造都市

リチャードフロリダ、チャールズランドリー、佐々木雅幸等によって提唱された創造性を核とする都市ビジョンである。創造都市では、文化芸術分野の創作活動に限定せず、科学技術、デザイン、創造産業など幅広い領域における様々な活動が行われている。

相対的貧困

その国や地域における大多数と比べて、貧しい状態にあること。先進国においてみられる貧困のかたちは、この「相対的貧困」が多い。相対的貧困率が高いと格差が広がっていると考えられる。

ソーシャルインクルージョン

「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」という理念。社会的包摂と同義。誰も排除されない社会づくり。

ソーシャルデザイン

ソーシャルデザインとは、デザインの思考・手法によって社会に貢献する活動を指す。人と社会が抱える様々な問題に「気づき」、「伝え」、そしてその解決策を持続可能な方法をもって提案する。

ソーシャルビジネス

営利か非営利かに関わりなく、ソーシャルな目標（社会的課題解決）を最も重視し、それを常に意思決定において反映している形態のビジネス。

ソーシャルワーク

ソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）が実践する個人・あるいは集団、社会全体の困りごとの解消に向けた支援の総称。「相談援助」とされることも多く、クライアント（困りごとを持つ人）の話を丁寧に聴き、社会サービスと連携しながらその解決をともに目指すプロセスのこと。

SOHO

SOHO（ソーホー）は、Small Office / Home Office（スモールオフィス・ホームオフィス）の略称である。主にフリーランスや小規模事業者が「住居」用途の物件を「住居兼事務所」として活用することをいうことが多い。明確な定義はなく、各分野で受け取り方が様々である。

速度の経済性

事業活動のスピードを速めることにより得られる経済的便益の総称を指す。スピードを上げることで顧客の需要に迅速に対応できたり、投資効率を高めることができる。さらに、商品の回転スピードを上げることで売れ残りを減らしたり、商品実験をしやすくなるなどのメリットもある。

測量

測量機器を使って、ある地点の位置や方向、地点間の距離をもとめること。また、その成果をもとに土木構造物の設計や工事をするための図面を作成すること。建築物も土木構造物も建設予定地周辺の図面がないと造れないため、建設業界ではなくてはならないもの。

粗骨材

骨材のうち、おおそ径が5mm以上のものの総称である。骨材とはコンクリートの骨格となる材料のことで、体積の約7割を占める。粗骨材として一般的なものは砂利、碎石、スラグ粗骨材などがある。密度は2.5g/cm³前後である。

Society5.0

仮想空間（サイバー空間）と現実空間（フィジカル空間）を高いレベルで融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する未来社会のこと。

組織

共通目的の達成のために、そこに関わる要素（主に人）が相互に協力しあいながら生み出されている活動のこと。その活動の中で、新たに目的が変化したり、役割の分担が生じたりする。

組織行動

簡単にいえば、様々な要因が相互作用している組織の中で、個人がとる行動を指している。それを研究する分野は組織行動論である。組織行動に影響を与える要因は主に、①組織全体、②グループ、③個人、の3つのレベルのものから構成されており、それぞれのレベルの要因にさらに、モチベーションやリーダーシップなどの多くの要素が含まれている。

組織能力

組織能力とは、企業活動を行ううえで必要な企業の組織的な能力のこと。組織能力には様々な切り口がありますが、例えば、調達・購買力、製造力、マーケティング力、技術開発力、人材開発力などが組織能力である。

組織文化

「組織で共有されている価値観・規範・信念」と定義される。組織文化は組織メンバーが目に見ることができ、最も意識できるものが人工物、組織に共有されている価値観、その根底にある基本的仮定の3階層からなる。組織文化が広く深く共有されると、その組織は内的統合と外的適応の程度を高め、高い成果を上げられるようになる。その反面、組織文化を意図的にコントロールできるかは不明であり、また組織文化の強制は洗脳になりかねないことから、組織のリーダーには組織文化に対する深い理解が求められる。

租税

租税とは、国や地方公共団体が、行政活動の経費を調達するために、国民（地域住民）等から直接的な反対給付なしに徴収する金銭である。国が課税する場合を国税、地方公共団体が課税する場合を地方税という。

ソフトウェア工学

大規模なソフトウェアの開発を工学的なアプローチより実現しようとする分野であり、ソフトウェアの開発、運用、保守を系統的で定量化可能な方法論を与える。または上記のような方法の研究を指す。

損益計算書

一定期間（通常は1年間）における企業の経営成績を示す報告書である。売上などの収益とそれを得るためにかかった費用の差額として利益を計算表示して、その期間の儲けの大きさとその発生原因を明らかにする。

ターゲット

企業が想定している自社製品やサービスの購入・使用対象者のことを指す。消費者のニーズは様々なので、マーケティングではまず誰に売るかを考えることが求められる。

ダイアグラム

図表、図式、略図、図形などの意味を持つ英単語「diagram」。建築分野では、設計意図や空間の構成をわかりやすく伝えるために書かれた図式や略図を指す。

大会社

会社法の定める用語であり、資本金 5 億円以上または負債総額 200 億円以上の会社をさす。なお、世間一般で用いられている言葉として「大企業」という用語があるが、これは特に明確な定義がなく、大会社とは異なる。

大規模改修の修繕

主要構造部の大部分を同じ材料や形状、寸法で造りかえることをいう。

耐高温材料

高温に耐えられる構造材料（セラミックス材料（例 SiC など）、耐熱金属材料）。

貸借対照表

企業の財政状態を明らかにすることを目的に、資産、負債、純資産（資本）を構成要素として作成される財務諸表の一つである。

耐震安全性

地震に対して構造物が持っている安全の度合いのこと。日本の建物に関しては、最低限確保すべきレベルとして、建築基準法の構造計算関係規定を満たすことが求められる。

耐震構造

構造物の強度を高めたり粘りを持たせたりすることにより、地震力に耐えるようにされた構造のこと。日本国内の建物の多くがこれに該当する。

大統領制

アメリカで発達した大統領制は、立法権を担当する議会の議員と、行政府の長である大統領を、国民が選挙で選び、行政府と立法府が厳格に分離されている制度である。二代表制と呼ばれ、議院内閣制よりも権力分立が貫かれている制度である。

ダイナミック・ケイパビリティ

持続的な外部適応のために、「ヒト、モノ、カネ、情報などの経営資源」や「経営資源の高付加価値化のための仕事の流れ、手順などの組織能力」を、意図して、創造・拡大・修正する、主に企業家によって発揮される組織能力である。D.J.Teece らが提唱している。

ダイナミック・プライシング

利用状況などの条件により商品やサービスの価格を変化させること。利用者が多い時には高い価格を設定することで、利益を最大化し、利用者が少ない時には低価格を設定することで、利用者を増加することを目指す。タクシーや鉄道運賃などにおいても導入が検討されている。

代入

プログラムの中で、変数にデータを格納すること。多くのプログラミング言語では = を代入の記号として使っているが、数学の等しいではないことに注意。例えば、 $x = 2$ のような代入のプログラムは、 x は 2 と等しいではなく、 x に 2 を格納するという意味である。

ダイバーシティ・マネジメント

多様な人材を組織の中で活用して、企業戦略や企業の財務的、非財務的（転職率の低下など）につなげていく人事戦略。ダイバーシティ & インクルージョンと同義として扱われる場合が多い。ダイバーシティは多様性という意味。インクルージョンは「従業員のインクルージョン認知」を参照のこと。

タイポグラフィ

印刷物などにおける文字情報を、適切な書体、大きさ、配列などによって効果的に伝達するテクニックのこと。

ダイレクトマーケティング

アマゾンなど EC プラットフォームや、集約された巨大流通企業への依存、従属を回避して事業成長を望むメーカー側のマーケティング戦略。自社の商品を、自ら設定した値付けで、他社の販路に依らず、顧客との双方向のコミュニケーションで消費者に直接に、持続的に届ける。

多角化

企業が成長を図るための戦略の 1 つであり、製品、市場ともに新しい分野へ進出することを意味する。新規事業と既存事業との関連性に基づき、関連型多角化と非関連型多角化の 2 つに大別される。

武雄温泉楼門

東京駅を設計した佐賀県唐津市出身の辰野金吾が設計した楼門で国の重要文化財に指定されている。2012 年復元された東京駅の天井レリーフ 8 千支と武雄温泉楼門の四隅の彫り絵 4 千支を合わせると十二支揃うことが判明、話題となる。

多言語対応

日本語を解しない外国人の需要に応じるため、公共交通機関、観光施設、商業施設などにおいて、案内表示、案内放送、案内解説文などを通じて、施設情報や利用方法などを、日本語だけでなく、英語、中国語、韓国語など複数の外国語で表記したり対応したりすること。

多国籍企業

企業活動を複数の国において遂行する企業を指す。本社と海外にある子会社がネットワークで結ばれ、世界レベルで調達、生産、販売を最適なレベルで実行できるというメリットを持つ。

大宰府

7世紀後半に、筑前国筑紫郡に設置された地方統治機関。西海道の九国・三島の行政管理、対外関係の諸事をつかさどった。その政治的役割の重要性から、「遠の朝廷（みかど）」とも呼ばれた。現在の大宰府政庁跡（都府楼跡）は、政務を執行する館（むろつみ）があった場所である。なお、古代の役所を指す場合には、「太宰府」ではなく「大宰府」と表記する。

タスク

①会社などで個人や部署に課せられた個々の仕事。②コンピュータで行う作業の1つの単位。

タスクフォース

通常の組織内で行う仕事とは別に緊急性の高い特定の任務を遂行するため、一時的に設置される組織のこと。

WTO

World Trade Organization の略。日本語の正式名称は世界貿易機関。貿易に関する国際ルールの設定や実施を行ったり、貿易に関する課題に取り組んだりする国際機関。

ダブルファネル

E コマースでも良く用いられるマーケティングのフレームワークの一つ。商品・ブランドの認知から初回の購入にいたる第一段階と、二回目購入からロイヤル顧客にいたるまでの第二段階からなる。二回目以降の購入を促して、事業の収益性を高めることを目的とする。

ダブルヘテロ構造

半導体レーザは活性層を中心にサンドイッチ状にクラッド層が挟み込む構造からなっている。この活性層とクラッド層は異なる（ヘテロ）材料からなり、サンドイッチ状に2つ（ダブル）の層で活性層を挟み込むことから、ダブルヘテロ構造と言われている。

多文化共生

国籍や民族、言語や宗教など多種多様な文化的背景をもつ人々が構成員として共に暮らす社会のあり方。多文化主義とも言われる。国民国家とは対照的な考え方。

多様性

思考、感情、利益がそれぞれに異なりをもっているということであり、人が生きていく上での、最も本質的な特徴とすることができる。お互いが成長し合うための礎となり、また創造性の基礎となる。したがって組織や社会では、いかに多様性を豊かにしつつまとめていくかが重要となる。

SiC-MOSFET

炭化ケイ素（SiC）は、現在主流の半導体 Si より化学結合が強く高電界動作でき、電界効果トランジスタ（MOSFET）というパワー半導体スイッチに使われる。新幹線 N700S で実用化され、電気自動車用も開発中である。

鍛金

鍛（キタエル）金（カネ）と文字通り、金属を叩いて形作る分野で、当て金と呼ばれる様々な形状の金床の上で金鋸や木槌などを使用し、金属板などを形成する金属工芸分野の 1 専門領域を指す。代表的なものとして鍋や刃物の制作が挙げられる。

団地再生

建物や設備の老朽化、入居者の高齢化や入居率の低下により衰退化が進んでいる主に高度成長期に建設された団地を、建物の内外装や住宅設備の補修や改修をしたり、住民のコミュニティ活動を活発化させたりして団地全体の活力を取り戻すこと。

タンパク質高次構造

タンパク質におけるアミノ酸配列は一次構造、 α ヘリックスなどの部分的構造を二次構造、幾つもの二次構造が集まって一つの分子の形になったものが三次構造、三次構造を形成した分子が複数個集まって形となったのが四次構造である。このうち、三次構造、四次構造を高次構造という。

タンパク質の変性

タンパク質は加熱や酸・アルカリ処理などを受けるとその 3 次構造が変化し、元の性質を示さなくなる。これを変性と呼ぶ。

単利・複利

利息を計算する際に、毎回同じ元金に金利を掛けたものを利息とするのが「単利」。発生した利息を元金に加えて、次の新たな元金として計算するのが「複利」である。

弾力性

経済学における弾力性は、ある変数（例：価格や所得）が変化した際に、別の変数（例：需要や供給）がどの程度反応するかを示す指標である。弾力性は、価格弾力性、所得弾力性など、さまざまな経済変数間の関係进行评估するために使用される。

地域研究

行政範囲又はアイデンティティを共有する範囲としての地域を対象に、その地域の地理、経済、社会、文化などを調査・分析・解析・比較すること。その結果に基づいて地域の課題改善及びビジョンを提示することが主な意義である。

地域貢献

地域の課題解決に寄与する活動であり、建築・都市分野における課題としては、地域のまちづくり、歴史的遺産の再生と活用、都市景観・生活環境・自然環境・福祉環境の保全と改善、防災または減災対策等が考えられる。

地域構造

地域構造とは、地域を構成する地域内部の部分（内部地域）が相互的にどのように関連しているか（構造）を意味する。通常は地理上の空間構造を指し、地域内部における諸地域の配置、位置関係、大小、相互の結びつき、各地域が果たす役割などが様々なデータから検出される。

地域調査

特定の地域をある目的をもって調査すること。現地を調査する手法や先行研究や統計資料などを調べる手法がある。なお、日本地理学会には、地理学をベースとした「地域調査士」「専門地域調査士」を認定する資格制度がある。

地域通訳案内士

特定の地域の歴史・地理・文化について、報酬を得て外国語で案内する人材。各自治体が行う研修を受けて登録しなければならない。

地域づくり

その地域で暮らす、あるいは働く・学ぶ人々の主体的な発想と行動によって、自然・歴史・文化・産業・景観等の地域の資源を活かしながら地域の課題を解決し、いきいきとしたよりよい生活環境を実現していく取り組み。

地域福祉

市町村を基盤として、自立生活が困難な人々の自己選択、自己決定、自己責任を尊重し、住み慣れた地域において必要な在宅福祉サービスを総合的に提供することである。

地域包括ケアシステム

地域の実態把握と課題分析を行い、構成要素（①住まい、②医療、③介護、④介護予防、⑤生活支援）を発掘・整備・組み合わせ、有機的なシステムを構築することである。

地域メディア

地域社会を主な範囲とするメディアのこと。テレビの全国放送、新聞の全国紙などが媒介するマス・コミュニケーションと、家庭内などでのプライベート・コミュニケーションとの間に想定される中間的なコミュニケーションを媒介する。

チーム医療

医療において多様なスタッフが、各々の専門性をもとに、要支援者とその家族の情報や治療目的を共有し、お互いに連携しながらチームとして質の高い医療を提供すること。

チーム学校

2015 年に中央教育審議会提起された概念。教員をはじめとして、心理や福祉等の専門スタッフを学校職員として位置づけ「専門性に基づくチーム体制の構築」により教育活動を充実させる目的がある。

チェーンストア

単一資本で店舗を直接的に経営する小売業のことであり、一つの企業が多店舗経営を行う形態のことをいう。

地球温暖化

人類の経済活動の結果として排出される二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスによって気温が上昇すること。海面上昇や異常気象の原因とされており、地球規模での対策が急務である。

知識経営

組織において、特定の個人のもつ言語化困難な経験や勘などの暗黙知をマニュアルなどの表現可能な形式知に変換することで、組織内の知識の共有化や明確化を図り、作業効率化や新しい知識発見を企業全体で行う経営やマネジメント手法。

知識創造

競争の激化と環境変化の中で、企業の存続・成長には、ヒト・モノ・カネに加え、顧客や市場に関する情報の迅速・的確な収集・分析・活用が不可欠である。知識の組織的な創造・活用の技能・習熟を分析するのが知識創造論である。

知的障害

知的障害とは、「認知や言語などにかかわる知的機能」の遅れと「他人とのコミュニケーションや日常生活、社会生活、余暇活動などについての適応機能」の不十分さ、これら両者の機能が特別な支援を必要とする状態にあるものをいう。

地方銀行

地方経済をお金の面から支える金融機関で、各県に1行～2行あることが多い。県内には多数の店舗やATMを構える。しかし、近年は地方銀行同士の合併やグループ化が進んでいる。

地方財政

地方財政とは、地方公共団体の経済活動のことである。地方公共団体は、住民福祉の増進のため、住民等から徴収した税金や、国からの財政移転、借入金など、様々なかたちで資金を調達し、社会資本の整備や種々の行政サービスの提供を行っている。

地方自治の本旨

憲法 92 条に定める地方自治のあるべき姿。地方公共団体が国から独立した法人として、自主的に事務を処理するという団体自治の原則と、住民が地方自治に議員と首長の選挙を通じて意思表示して責任ももつという住民自治の原則からなる。

鑄金

鑄（イル）金（カネ）と文字通り、金属を型に流し込み形作られる分野で、主に金属以外の素材で原型を作り、原型を型取った後、原型を抜き取った型に溶解した金属を流し込む、金属工芸分野の1専門領域を指す。代表的なものとしてブロンズ像や茶道の茶釜などの制作が挙げられる。

中国5A 等級観光地

中国の観光地に等級を付け、観光地のサービス、交通アクセス、景観保護などの質の向上を図る制度。等級は1A～5Aの五段階があり、5Aが最高水準。2021年までに、万里の長城、上海テレビタワー（東方明珠）など中国全土で306カ所の5A観光地が認定された。

中国非物質文化遺産

非物質文化遺産とは日本の無形文化財にあたる。中国では、国内各民族の口承文芸、伝統美術、伝統医学、伝統的祭りや民俗などを非物質文化遺産として保護している。ユネスコの無形文化遺産リストには、書道、端午節、京劇、太極拳などが登録されている。

中国文化遺産保護制度

中国では歴史的文物を保護するため、1961年全国重点文物保護単位が公示、1982年文物保護法の制定など法的整備がなされた。国家重点級から省、市、県の各級がある。2021年国家レベルの重点保護単位は故宮や敦煌莫高窟（とんこうばっこうくつ）など5058カ所が指定。

中小企業の存立条件（存立形態）

中小企業の存立形態とは、膨大な中小企業が大企業の競争力の下で存立できるのは、大企業との協調関係（下請制）、問屋との取引関係（問屋制）、先進的な技術開発に依存するベンチャービジネス型、自社で作り自社で販売する独立形態を言い、主に4つのタイプがある。

中所得国の罠

発展途上国が、低賃金労働によって経済成長を遂げ、中所得国には達するものの、賃金の上昇によって工業製品の輸出競争力が失われて成長が鈍化し、高所得国に到達できない現象のこと。

長期相対取引

長期相対取引とは、下請制において、親企業と下請企業間の取引が長期間、決まった相手との取引が継続してきたことを意味し、その結果、下請中小企業の技術力アップ、経営の安定等をもたらし、下請企業的能力として低価格、高品質、短納期等が高く評価される。（反対の用語はスポット取引）

彫金

彫（ホル）金（カネ）と文字通り、金属を鑿（タガネ）と呼ばれる鋼材で、彫る・突くなどし、細工、彫刻、象嵌、石留めなどをおこなう金属工芸分野の1専門領域を指す。代表的なものとしてジュエリーなどの装身具の制作が挙げられる。

超硬合金

炭化タングステンと結合剤であるコバルトとを混合して焼結したものである。単に超硬とも呼ばれる。

超伝導

金属や化合物などの物質を冷却した時、ある温度以下で電気抵抗がゼロになる現象が起こる。この現象が超伝導であり、超伝導に転移する温度を臨界温度と呼ぶ。超伝導の電気抵抗ゼロの性質を利用すると、大電流を損失なく送電する応用が可能になる。

重複障害

障害には、視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・情緒障害・発達障害など様々な障害種がある。重複障害とは、複数の障害を併せ有する状態である。

直接請求

①条例の制定・改廃請求、②事務の監査請求、③議会の解散請求、④議員、長、選挙管理委員会および公安委員会の委員等の解職請求の4種の直接請求を地方自治法74条以下が定め、地方公共団体の住民に、地方行政に直接参加する機会を与えている。

直接流通

メーカーは消費者に直接販売する形態である。メーカーによる通信販売や訪問販売、またはメーカー直営店を通じての販売は直接流通の典型的な例となる。

ツアーオペレーター

国内外の旅行会社からの依頼により、報酬を得て、旅行先のホテルやバス、ガイド等の手配を専門に行う会社であり、ランドオペレーターとも言う。旅行業法では、旅行サービス手配業として規定されている。

使われ方調査

施設における利用者の行動観察記録や聞き取りなどの実態調査のこと。結果に基づき施設の質を向上させてゆく方法論として戦後確立された。

坪量

紙の重さを表す方法のひとつ。「1平方メートル(1㎡)あたりの用紙の重さ」を表す単位として「g/㎡」で表示する。「米坪(べいつば)」とも呼ばれる。基本的には厚さのある紙ほど坪量の数値が大きくなり、厚み・強度をおおまかに把握するためにも用いられる。

DX(デジタル・トランスフォーメーション)

ICT革命(情報通信革命)が活動の効率化を目的としているのに対し、DXはICTを基盤としたさまざまなデジタル技術を活用することによって、活動そのものの質的変換を図る。

DNA

デオキシリボ核酸の略称であり、生命の設計図。

DNS

Domain Name Systemの略。www.kyusan-u.ac.jpのようなホスト名(Fully Qualified Domain Name)を133.17.5.110のようなIPアドレスに変換する。電子メールの配送先サーバ情報なども保持している。

DMO

Destination Management Organization(地域経営)の略。「観光地経営」とも訳されるが、観光庁に於いては「観光地づくり法人」をDMOと呼んでおり、日本版DMO(現在は「登録DMO」と呼称)は、多様な関係者と協同し、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりの戦略を策定し、着実に実施するための調整機能を備えた法人と定義されている。※観光庁では「Destination Management/Marketing Organization」の略としている。

低温電子物性

電子物性は、物質の電氣的、磁氣的、熱的性質を量子力学に基づいた電子のミクロな性質をもとに理解するものであり、物性物理学とも呼ばれる。その中でも、超伝導などのように極低温領域で特徴的な電子物性に着目する場合は低温電子物性と呼ばれる。

定期昇給

従業員の年齢や勤続年数に応じて、基本給が上昇すること(定昇ともいう)。企業によって異なるものの年1回行われることが多い。ベースアップや春闘というワードとともに使われることが多い。

ディスプレイデザイン

ディスプレイ(display)とは展示する、陳列する、飾る、表示するといった意味であり、ディスプレイデザインとはある目的のために商品や美術作品などを展示したり飾り付けてテーマやメッセージを伝えたり感じさせたりする空間デザインのことである。デザインの対象は、ショーウィンドウや店舗など商空間における販売促進や消費を目的とするもの、博物館・美術館や博覧会などにおける啓蒙や伝達を目的とするもの、遊園地や劇場などにおける人を集め楽しませることを目的とするものと範囲は広く、空間を媒体としたコミュニケーションデザインとも言われている。

ディプロマ・ポリシー

学位の授与方針。学位授与の判断のための基本的な考え方として、教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかに関する基本的な考え方を定めたもの。

データ駆動型

直感や経験ではなく、収集したデータを分析し、それらの結果から何が言えるのかを考え次のアクションを決めたり、意思決定を行ったりすることを指す。

データ駆動型社会

大量・多様なデータによって「情報」や「知識」を生み出すことで現実社会を動かす社会のこと。

データサイエンス

統計学、人工知能、および情報工学等の複数の領域の手法を駆使してデータから価値を引き出す学問。データサイエンスの研究者や実践者はデータサイエンティストと呼ばれる。

デザイン思考

デザインの本来の役割は、人間の社会や生活環境に関わる問題を解決することであり、問題解決のための創造的な思考法や論理的な手法などを総称してデザイン思考という。

デジタル通貨

現在は紙幣（お札）や硬貨（コイン）として流通しているお金を、スマートフォンやインターネット上で流通させることが可能になる。

デジタルプラットフォーム

IT 技術やデータを活用して利用者間を結びつける「場」を提供するサービスの総称。買い物や交流サイトなどが主流だが、オークションや電子決済、予約サイトなど多種多様に広がっている。異なる複数の利用者層が存在する多面市場を形成し、いわゆる間接的なネットワーク効果が働くという特徴がある。運営者の代表格は GAFA（Google, Apple, Facebook= 現 Meta, Amazon）

哲学

哲学があらゆる学問の基礎と言われるのは、「常識を疑う」という最も基本的な知的態度を徹底的に実践しているから。宇宙についてであれ、人間についてであれ、当たり前と思われていることを疑うことから、新たなユニヴァーサル・デザインが立ち上がる。

鉄筋コンクリート構造

引張力に弱いコンクリートを鉄筋で補強した構造。耐震性や耐火性が高いのが特長である。英語の reinforced concrete の頭文字を取り、「RC 構造」とも呼ばれる。

鉄骨構造

鋼材を用いた構造のこと。英語の「Steel」の頭文字をとって「S 構造」ともいう。

鉄骨鉄筋コンクリート構造

鉄筋コンクリートにさらに鉄骨を組み合わせた構造。鉄筋コンクリート構造に比べて高層化が可能であるが、工程が複雑でコストが掛かるのが難点である。略して「SRC 構造」ともいう。

デフォルメ

デフォルメとは、フランス語の「deformation」から来ており、対象を意図的に、または特徴を強調し変形させることを意味する。技術が足りず変形してしまったり、バランスが崩れてしまったものはデフォルメとは呼ばない。表現の過程で用いられる手法になる。

デマンド交通

バスや電車等のように、あらかじめ決まった時間帯に決まった停留所を回る（定時定路線型）のではなく、利用者が予約を入れて指定された時間に指定された場所へ送迎する交通サービスのことである。

デマンドレスポンス

電力需要のピーク時や需給逼迫時、太陽光発電による余剰電力発生時などにおいて、電力需要の制御が必要な場合、電気料金を変化させることで電力需要の変化を促す料金メニューのこと。

電解

電流を流すこと（電気分解）によって生じる化学変化、反応を指す。

電気抵抗

電気抵抗とは、物質・材料における電流の流れにくさを表すパラメータであり、単位はオームで表される。一般に、電気抵抗が小さい物質ほど、電気機器への応用においては理想的であるが、オーディオなどの音量調整における電流値の調整、温度センサや電熱線への応用など電気抵抗を積極的に利用した応用もある。

点源汚染・面源汚染

環境汚染は、汚染者を特定できる点源汚染と特定が難しい面源汚染に分類できる。汚染者が分からなければ、税・補助金・排出量取引といった伝統的な環境政策は適用できない。多くの国や地域で面源汚染の改善は停滞しており課題として残されている。

電子公告

インターネットなどの電磁的方法により行われる公告方法であり、平成 16 年の商法改正によって、従来の官報や日刊新聞紙に限定されていた公告方法に加えられた。

電磁石

電流が流れるとその周囲に渦状の磁界が生じる。この現象を利用して、導線を渦巻状 / らせん状に巻いたコイルに電流を流すことで、コイル内に磁界を発生させることができる。これを電磁石という。電磁石では、永久磁石と異なり、コイルに流す電流を調整することで、磁界の大きさや向きを変えることができる。

電子帳簿

電磁的記録をもって作成された帳簿や書類のことである。電子帳簿保存法という法律により、紙ベースの書類の一部を電磁的記録で保存することが認められており、制度上、電子帳簿は書面をもって作成される帳簿や書類と同質であるとみなされる。

電磁波

時間的に変動する電界（電場）と磁界（磁場）がお互い誘起しあいながら空間を伝搬しているものを電磁波という。電流が時間変化することで電磁波は発生する。大気中を瞬時に電流が流れる落雷も電磁波の発生源である。

伝承遊び

鬼あそび、コマ回し、折り紙などに代表される、昔から子どもたちに親しまれ伝えられてきたあそび。創意工夫しながらあそびを発展させたり、友だちと関わる力などを育むことが期待されるため、保育現場の活動として教材価値が高い。

伝熱

熱エネルギーが空間のある場所から別の場所に移動する現象。例えば、車のエンジンを効率よく冷したり、室内を暖かく保ったり（断熱）、生活の様々な所に関係。通常、熱は温度の高い場所から低い場所に移動。

天然染料

動物や植物から抽出した天然色素。

でんぷんの α 化・老化

でんぷんは水を加え加熱するとその結晶構造が崩れ、水を取り込み網目状に広がり、これを α 化と呼ぶ。 α 化により消化されやすくなる。 α 化したものを低温で保管すると、一部が離水し、結晶構造に戻る。これを老化と言い、ボソボソとした食感になる。

テンペラ

卵テンペラ。顔料を卵で練って作った絵具。あるいは、テンペラ絵の具で描かれた絵画。西洋で、油彩画が発展する前には一般的な絵具であった。

電力変換

電気の世界には「直流」と「交流」があり、直流と交流を相互に変換するのは大変重要である。これを「電力変換」といい、多くの電力は必ず変換されてから電子機器などに利用されている。

TOEIC

Test of English for International Communication (TOEIC) は英語のコミュニケーション力とビジネス英語力を測定するテスト。最高点は 990 点（リスニング、リーディング各 495 点）で、マーク方式テストである。海外留学や英語教員を目指すには、各スキルで少なくとも 200 点以上が必要。

動画

時間軸を持ち、動きを表現することが可能なデータおよび表示形式。静止画に対する呼称で、主にネットを介して伝達される映像を指す。学術的には「動画」はアニメーションのことを指す点に注意すること。

統計モデリング

ある確率密度分布があって、その分布に従い、データが生まれてくるようなモデルが確率モデルである。その確率モデルをデータに当てはめて現象の理解と予測をする枠組みは統計モデリングである。

統合

人はそれぞれ異なる考えや願望を持っている。統合は、そのような相異なる人々が関係し合うときに、お互いの考えや願望を損なうことなく、相互作用によって新しい状況へとより前進させながら、一つにまとめ上げていく活動の過程である。

透析装置洗浄

血液浄化用透析装置及びその配管の除菌・洗浄・炭酸カルシウムスケール除去。

道徳教育

教えようとすればするほど目標から遠ざかるような、世の中でもっとも難しい教育の一つ。その主な原因は、道徳教育の目的が単なる道徳的知識の伝達ではなく、児童生徒の内なる道徳性の育成に設定されている点に求められる。

童謡

広義には子ども向けの歌謡や詩。狭義には子どものために創作された芸術性の高い文学作品およびその詩をもとに旋律が付けられた歌曲作品。特に大正中期より、児童雑誌『赤い鳥』の創刊を契機に広く普及し、発展した。

遠の朝廷

太宰府市に置かれた大宰府政庁の別称。大陸から渡来する外国との関係を含め九州全域を管轄したことから、この名がある。年号「令和」発祥の地として、大宰府政庁跡周辺は観光資源としても注目されている。

トーン&マナー

デザインしたものから受ける雰囲気やイメージ。ブランディングを確立するにあたり、訴求する広告主の「らしさ」を損なわないために十分考慮する必要がある。

特殊環境

体力科学領域における特殊環境とは、常 - 低 - 高圧環境下におけるヒトの生態応答を科学する。競技力向上や健康づくりのための低酸素トレーニングなどが注目されている。

特徴量エンジニアリング

機械学習等の分野で分析対象となるデータをそのまま利用するのではなく、そのデータに関する知識や経験に基づき、新たな特徴量を抽出したり、評価したり、分析目的に応じて適切な特徴量を選択したりすることで、機械学習モデルのパフォーマンスと精度を向上させる工程。

特定保健用食品

生理学的機能などに影響を与える保健機能成分を含む食品のことで、消費者庁長官の許可を得ることにより、特定の保健の用途に適する旨を表示できるようになる。

特別支援教育

特別支援教育とは、障害のある子供の教育的ニーズを把握して学習や生活の支援や指導を行う教育のこと。特別支援教育の場としては、特別支援学校及び通常の学校の特別支援学級・通教による指導・通常の学級がある。

都市

都市とは、漢字の「都」（王や皇帝が住む宮殿のある場所＝政治の中心地）と「市」（多くの人が集まって交易・売買をする場所＝経済の中心地）の組み合わせであり、政治・経済・文化・交通などの中心となっていることで人口の集中した大きなまち。

都市型水害

コンクリート・アスファルトに覆われた都市空間は雨水の浸透がしにくいため、降水が下水道や河川に一気に流れ込み、その容量を超えることが多い。地球規模の気候変動による豪雨とヒートアイランド現象による局所的な強雨の多発がこれに拍車をかける。こうした都市特有の環境条件によって発生する、内水氾濫を中心とした水害のこと。

都市計画

都市計画とは、都市における経済、文化、環境、生活、行政などの諸活動が空間に投影されたものを対象とし、空間的に望ましい方向に規制、誘導、計画をすることである。

土質材料

代表的な土木資材は鋼、コンクリート、土である。土質材料は道路や堤防築造のための盛土、海洋等の埋め立て、掘削部分の埋め戻しなどの建設工事に用いられる土砂のうち粒径が75mm以下のもので、礫、砂、シルト、粘土と呼ばれる。

都市デザイン

都市計画の具体化が求められる際に機能すべきもので、都市の公共領域を対象に空間的かつ視覚的に良好な将来像を描き、その実現のための戦略や仕組みを提案して、個性的で美しい都市生活の場を総合的に設計すること。

都市防災

都市で発生する自然災害を防ぐまたは軽減するための方策である。主にダムや堤防などの土木構造物によるハード対策と消防団や自主防災組織による活動などのソフト対策にわけられる。

土壌環境

土壌を有機的に保ち作物がよく育つ環境のこと。

都道府県

都道府県（とどうふけん）は、日本国内にある「都」（東京都の1）、「道」（北海道の1）、「府」（大阪府・京都府の2）、「県」（それら以外の43）の合計47の広域的地方公共団体の総称である。それぞれに議会が置かれ、議会議員と知事は選挙で選ばれる。

トモグラフィ

対象領域の外部に波源や検出器を配置し、内部の物理定数の分布を構成する技術。X線CTは、X線の直進性から理論は確立され、医療で利用されている。マイクロ波や超音波などを用いて別の物理定数分布を構成するには、それぞれの伝搬特性に応じた構成理論が必要となる。

トライ&エラー

トライ&エラーとは、制作及びデザインするプロセスとして、プランを実際にカタチにし、課題を浮き彫りにすること。その課題を改善改良することで、より質の高いものへ昇華させることが可能となる。

トラッキング

指定した対象の位置を継続的に追跡することを意味する。映像の編集技法の一つであり、複数の映像素材を合成させる際に同期をとるための追跡処理のこと。

トリミング

トリミングは芸術だけでなくデザイン、写真などで広く使われる用語。写真で説明すると、撮影した全部を使用する場合と、必要とする部分のみを使用する場合がある。必要とする部分を全体画面から切り取って使用することをトリミングするという。

トリムマーク

アドビのイラストレーターで CMYK 入稿原稿を作成するときに、版ずれを修正するための目印。トンボとも言う。

トレーニングピリオダイゼーション

スポーツトレーニングを行う際、一定のサイクルでトレーニングの構成やトレーニング内容を目的に合わせて周期的に変化させること。

トンネル効果

ボールのように身近な物体は壁を超えるのに高エネルギーが必要であるが、量子力学に従う電子は数 nm の壁であれば波のようにしみ出せる。スマホのデータ書換時にはフラッシュメモリの絶縁膜を電子がトンネルしている。

トンボ

トリムマークのこと。日本の印刷所では塗り足しを付けたダブルトンボが主流。

内発的発展論

外来型開発に対する対義語。住民が主体となり、地元の原材料・資源、人材、ノウハウを活用し、農林水産業や地場産業など元々ある産業を発展させること、あるいは地元に必要な産業を生み出すこと。地元との産業連関が深く、利益が地元に残る利点がある。

内部留保

企業が獲得した利益の一部を出資者等に分配しないで企業内に留めておくこと、あるいは留められている部分（金額）。株式会社会計では、一般的に「利益剰余金」という項目が内部留保された部分を示すとされる。

中食

市場で調理された食品を購入して家庭などで食べる食事のこと。例えば、弁当や総菜など。外食は飲食店、内食は家庭というように調理された場所で食べるのに対して、中食は調理される場所と食べる場所が一致しないのが特徴である。

ナッジ

人々が非合理的な行動をとるときになんらかのシグナルを送ったり特典を与えたりして合理的な行動ができるように導くこと。このとき強制があってはならない。例えば、大便をした後水を流さない人がいてトイレに悪臭が漂っている場合には、水を流すと毎回違った心地よい音楽（流行歌やクラシックなど）が流れるようにして水を流すように促すことを目的とするミュージック便器を設置するというのもナッジの一例である。

なでしこ銘柄

女性活躍推進に優れた上場企業のこと。2012 年度より、経済産業省と東京証券取引所が共同で「なでしこ銘柄」の選定を開始した。年に一度選定企業が発表される。投資家に「中長期の企業価値向上」を重視する企業に対する関心を一層高め、各社の取組を加速化していくことを狙いとしている。

ナノカーボン

炭素で構成されるナノサイズの微粒子で電氣的、機械的、熱的特性等に優れているため様々な分野で材料として利用されている。筒状、球状、ツノ状、多角形等の様々な形状がある。製造方法が特性や形状に影響する。

ナノ構造制御

原子や分子の配列をナノスケール（ $\sim 10^{-9}$ m）で組み替えることで、材料に新しい性質、機能を付加する技術をナノ構造制御（ナノテクノロジー）という。ナノ構造制御には、原子・分子の配列を積み重ねながら組み替えるボトムアップ型制御と積み重ねた配列を原子レベルで崩して組み替えるトップダウン型制御がある。

ナビゲーション

自動車、船舶、航空機、ロボットなど、移動する物体を現在位置から目標位置へ導くための方法や手段のこと。例えば、自動車にはカーナビゲーションが搭載され、自己位置推定を行いながら目的地まで案内してくれる。

二元代表制

憲法 93 条 2 項では、地方公共団体の首長と議会の議員は、別々に住民の直接選挙によって選ばれる。首長も議会も住民を代表しているので、これを二元代表制という。内閣総理大臣は、国会の議決により指名されるので一元代表制である。

21世紀型スキル（21st Century Skills）

21 世紀型スキルとは、人が社会の一員として必要な 4 つのスキルのこと。4 つのスキルとは、コミュニケーション、コラボレーション、批判的思考、創造性である。コミュニケーションは、話すこと、書くこと、発表すること、討論することを含む。コラボレーションは、他の人達と働くこと。批判的思考は、情報・問題・地球規模の問題を理解することと関連している。創造性は、新しい考えを思いつくこと等も含む。

(21st Century Skills are 4 skills that people need as members of society. These 4 skills are Communication, Collaboration, Critical Thinking, and Creativity. Creativity includes coming up with new ideas; Critical Thinking is connected to understanding information, problems, and global issues; Collaboration means working with other people; and Communication covers things like speaking, writing, presenting, and discussion.)

2025年問題

団塊の世代（第 1 次ベビーブーム：1947 年～ 49 年）が 75 歳以上の後期高齢者になり、医療・介護などの社会保障費の増加が懸念される。現在、国が進める「入院から在宅に」に向けた地域包括ケアシステムのさらなる充実が必要である。

2042年問題

2042年には、日本の高齢者人口がピークになり、65歳以上の高齢者1人を20歳から64歳までの現役世代（生産年齢人口）1.2人で支える「肩車型社会」という厳しい状況になると予想されている。

ニッチ（Niche）市場

ニッチ（Niche）市場とは、ニッチが隙間を意味するので、隙間市場、つまり大企業の参入がない中小企業が主に競争する市場を言う。欧米の中小企業の存立条件としてニッチ市場での競争が基本であるのに対し、日本の中小企業の存立条件としては取引の企業間関係が重要である。

日本画

伝統的な日本の絵画のようであるが、用語は近代になって用いられ、美術学校の学科や展覧会の出品ジャンルとして確立したといえる。伝統的な日本の絵画はやまと絵と漢画、文人画（南画）、仏画などで、漢画、文人画（南画）は明治時代には南北画などともいわれた。

日本銀行

日本の金融システムの中心となる銀行（認可法人）で、一般的な銀行（市中銀行）とは性質も役割も違っている。「物価の安定」と「金融システムの安定」を目的としており、日本で使われる紙幣は日本銀行が発行している。

日本建築史

日本の建築様式（共通してみられる建築の形・色・素材などの特徴）を明らかにする学問である。建築様式は世界的な影響関係の中で成り立っているので、日本の建築様式だけでなく、世界的な影響関係も考える。

日本語教育学

主に二つの視点から学ぶ。まず、外国人に日本語を早く、安く、最大の効果で教える方法を考えること、次に、いかに異文化の者同士の相互理解を達成させるのかを考える。日本語教育学とはこれら問題を日本語・外国語、文化、歴史政治を紐解きながら検証することである。

日本的経営

株式により資本集中する株式会社はわが国の代表的企業形態（法人企業の約95%）であり、その本質は資本集中の機構（資本金10億円超の企業の90%）である。株式会社制度の成立・普及により、資本主義の発展と高度な産業化が可能となった。

日本の地方制度

地方自治体には、議事機関としての議会と、執行機関としての首長がおかれ、ともに住民の直接選挙によって選ばれる。両者ともに住民に対し責任を負っており、お互いに独立し、両者は対等の立場を保ちつつ、抑制と均衡のもとに成り立っている。

乳酸菌

チーズ・ヨーグルトなどの製造に欠かせない発酵微生物の代表であり、整腸作用など健康調節機能に優れる一部の乳酸菌は健康食品にも利用されている。

乳児保育

児童福祉法では乳児を満1歳に満たない者と定義されているが、保育所・認定こども園等保育施設においては、3歳未満児の保育を乳児保育と捉えられている。

ニューラルネットワーク

脳はニューロンと呼ばれる細胞が相互にネットワーク状に結合して構成されている。このニューロンを模擬した計算素子をネットワーク状に結合し情報の処理を行うようにした仕組み。脳と同様に帰納的学習を行わせることができる。

人間形成

人間形成は教育の目的概念であるが、人間とは個人としての存在、社会構成員としての存在、人類史における世代としての存在という多面的側面を成立させていくことが必要であり、その過程こそが人間形成なのである。

認知科学 (Cognitive Science)

認知科学とは、私達の思考、それがどのように働くかを学ぶことである。認知科学に関連する7つのトピックがある。それらは、言語学、心理学、神経科学、哲学、コンピューターサイエンス、AI、人類学である。それぞれのトピックは、私達の思考と1つ以上の他のトピックと関連がある。このため、認知科学とトピックはセットで学習する。

(Cognitive Science means studying about our minds and how they perform. There are 7 topics that connect to cognitive science. These 7 are: linguistics, psychology, neuroscience, philosophy, AI, and anthropology. Each topic is connected to one or more of the other topics as well as our minds, and so cognitive scientists study the topics as a set.)

ネオ・リベラリズム (新自由主義)

市場原理主義とも呼ばれ、経済活動の自由を至上命題とする政治・社会思想のことである。自己責任論や小さな政府論、高額所得者の減税などを声高に主張し、福祉や弱者救済に反対する。名称は似ているが、民主主義や人権を重視する政治的な自由主義（ポリティカル・リベラリズム）とは関係がない。

熱硬化性樹脂

最初は液体やゴム弾性体であった原料樹脂が、加熱によって化学反応を起こし三次元架橋構造を形成することで硬化し、固体（弾性体）となる性質（非可逆）を持つ樹脂のこと。一般的なプラスチック（熱可塑性樹脂）に比べ、加工性に優れ、高い耐熱性、化学的安定性を有する一方、リサイクルが困難である。

ネットワーク符号化

通信ネットワークは装置と回線から構成される。バケツリレーのように装置がデータの蓄積と伝送のみする場合、車線の数で交通量の上限が決まるように、伝送量の上限は回線の性能（帯域）で決まる。ネットワーク符号化は、複数の隣接する装置から受信したデータを符号化し、他の隣接する装置に伝送する手法である。この方式の導入により単位時間のデータ伝送量を圧縮でき、高画質ビデオ配信サービスやリアルタイムWebなどマルチキャストの伝送効率が従来の蓄積伝送方式の上限値と比べ向上する。

熱力学

原子や分子の集団に対して適用される物理学。

燃料電池

水素を燃料とするクリーンエネルギーの一つで世界規模での環境問題の解決のために必要な脱炭素、水素社会の実現への貢献が期待されている発電方式である。水素自動車や家庭用発電機としても利用されている。

農業協同組合（JA）

農業と地域社会に根ざした、農業者を組合員とする協同組合。地域段階では、生産資材などを共同購入し農産物の共同販売を行う経済事業と、貯金・貸出など金融サービスを提供する信用事業、建物や自動車などの共済を取り扱う共済事業など、総合的なサービスを提供する総合農協が多い。

農業経済学

食料・農業・農村やそれらを取り巻く産業、消費者らの抱える問題について、社会科学的なアプローチで解決を図る学問分野である。食料貿易論、農業協同組合論、農産物市場論、農業経営論をはじめとした、多数の学問分野を内包している。

農産物直売所

農協や自治体、生産者組合などが運営し、地域の生産者が、農産物や加工品などを消費者に直接販売することができる施設。生産者自身が価格を設定し、包装や搬入など流通機能の大部分を負担することで流通費用を節約し、農協共販や市場出荷に比べ生産者の手取りを増やすことも可能である。

ノマドワーカー

「ノマド」（遊牧民）に「ワーカー」（働き手）を合わせた造語。一般的なサラリーマンのように会社に出勤してオフィスで仕事をするのではなく、場所や時間に縛られずに遊牧民のように仕事をする人のこと。

Noncommunicable Diseases（非感染性疾患）

国連や WHO で用いられている疾患概念。不健康な食事や運動不足、喫煙、過度の飲酒などの原因が共通し、生活習慣の改善により予防可能な疾患である。生活習慣病と重なるが、罹患について個人の責任を問わない。健康日本 21（第二次）も NCD という用語を取り入れている。

ノンブル

書籍に付されたページ番号。20 世紀前半に印刷業界で（英語 number に相当する）フランス語「nombre」のカタカナ用語として定着した。ノンブルの設定は一様ではないが、慣習的に書籍が縦書きの場合は左側ページ、横書きの場合は右側ページに奇数が付される。

パーソナリティ

人格や個性とも言われ、その人自身に備わった特性を指す。多くの場合、短期間に変化するものではなく、長期的にみてその人自身の行動様式の根底にある性質である。

パーソンセンタードアプローチ

Carl Rogers が始めた人間性心理学の一つ。そこにいる人を大切にしたいカウンセリングの理論。カウンセリングに来る人を相談者（クライアント）として、カウンセラーとクライアントの協働作業でクライアントの悩みを解決することを大切にしているアプローチである。

VR (Virtual Reality)

「仮想現実」を意味する。リアルな体感ができる技術である。

H.W.L.

護岸や堤防を設計する際の基本となる水位。海岸では、高波や高潮の来襲時刻が、月や太陽の起潮力により変化する潮位の最も高い時刻と重なっても被災しないように、朔望平均満潮面（月ごとの最高満潮位の平均値）が用いられる。河川では計画高水位。

排熱利用

これまではエネルギー源として利用できなかった産業排熱（主に 200℃以下）をヒートポンプや有機ランキンサイクルの活用によって積極的に利用すること。省エネルギーの対する取組の一種である。

ハイブリッドアート

社会学から現代美術まで、幅広い分野の芸術の表現の交流から生み出される芸術である。ゆえにそのコンセプトは既存の概念にとどまらない。科学や哲学、幅広い様式からのエレメントをとりいれ、伝統的な芸術のタイポロジーの延長線上ではなく、むしろそのコンセプトを再定義する美術である。

ハイブリッド型授業

対面授業とオンライン授業を組み合わせた授業のこと。これには①ブレンド型（オンライン型授業（またはオンデマンド型授業）と対面授業を組み合わせる授業の形式、例：第1週目の授業では自宅で動画視聴、第2週目の授業では自宅学習した内容を基に演習などを行う）、②分散型（1回の授業をオンライン型授業（またはオンデマンド型授業）と対面型授業に分けて行う授業の形式（例：クラスを分け、第1週目の授業ではAグループが自宅で動画視聴、Bグループは対面授業のように週によって入れ替えを行い、全員が均等に学ぶことができる）、③ハイフレックス型（ハイフレックス型授業を参照）がある。

ハイフレックス型授業

Hybrid-Flexible（ハイブリッド・フレキシブル）型授業の略で、同時中継方式の授業のこと。この授業方式では、対面授業を行いつつ、同時にその授業をオンラインでリアルタイムに配信する。受講側は対面で受講するか遠隔（オンライン）で受講するかを自由に選択することができる。

破壊強度

材料が外力の作用で、複数の部分に分離する現象を破壊といい、この時の単位断面積当たりの荷重を破壊強度という。製品を安全に使用するためには、材料の使用条件での破壊強度を正確に知る必要がある。

博物館浴

博物館の見学、鑑賞などを通して、博物館の持つ癒し効果を人々の健康増進・疾病予防に活用する活動。「知的刺激、学び、楽しさ」の場と定義される博物館に、「健康の場」という新たな価値を創造することが期待される。

バスロケーションシステム

バス車両に車載器を搭載し、GPS などを利用して取得された位置データをインターネットや無線等を通じてサーバへ送信し、バス位置や遅延状況といった情報を車両管理者や利用客等に提供するシステムのことである。

パターンメイキング

デザインに基づき、立体の形をイメージ（想像）しながら原型を土台としパターンを引く平面作図と、ボディ（人台）に直接布（トワル）を当てピンを打ち確認しながらパターンを作成する立体裁断の方法がある。

パッケージデザイン

様々な商品（食品、日用品など）を包装する際に伴う外装のデザイン。物理的な条件として内包物の保護、運搬、使用性などを前提に、その商品特性や市場における販売促進を目的にデザインされるケースが多い。素材や形状も様々で質量を伴う立体造形であることから、グラフィックデザインのみならずプロダクトデザインとしての側面も持つ。近年は環境に配慮した取り組みや、商品の一部としたブランディング計画も多く見られる。

発酵食品

発酵微生物のはたらきにより、香味・保存性・栄養価に加えて健康調節機能が原料（食材）以上に高められている食品。

発生生物学

受精から配偶子を形成する個体になるまでの過程を対象とした生物学の一分野。

波動方程式

流体や弾性体の波動の伝播を記述する方程式であり、解は波動関数と呼ばれる。媒質の微小部分に関して立てられた運動方程式は波動方程式となり、係数から波の速さが求められる。（電磁波は、マクスウェル方程式より求められる。）

パネルデータ

時系列データ（例えば、福岡県の 2010 年から 2021 年までの平均所得のデータ）と横断面データ（例えば、2021 年の 47 都道府県の平均所得のデータ）の両方のデータ構造を持つデータのことである。パネルデータを分析するときのモデルには、固定効果モデルと変量効果モデルがある。

パブリックドメイン

著作物が特定の個人や団体に帰属せず社会全体で共有されており、誰でも利用可能になっている状態、またはそのような状態の著作物。著作物の保護期間が終了した場合、もしくは著作者が権利放棄した場合などにこの状態になる。

ハラール

イスラム教において合法なもの（食べ物の場合は食べてよいもの）のこと。イスラム教では、豚は食べてはいけない等のルールが多くあるため、東南アジア等の国では、ハラールと認証されたものはハラールマークを付けて販売されている。

パラメトリックモデリング

パラメトリックモデリングとは、3D/CAD で形状を作成する手法の一つであり、寸法値として定義された変数の値や、拘束条件を定義して形状を作成する手法のことである。パラメトリックデザインとも呼ばれる。

バリアフリー

高齢者や障がい者が生活していく上でのバリア（障壁）をフリー（除去）にすることを指す言葉。物理的なものだけでなく、心理的、社会的な障害や情報技術分野における障壁を除去することもバリアフリーに含まれる。

バリア放電

正と負の電極の一方または両方の表面を絶縁体で被覆した電極間で発生する放電のことである。電子の持つエネルギーが大きく容易に化学反応性に富む物質を生成できるため環境等の様々な分野への利用が期待されている。

パリ協定

2015 年にパリで開催された第 21 回気候変動枠組条約締結国会議（COP21）で採択された温室効果ガスの排出量に関する国際的な取り決め。

パルスパワー

極短時間に発生する電力のことで全世界の瞬時電力に匹敵する電力を得ることも可能である。従来の電力技術では実現できなかった様々な分野（環境、農業、バイオ・医療、食品、宇宙等）への応用が期待されている。

パレート最適

ある状態から誰かを今より良い状態にするためには、他の誰かが今より悪い状態にならないといけない状態をパレート最適という。言い換えれば、もはや今より全員が良くなる状態はどうやっても作れないという状態。

パワーエレクトロニクス

電圧や電流の大きさを変えたり、交流電力と直流電力を相互に変換したり、電力の流れをコントロールするなど、電力用半導体スイッチング素子を利用して電気エネルギーの応用を取り扱う技術分野である。

パワー半導体

パワー半導体は、交流を直流にしたり、モータを駆動したり、バッテリーを充放電するなど、電力の制御や供給を行う半導体を言う。身近な半導体素子として、ダイオードやトランジスタなどがある。

範囲の経済性

1つの企業が複数の事業を行うほうが、複数の企業で同じだけの事業を分散して行うよりも少ない費用で済むことを指す。たとえばaという事業だけを行うA社と、bという事業だけを行うB社、aとbを行うC社があるとする。各事業で生産する製品・サービスの総量が同じという条件のもとで、これらの企業について以下の式が成り立つとき、範囲の経済性が実現されていると考えられる。

$$C \text{ 社の総費用} < A \text{ 社の総費用} + B \text{ 社の総費用}$$

この範囲の経済性は事業レベルだけではなく製品・サービスレベルでも生じる。たとえばある知識や技術を複数の製品・サービスに活用することで、製品間での範囲の経済性が実現される。

半導体レーザ

GaN、GaAs、InPなどの化合物半導体に増幅領域を形成し電流を注入することで発光ダイオードとして利用できるが、さらに半導体の端面等を共振器とすることでレーザ発振する半導体レーザとして利用できる。

反応速度論

化学反応の速度は反応物の濃度の積に比例するという理論。これを用いると系内の反応物の時間変化をそれらの濃度を変数とする微分方程式系で記述することができ、それを解くことにより個々の反応物の濃度の時間変化を予測できる。

PR

Public Relations の略。公的機関や企業が、住民や顧客といったステークホルダーとの間で良好な関係構築を目指す活動を意味する。特に公的機関の場合「広報」と訳されることが多いが、実際は「広聴」を含む双方向の概念である。

PID 制御

フィードバック制御の一種。P は比例 (Proportional)、I は積分 (Integral)、D は微分 (Differential) を意味し、これらを組み合わせて制御を行う。使用するパラメータの調整が容易であるため、よく使用される。

BCI

Brain-Computer Interface の略であり、脳とコンピュータをつなぐインターフェース技術である。脳波などから有効な情報を抽出することで、人の能力を高めたり、活動を補助したりする技術である。

PTSD

Post Traumatic Stress Disorder の略で、「心的外傷後ストレス障害」のこと。生死に関わるような衝撃的な体験やその強いストレスにより、「トラウマ」と呼ばれる心の傷を負うことで生じるストレス症候群のことを言う。大きな地震などの天災や事故、暴力行為、誹謗中傷、犯罪、暴言など、恐怖が伴う体験がきっかけに起きる。悪夢を繰り返し見る、無気力や無関心、睡眠障害といった深刻な症状がある。

PDCA サイクル

管理業務や品質管理の効率化を目指す手法で、計画 (PLAN)、実行 (DO)、評価 (CHECK)、改善 (ACTION) までを1つのサイクルとして行うこと。

ヒートポンプ

冷蔵庫やエアコンに使われる技術。熱のポンプと呼ばれ、温度の低い場所から温度の高い場所に熱を移動させる。エアコンなどは消費電力以上に部屋を冷やすことができ、省エネルギー技術とされる。

PBL

Project-Based Learning、Problem-Based Learning の略で、プロジェクト型学習、課題解決型学習と訳される。設定された課題に、チームで取り組む。この学習法を採用する「実践企画演習」は、社会人基礎力を涵養することを目標の一つにしている。

比較優位

相対的に生産が得意であるときに「比較優位を持つ」と言う。国際間で、ある財の生産における機会費用を比較し、他国より機会費用が低い財にその国は比較優位を持つ。

光通信

電磁波あるいは量子である光に情報をのせて情報を伝達すること。電磁波として考える場合は、電界の振幅、周波数、位相などに変調信号をのせて情報を伝達できる。

光導波路

光学的特性を有する高分子で作製される主に通信分野で用いられる光伝搬回路のこと。光ファイバーとは異なり、微細電気配線のような高い配線設計自由度を有し、通信回路の高速化、軽量化、低背化（薄型化）に寄与する次世代通信回路として期待されている。

光のデザイン

建築や住宅等の内部空間における「光のデザイン」とは、窓の位置・大きさ・形・素材、反射面、照明器具等を操作しながら、空間内の光の質、光の分布、光の量、それらの変動などをコントロールし、内部空間の印象や性格付けを行う行為をいう。

光ビーム

通常、電磁波である光波を点光源から発出させると球面波として伝搬していくが、光学レンズなどを用いて光波を収束させることにより、平行光線として近似できる。これを光ビームという。

非局在化エネルギー

π 電子系において、電子がある部分に局在していると考えた状態と、ほかの部分にも動きまわり非局在化していると考えた状態とのエネルギー差。

膝動態計測

膝関節の動きをセンサを用いて計測する。膝関節の最終伸展時には大腿に対して下腿が外旋する動きがあり、これを SHM（スクリューホームムーブメント）と呼び、この動きを計測することで膝の障がい予防に役立てることを目的とする。

ビジネスエンジェル

将来有望なベンチャー企業に対して投資を行う個人投資家。自らも企業を立ち上げた経験を持っていることが多く、その経験をもとに投資先企業にアドバイスを提供することを行う。ビジネスエンジェルはシード期やアーリーステージの成長初期段階の企業に投資を行うことが多い。

ビジネスシステム

原材料の調達から、製品をつくり、顧客に届けるまでのビジネスの仕組みを指す。ビジネスシステムは、企業内の諸活動や企業間の協働によって成り立っている。一般的に、ビジネスシステムの差別化は、製品レベルの差別化に比べて、持続性がある。それは、ビジネスシステムの差別化が実現できれば、模倣困難性が高くなるからである。

ビジネスモデル

どのように価値のあるものやサービスを生み出し、誰に対してどのように提供するかを表現したもの。表現にあたっては文章に限らず、図を使うことも多い。

被写界深度

ピントを合わせた前後に広がる、ピントが合っているように見える範囲のこと。絞りにによってコントロールすることができる。被写界深度の範囲が広いことを被写界深度が深い、狭いことを被写界深度が浅いと呼んだりする。絞り以外にも、レンズの焦点距離、被写体までの距離によってもその範囲が変わる。

ビジュアライゼーション（情報デザイン）

ビジュアライゼーション（可視化）とは、物事の関係性を視覚的に捉えられるように、データを画像・グラフ・図表などに変換することを言う。Data → Information（構造化）→ Knowledge（知見）→ Wisdom（知恵）。その最終的な目的は、価値や知恵を見出すことにある。

微生物同定

形態観察、生化学特性、遺伝子解析等の手法を用いて対象となる微生物が分類された生物の中のどのグループに含まれるかを決定すること。一般的には菌種名を決定すること。

ビッグ・ヒストリー

「世界の歴史は人類だけが作ったものではなく、地球環境と宇宙も関与している」と捉え、物理・生物・化学などの科学的な情報も取り入れながら、人類の課題についてもあらためて考えようとする教科横断的な試み。

ビッグデータ

経済活動や科学研究等で自動又は半自動的に収集されるデータ群（利用履歴、口コミ等）。多量性、多種性、リアルタイム性等の特徴がある。個々のデータにほとんど価値がなくとも、大量のデータから有益な知見を引き出すことが期待される。

ビットコイン

インターネット上で使用できる仮想通貨の一種で、暗号資産でありデジタル資産。円やドル、ユーロのように国家やその国の中央銀行が発行した法定通貨とは異なる、通貨の技能を持つ電子データのこと。対応機関に限定されるが、実際に物品やサービスなどの代金の決済が可能。

BIM

Building Information Modeling の略で「ビム」と読む。次世代の設計ツールとして位置付けられており、コンピュータ上に作成した三次元建築モデルから必要な情報（設計図等）を取り出すことができる。

百貨店

取扱い品目が衣食住の複数部門にわたり、売り場を面積が広い店舗内に集約して設け、多種類の商品を陳列して、主に対面販売を採用する小売業態。百＝数多くの、貨＝値打ちのある品物を意味し、英語では department store という。

表記

文字を使って一定のルールに基づいて語や文を書くこと。

（例：アルファベットで表記する。）

漂砂

海岸や海底の礫、砂、シルトは、海岸に押し寄せる波や流れによって常に移動している。この海で砂が移動する現象や移動した砂を漂砂と呼び、海岸侵食などの海岸地形の変化の原因となっている。

病弱児

心疾患、腎疾患、小児がんなどの疾病により医療や生活規制を長期間必要とする児童生徒。心身症など心理的ストレスから生じる身体虚弱児を含めて、必要な配慮によって特別支援教育の対象となる。

標本化定理

アナログ信号波形の最大周波数の2倍を超えた周波数で標本化すれば完全に元の波形に再構成されるという情報理論の分野における重要な定理。アナログ信号をデジタル信号へと変換する際の基礎となっている。

表面改質

各種材料の表面に化学的、物理的な作用を与えることにより材料の持つ特性を高機能化することを意味する。高機能化により付加価値が高められる。表面改質による高機能化は、資源の有効活用のためにも重要である。

表面処理

基板となる材料の表面に原子、分子単位で別の物質を被覆して基材にはない機能性を付与する処理。

5G

5th Generation の略称で、日本語では「第5世代移動通信システム」と表記される。携帯電話などに用いられる次世代通信規格の5世代目という意味。前世代（4G）より100倍の高速、大容量、低遅延、多数同時接続を可能にした通信システムで、IoT時代の通信規格と言われている。日本では2020年3月より商業サービスが提供開始された。

ファインバブル

気泡の直径が 100 μm (= 0.1mm) より小さな泡のこと。

フィードバック

フィードバックとは、デザインしたものに対して、ユーザーやクライアントから評価をもらうこと。その評価内容をデザインに反映させることで、問題点の改良とバージョンアップを図るプロセスが、完成度の高いデザインへ導くことになる。

フィードバック制御

別名、閉ループ制御とも呼ばれる。目標値と制御対象の制御量（応答）を比較し、それらが一致するよう制御を行う。また、出力側の信号を入力側に戻す事をフィードバックと呼ぶ。

フィジカルコンピューティング

人間の体が示す情報とコンピュータを、さまざまなセンサー技術を使って結びつける手法のこと。フィジカルコンピューティングを利用すれば、手の動きや顔の表情、音声でコンピュータを動かすことが可能。そのため、「従来の入力装置に代わる技術」ともいわれており、IoT 製品の技術として用いられることが多くなっている。

ファイトケミカル

ファイトケミカル (phytochemical) とも言う。植物に含まれる成分で、本来、植物が紫外線や有害物質、昆虫などの害から身を守るために作り出した色素や香り、苦み、渋み、辛みなどの成分のことを指す。必須栄養素ではないが、機能性成分としてヒトの体にとって良い働きをすることが最近の研究によって明らかになってきている。

フィンテック

スマートフォンでお金のやり取りを可能にする技術のこと。お金を預ける、貸す以外にも、株式投資や企業の決算など、従来は対面しかできなかったことがスマートフォンで可能になる。

フードシステム

食料が生産され、流通し、消費あるいは廃棄されるまでの複雑化した食料経済全体の仕組みのこと。農水産業、食品製造業、卸売・小売を含む食品流通業、外食産業や消費者の食生活に係る財・サービス全体を含む、大きな概念である。

フードツーリズム

地域の食や食文化を楽しむことを目的とした旅行やその考え方のこと。「地域の食」には食材そのものだけでなく、料理、食に関わる空間なども含まれる。

フードバンク

「食料銀行」を意味する社会福祉活動。食品製造業者や農家、家庭などからまだ食べられるのに捨てられてしまう食品の寄付を受け、必要な人や団体に無償で提供する活動を行う。製造・流通の過程で出る余剰品や、売れ残った賞味・消費期限内のものなど安全性に問題ないが廃棄される食品などが有効利用される。貧困の改善につながるだけでなく、食品ロスを減らし、環境の改善にも役立つ。

フード・マイレージ

食料の輸送量（トン）に輸送距離（キロメートル）を乗じた数字。食料は、生産・消費・加工・廃棄の各段階で温室効果ガスを発生させ、気候変動に影響を及ぼす。本指標は、特に輸送部分に着目して環境負荷をとらえようとするものである。

フェアトレード

直訳すると「公平・公正な貿易」。発展途上国の農産物や伝統的な手工芸品を適正な価格で取引し、継続的に輸入、消費することにより、低賃金労働を強いられている途上国での雇用を創出し、貧困解消や経済的・社会的自立を目指す「貿易のしくみ」を言う。

フェージング

電磁波の強さが時間的、空間的に変動することをフェージングという。電磁波が伝わる空間（環境）が時々刻々と変化することにより、電波の伝搬経路が変化し、フェージングが発生する。身近な例として電波の届かないところがある。

フォーカシング

自分の体験（感情、考え等）に対する眼差しの焦点を自由に变化させることで、自分は自由であるという感覚、毎日が新鮮であるという感覚を取り戻す心理療法。特に、身体の感じに焦点を当てることには、癒し効果や気づき効果があるとして、重視する。

Forecasting & Backcasting（フォーキャストイング&バックキャストイング）

現在の状況を基に未来を予測するのがフォーキャストイング、未来に設定した目標から逆算して、時系列に到達目標を定めるのがバックキャストイング。戦略を考える際には、フォーキャストイングとバックキャストイングの差分を埋めることが重要。

フォトコラージュ

写真技法の一つ。コラージュとは「糊づけ」を意味する。複数の写真から部分的な要素を切り抜き、同一画面に貼り付けることで創造的なイメージを作り上げる技法を指す。

フォルム

「フォルム」はフランス語で「forme」、英語では「フォーム」という。形、形式、様式という意味を含んでおり、立体的な形状を指す場合が多い。ファッションにおいても「フォルム」という言葉を使うことがある。その物の形の詳細よりもシルエットを表す場合に使われる。

フォント

デジタル時代において、パソコン上で使用する書体やそのデータのこと。日本語では明朝体やゴシック体などの種類がある。

付加価値

付加価値とは、生産活動において、生産物の産出額から、原材料やエネルギーなどの中間投入額を差し引いた差額のこと。国内総生産（GDP）は、ある国における付加価値の総額。わが国の「消費税」は、付加価値税に分類される。

負荷周波数制御

定常時における電力系統の需給バランスをとるために、系統周波数や連系線潮流の変化に基づいて発電機出力を変動させることで、需要変動の数分から 20 分周期程度の変動成分を吸収する制御のこと。

部活動指導員

平成 29 年 4 月に制度化された、中学校・高校の部活動において、学校長の監督下で顧問の代わりに単独で指導・引率もできる学校職員。学校に配置されることで教員の働き方改革を推進することも期待されている。

不可分性

サービスの特性のうち、生産と消費を切り分けられない性質のこと。

複合材料

2 種類以上の素材を組み合わせて、それぞれの特性を取り込み複数の特性を持たせたり、組み合わせの相乗効果で新しい特性を発揮させるように工夫された材料のこと。日常の消費材や社会インフラから航空宇宙用途まで幅広く使用されている。

福祉工学

高齢者や障がい者の日常生活を支えるため、より豊かな生活を送るための生活機能の支援や、車いす、補聴器などの身体機能支援を行う技術研究を行う領域である。

復職支援

メンタルヘルス上の問題等により仕事を休業せざるを得ない状態にある人に対して復職支援を行うこと。支援の内容は、生活リズムを整える、服薬の遵守、仕事のパフォーマンスの向上、ストレスのコントロールなど多岐に渡る。

複素解析

複素数平面の開領域上で定義された正則（つまり複素微分可能）な関数の解析学である。正則という条件は実関数の微分可能性と比べて非常に強い条件であり、この事実が複素解析を実解析とは趣の異なる学問にしている。

複素環式化合物

環状化合物の環の中に、少なくとも 2 種類の異なる元素を含む環式化合物のこと。

腐食

金属が錆びたり溶解して朽ち果てることを指すことが多いが、金属以外の材料が分解して別の物質となることも指す。

腐植物質

動物の遺骸や植物が長い年月をかけて分解した物質。

フックの法則

棒にかかる力の大きさを $F[N]$ 、棒の伸縮量を $X[m]$ とすると、 $F = KX$ という関係がある。これをフックの法則といい、力と変形の間を表現する重要な式である。ここで、 K は比例定数で、棒の伸びにくさを表している。

武道学

武道とは、剣道、柔道、空手道、弓道、相撲、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道の総称であり、武道学は日本固有の伝統文化である武道を科学的研究調査する学問領域である。

不登校

「病気」や「経済的理由」以外の何らかの理由により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にあるために、年間 30 日以上欠席した児童生徒。

普遍的官僚制

官僚制は、①規則、②階層制、③専門化を特徴とするピラミッド型組織であり、近代の機能的組織一般の特徴である。官僚制はまず行政の領域に現れるが、現代は生産・教育・医療・軍事・福祉など人間の社会的活動のあらゆる領域に成立・発展している。

フミン酸

腐植物質に含まれ、酸に溶解しないもの。

プラザ合意

1985 年、ニューヨークのプラザホテルで、先進 5 カ国蔵相・中央銀行総裁会議が開かれ、アメリカの貿易赤字を減らすため、円高が決められた。この円高により日本は、競合輸入品が増加、生産拠点の海外移転や、部品の海外生産が盛んとなり、産業の空洞化が深刻となった。

ブラックホール

非常に密度が高いため、強い重力により光すらも脱出することができなくなった天体。恒星が進化し、燃料を使い尽くすと重力崩壊し、超新星爆発を起こす。その結果、中心付近が圧縮されて、ブラックホールや中性子星といった高密度天体となると考えられている。

プラットフォームビルダー

これからの地方自治体は、住民に直接サービスを提供する役割から、公共私間の新しい協力関係を構築する土台・場（プラットフォーム）をつくる役割（ビルダー）に転換する必要があるという考え方。総務省の研究会（2018 年）で示された。

ブランディング

ブランディングとは、自社ブランドに対して顧客のロイヤリティや共感性信頼性を最大限に高めることで、ブランドが求めている価値を消費者に正しく伝えるためイメージを構築する“過程 = ING”である。

ブリーフセラピー

よい成果を負担少なく早く出せる心理援助の方法のことであり、現場で役に立つことを最重視する。天才的臨床家のミルトン・エリクソンの実践活動を源泉とする。現在、解決志向アプローチとシステムズアプローチが代表的なものとして位置づけられている。

フリーラジカル反応

不対電子をもつ原子または分子フリーラジカルは反応性が高く、多くの有機化合物と反応する。例えば、多くの有機化合物は空気中で酸素により酸化されるが、これはラジカル反応として進行する。

ブルーカーボン

海藻や植物プランクトンなどの海洋生物の作用によって、大気中から海中へ吸収された炭素（カーボン）のことを指す。人類の活動などによって排出される二酸化炭素の約30%を吸収しているとされている。グリーンカーボンとは、陸域生物によって吸収される炭素のことで、地球上の生物が排出するCO₂の約12%を吸収すると言われている。

フルボ酸

腐植物質にわずかに含まれ、酸にもアルカリにも溶解するもの。

プレイスブランディング

場（＝Place）の利用者（住民や訪問者等）が実感する場の資産・アイデンティティ（魅力や誇りの要素）と、域外の人やメディアが抱く場のイメージを、コミュニケーションによって統合し、ポジティブな名声を形成していく活動。

プレイスマーケティング

ある一定の価値や意味を有す場（＝Place）のマーケティング。市場は訪問者、住民・働く人、産業・ビジネス、移出産業（特産品として域外で売る等）からなり、場の資産を活用し、ターゲットの行き先となるための活動を行う。

フレイル

日本老年医学会が2014年に提唱した概念。「Frailty（虚弱）」の日本語訳。健康な状態と要介護・寝たきり状態の中間に位置し、身体的・認知的機能の低下が見られる状態を表す。早期発見で、健康な状況への回復は可能である。

プレストレストコンクリート構造

コンクリートに貫通させたPC鋼材を緊張して、その反作用により圧縮応力（プレストレス）を導入することで曲げに対する抵抗を高めたもの。鉄筋コンクリート構造に比べて大スパン化が可能である。

Presentation Skills

プレゼンテーションスキルとは、パワーポイント等の視覚的サポートを利用して、スピーチができることを意味する。

プログラミング

プログラムを記述すること。使用するプログラミング言語の文法に従ってコンピュータに与える命令を記述する作業のこと。記述するだけでなく、記述する前にどう書くか設計したり、実行して思ったとおりの動作になっているかテストしたりする作業を含めてプログラミングということも多い。

プログラミング言語

プログラムを記述するための言語のこと。歴史的な経緯や用途によって様々な言語がある。どの言語が良いかというよりは、用途に応じて使い分けるとよい。

プログラム

コンピュータに実行させる処理を記述したもの。つまり、コンピュータに与える命令が書かれたもの。

プロジェクト

人々が集まって行う活動の一種である。期間を決めた上で、独自性や新規性の強い最終成果をだす（成果物をつくる）ことを目指して進める。期間が終わるか、目的が達成される（達成できないと判明する）と解散する。

プロスポーツビジネス

所属先とプロ契約を結ぶ選手・指導者が行う試合を中核商品とし、運営に必要な費用を組織外部から調達することで成り立つ事業。

ブロックチェーン技術

情報を記録するデータベース技術の一種で、何らかのデータをブロックと呼ばれる単位で管理し、それを鎖（チェーン）のようにつなげ、データを保管する技術を指す。ブロックチェーンは、ブロックが複数連結されたものを指し、複数のシステムそれぞれが情報を保有し、分散型で管理されるため、一部のシステムが停止・故障しても、システム全体の運行・稼働に与える影響を抑制することができる。また、さまざまな暗号アルゴリズムを活用しているため、改ざんされにくいデータ構造を有している。

プロトタイピング

デザインでは新製品等の製造を始める前に試作品（プロトタイプ）を使って形や使い勝手を検討する手法のこと。

文化

学問・芸術・道徳・宗教など、人間の精神的活動により生み出され、人間生活を高めてゆく上の新しい価値を生み出してゆくものを指すこともあれば、人間集団が持つ生活様式を広く総称して「文化」と呼ぶこともある。

文化資源

「文化財」や「文化遺産」に限定されない文化的な価値を持ち得る有形・無形の資料全般のこと。正統的、伝統的なものに対して大衆的なもの、歴史的なものに対して日常的なものなど、従来評価されなかったものを見つめ、価値づける視点が含まれる。

文人画（南画）

元来は中国文人が描く、職業的な絵画ではない高士の余技としての絵画を意味するものであるが、具体的には明末清初の書画家董其昌が「文人之画」と記すところから使われるようだ。同じく董其昌が、先人から自身の画系を南宗の画として、職業的画家の系譜を北宗と禅宗の南北宗になぞらえていったことから、南宗画とも称される。近代になり、日本において士大夫の制度はなく身分的な文人が不在であることから、南宗画（南画）と称すべきと唱えられた。現在はともに用いることが行われている。

文法

研究の立場によってさまざまに定義されるが、狭くは、文の成立と構造に関する法則の体系のこと。つまり、語がどのように形を変え、どんなふうに文を形成しているかという構成上の法則性。

ベイズ推定

事象の起こる確率を計算する統計学の手法の一つ。近年いわゆる人工知能（AI）の発展とともに注目されている。人間のように経験から原因を推定し、その経験の蓄積に応じて次第に推定精度を高めることができる。

米中貿易摩擦

この言葉が頻繁にメディアなどで取り上げられるようになったのは2018年以降である。当時の大統領トランプはアメリカ製造業の復活を重視し中国からの工業製品の流入、巨額の対中貿易赤字の是正に制裁手段として追加関税を課すとした。これに対して中国も同様にアメリカからの輸入（特に農産物）に追加関税を課すと反応した。

ベースアップ

ベースアップとは、企業が基本給の水準を一律に引き上げることを指し、略してベアとも呼ばれる。年齢や勤続年数に関係なく同じ率、もしくは同じ額の引き上げが適用される。基本給の引き上げにはベースアップの他に年齢や勤続年数に比例して上昇する定期昇給がある。

ベクトル解析

2次元および3次元ベクトルの解析学であり、歴史的には流体力学や電磁気学などの古典物理を記述するために発達したものである。重要な定理として、グリーンの定理、ストークスの定理、ガウスの発散定理などがある。

ペルソナ

商品の典型的な顧客のすがたを、名前のある架空の人格に特定するマーケティングの手法。ひとが暮らす市場や生活の相互作用のなかで現われる、この商品を買う人物像・ペルソナを、インタビューやアンケートの材料を使って描き出して、その人格に向けて商品や施策を開発する。

ベルトラン競争

企業が生産量ではなく価格を選択するような競争をベルトラン競争と呼ぶ。製品差別化のない状況を考えると、ベルトラン競争での結果は完全競争市場の結果と同じになることが知られている。

ベルヌーイの定理

粘性のない流体におけるエネルギー保存に関する式で、流体の速さ(運動エネルギー)、高さ(位置エネルギー)と圧力によるエネルギーの総和は、流れ方向(流線)に沿って一定となる。エネルギー変換の基礎となる重要な式。

編集(映像)

映像のショット/クリップを、時間軸(タイムライン)にそって並べたり組み合わせる作業。英語では「Cut」と呼ぶ。複数のショットの順序や隣り合う編集点を操作することで、編集された映像にさまざまなメッセージや意味を創造することができる。

変数

プログラムの中で、データを格納する入れ物のこと。数学でも使う言葉ではあるが、あまりそれにとらわれずに、名前をつけた箱をイメージすると良い。例えばゲームでスコアの数値が増えていたり、プレイヤーが自分でつけた名前が表示されたりするが、そういった変化する数値や文字のデータを格納するのに使うのが変数である。

ベンチマーク

ベンチマークとは、これから制作及びデザインするものの完成レベル、または仕上げのレベルを既存のものを例に示すこと。ベンチマークを設定することで、複数人のチームで制作をする際に、メンバーの意思統一を図るために設けられる。

ベンチャーキャピタル

投資時には不確実性を持ち合わせているものの、将来的には大きなリターンを生む可能性を持つ企業に投資を行う投資会社。独自のネットワークと高い専門性を駆使することにより、投資先企業に対してさまざまな支援を行うこともある。

ベンチャービジネス

起業家の活動により起された革新性の高いビジネスのこと。

変調

通信では、送りたい情報で基準信号を変化させることで情報を伝送している。この操作のことを変調と呼び、基準信号の大きさや周波数、位相を変化させている。表情を変化させることで気持ちを伝えることと同じ原理である。

保育環境

幼稚園、保育所、認定こども園等保育施設において子どもを取り巻く、ひと(友達・保育者等)・もの(園舎・園庭・遊具・玩具等)・こと(できごと・自然・行事等)を指す。

芳香族化合物

ベンゼンを代表とする、芳香族性を持つ環状不飽和有機化合物の一群を指す。

防災計画

災害に対応するための計画、災害に強い国やまちづくりのための計画がある。災害に対応するための計画として、災害対策基本法のもとに、国は防災基本計画、都道府県と市町村は地域防災計画を策定している。災害に強い国やまちづくりのための計画として、国土強靱化基本法のもとに、国は国土強靱化基本計画、都道府県と市町村は国土強靱化地域計画を策定している。

縫製

材料を縫い合わせる事。ミシン縫いと手縫いに大別される。材質（繊維や織り方）に応じて、適切な針と糸を用いる。

訪問学級

障害や疾病のため通学して教育を受けることが困難な児童生徒のいる家庭・施設・病院に、教員が訪問して授業を行う特別支援学校の教育形態。週3回・1回2時間程度、個々の児童生徒に応じた授業を行う。

法律による行政の原理

国や地方公共団体の行政活動は、国会の制定する法律に基づいてなされなければならないとする行政法上の原理のこと。①法律の優位、②法律の法規創造力、③法律の留保という3つの下位原理によって構成される。

北欧デザイン

デンマーク、フィンランドといった北欧諸国の家具、照明等から住宅、建築、都市空間などのデザインについての総称。人間を中心とした考え方、その土地の自然素材の多用、気候風土との共生、歴史との連続性などの特徴が概して挙げられる。

ポジショニング

経営戦略やマーケティングにおける重要な考え方の一つ。競合の状況を踏まえつつ、自社がターゲット市場内で優位に立てる位置を見つけて立脚すること。ポジショニングは自社の優位性を示すとともに他社との差別化にもつなげることができる。

ポスター

主に紙を使用し、印刷などを施した大判（大型）の広告メディア。用いられる紙の種類やサイズ、印刷方法、加工など制作、製造手段も多種多様。企業PR、商品の販売促進、人の行動に訴えかけるもの（注意喚起ほか）など様々な主題を持った訴求物として広く量産され、屋内外などに掲出される。グラフィックデザインの分野における主要なアイテムの一つ。

ホスピタリティ・マネジメント

ホスピタリティは「精神的規範」と「具体的行為」によって構成される。また、自発的であり、ホストとゲスト間での「相互的価値交換」である。ホスピタリティという夢想的な人間の心を核として顧客との関係性を築くとともに、組織内での従業員の業務遂行能力の向上を目的として、組織の最適化を図ること。

ホットキャリア

トランジスタを構成する半導体（Si）や絶縁膜（SiO₂）の高電界中で加速され高エネルギーとなった電子や正孔（電子の抜け穴）。フラッシュメモリ書き換えに使えるが、数々の信頼性故障の原因としても知られている。

ポテンシオメータ

回転角度を計測する回転角度センサのことである。その本体は可変抵抗であり、つまみ部を持つことが多い。つまみの回転角度に応じた抵抗値の変化から回転角度を求める。構造が簡単で小型化でき安価な点に利点がある。

ホブ

円筒の外周にねじ状に多くの切り歯を取り付けた切削工具のこと。ホブ盤に取り付けて回転させ、歯車の歯切りに使用する。

ポリアミン

第一級アミノ基を含む脂肪族炭化水素の総称であり、全ての生物の生命維持に必要不可欠な分子。

マーケティング

「売れる仕組み」をつくること。製品やサービス自体がいかに優れていたとしてもそれが消費者に受け入れられて売れるとはかぎらない。そのため様々な活動を展開して売れるための仕組みを作り上げていくことが求められる。

マーケティングミックス

マーケティングミックスとは、理想的な顧客の購買行動を得るために、4P「Product（製品）、Price（価格）、Place（流通）、Promotion（宣伝）」などのマーケティングフレームワークやツールを組み合わせるマーケティング戦略のこと。ターゲットにする顧客に具体的にどのような戦略をとるかを決める「実行戦略」である。

マーケティングリサーチ

消費者の理解につながる情報を収集・分析・解釈すること。マーケティングリサーチで得られた情報は新たなマーケティング戦略立案などに活かされる。

MaaS

Mobility as a Service の略である。ICT 情報通信技術を活用してさまざまな交通手段による移動を1つのサービスとして捉えるという、新たな移動の概念あるいはそのサービスのことである。

マイクロ・ファイナンス

貧困層を対象に、少額の融資・保険・送金などを行う金融サービスの総称。ムハマド・ユヌス氏によって創設されたバングラデシュのグラミン銀行が貧困削減に寄与する仕組みとして注目され、同様の方式がマイクロ・ファイナンスとして世界に広まった。

マイクロインシュアランス

インフォーマルな経済活動で生計を支える低所得者層や極貧層の労働者・生活者が、かれらの経済的保障の達成を目的として少額の保険料を拠出し、保険事故の発生を条件に少額の保険金を受け取る保険制度のこと。

マイコン制御

モノとモノがネットワークで繋がり協調し、便利で豊かなIoT社会が到来している。各種データ測定やデータ送受信を切手サイズ程度のマイコンと呼ばれるICチップが制御している。マイコン制御は、自動車などの制御にも欠かすことのできない。

マイルージ（マイル）

航空会社が発行するポイントのこと。航空会社の搭乗時などに会員に付与され、一定数を集めることで無料搭乗券や商品などと交換することができる。近年では航空機の利用以外で付与される機会も増えている。

マクスウェル方程式

電荷、電流、電場、磁場に関する電磁気学における基礎方程式である。高校物理で学習する①電荷と電気力（電場）の関係、②電流が作る磁場、③磁束密度の時間変化による起電力発生と④閉じた磁力線について、記述されている。

マスツーリズム

大衆観光または大衆化した観光。第二次世界大戦後の経済発展を背景に、かつて富裕層に限られていた観光旅行が、一般大衆にも広く行われるようになった現象のこと。具体的には、観光を経験する人々の層の拡大をはじめ、旅行回数の増加、旅行距離の延長といった傾向が含まれる。

マター

マター（matter）は、元々は「問題」や「事柄」を意味する英単語。ビジネス用語としての「マター」は、「担当」「管轄」「責任」といった意味で使われる。
（例：この案件は〇〇部マターです。）

マチエール

絵肌。絵画作品を印象付ける、絵の具のタッチ。例えば厚く力強い油絵具らしさ・西洋古典絵画などの光沢と平滑さ・またはマットな落ち着いたカサカサした感じなど、「描かれた内容」ではなく、画面の表面における「絵具の物質的な印象」。

まちづくり

住んでいる地域民が自らまちの物理的な環境改善に参加すること、また地域民間の関係や活動を創造することを全て包括する概念。1980年に入り地方分権のながれと、地域のことは地域の人々の意見に基づくことが求められていく中で、参加型の計画策定が求められるようになった。こうした都市計画の変容を受けて、地域住民の意思を反映する手段としてのワークショップ・参加型会議を取り入れた計画とその実施を、今世紀になり特に「まちづくり」という呼称で表すことが広く行われるようになった。

マッチムーブ

撮影した映像にぴったりと違和感なく 3DCG を重ねる技術。AR はこのマッチムーブをリアルタイムに行う技術とも言える。高度なマッチムーブになると実写のものと見分けがつかないくらいのもも多い。

マネーストック

マネーストックとは、金融部門から経済全体に供給されている通貨の総量である。個人、一般法人、地方公共団体などの主体が保有する通貨の残高を集計している。通貨の範囲によって様々な定義があり、我が国では M1、M2、M3 及び広義流動性の 4 つの指標が作成・公表されている。

マネジメント

マネジメントには様々な意味がある。「経営」「管理」「経営陣」「計画（Plan）を立て、実行（Do）し、計画と実行の差や状況を確認し（Check）、処置や対策を打つ（Action）こと」「自分以外の他の人々を通じて企業目標を達成すること」などである。

マネタリーベース

我が国におけるマネタリーベースとは、日本銀行が世の中に直接的に供給する通貨の総量であり、市中に出回っているお金である「流通現金」と日本銀行が取引先の金融機関等から受け入れている「日本銀行当座預金」の合計のことである。

萬葉集

日本に現存する最古の和歌集。二十巻。大伴家持が最終的に編纂の手を加えたとみられる。奈良時代末期の成立か。なお、元号「令和」の出典となったのは、『萬葉集』巻五に収められた「梅花の歌三十二首」の序文である。

ミニマル

「最小限であるさま」のことを指す。無駄なものを持たないで生活する人を「ミニマリスト」と言う。「ミニマリズム」は建築や美術などで、装飾的な要素を最小限に抑えて表現する手法のこと。ファッションにおいても無駄が削ぎ落とされ、洗練されたスタイルを「ミニマルルック」と呼ぶ。

民芸

民衆の芸術を略した言葉。それまで見過ごされてきた無名な職人達の手によりつくられた、日常の生活道具の中に潜む美を見い出すことで工芸を通して生活と社会を美的に変革しようとした。九州地方の民藝産地は陶芸、金工、染織、木竹工と多岐にわたる。

民俗

民間に伝承されてきた風俗・習慣のこと。Folklore の訳語である「民間伝承」と同義語として用いられる。また、民間伝承を、日常生活における文化であり、社会性の高い存在として注目し、研究対象にした学問が民俗学である。

無形性

サービスの特性のうち、形がない性質のこと。

無差別曲線

消費者が2つの財を消費することを考える。2財の消費量をそれぞれ縦軸と横軸にとったとき、2財の組み合わせはその平面上に無数に描くことができるが、その平面上において、消費者に等しい効用をもたらす組み合わせを線で結んだもの。

明度

画面の明るさの程度。白から黒へ至る、明るさの度合い。

メイラード反応

アミノ酸やペプチド、タンパク質などのアミノ化合物と還元糖などのカルボニル化合物から褐色化する現象で、食品の製造加工、保存等あらゆる工程で生じる食品や生体において極めて重要な反応。

メカトロニクス

メカニクス（機械学）とエレクトロニクス（電子工学）を組み合わせた造語。電気・電子回路やコンピュータを用いて機械を制御し、自動化など高度な機能を実現する技術の分野である。

メタバース

インターネット上のコンピュータネットワークの中に構築された3次元の仮想空間やそのサービスのこと。アバターと呼ばれる参加者の分身を介してネットワーク上の仮想空間内で他の参加者とコミュニケーションをとることが出来る。

メタファー

比喩のひとつで、「隠喩（いんゆ）」のことを指す。対象物とよく似ているものを「～のような」という直喩ではなく、比喩によって相手に物事をわかりやすく伝えたり、表示物の視認性を高めたりする表現方法。「言葉は武器だ」という表現はメタファーにあたる。小説や映画、デザインなどで幅広く用いられる。

メタボリックシンドローム

心臓病や脳卒中の原因となる動脈硬化を起こしやすくする要因（危険因子）が組み合わさった病態のこと。日本では、内臓肥満（腹囲）に加えて、血圧、血糖、血清脂質のうち2つ以上が基準値を外れると診断される。

めっき

金属イオンの還元反応を利用して、様々な材料の表面に金属薄膜を付与する技術。

メッツ

運動強度の指標。安静時の酸素摂取量（3.5ml/kg/分）を1Met（Metabolic Equivalent）として、身体活動中の酸素摂取量が安静時の何倍に相当するかを表す。

メディア芸術

メディアを用いることで芸術表現を行う分野やジャンル。日本では「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術」と定義されているが、近年では映像の広い範囲やゲーム等のエンターテインメントもこれに含まれる。

メディアニュートラル

多種多様なメディア（媒体）を、まずニュートラル・フラットに捉え、広告目的に合わせて最も有効なメディアや組み合わせを考えていこうというアプローチのこと。

免震構造

建物と基礎との間に免震装置（ローラー支承、滑り支承、積層ゴム支承あるいは、これに類する効果を持つ装置または機構）を設置し、地盤と切り離すことで建物に地震の揺れを直接伝えない構造のこと。

メンタルトレーニング

スポーツ選手や指導者が競技力向上のために必要な心理的スキルを獲得し、実際に活用できるようになることを目的とする、心理学やスポーツ心理学の理論と技法に基づく計画的で教育的な活動である。

モーショングラフィックス

ロゴやイラスト、図形などに動きを加える映像手法の一つ。プロモーションビデオやデジタルサイネージ、WEBサイトといった様々な場面で使用されている。

木質構造

木を用いる構造のこと。元々、木造および木構造などと呼ばれていたが、近年は集成材なども多く用いられるようになったことから、木質構造と呼ばれるようになった。

持株会社

経営支配を目的として、その会社の株式を保有し本社機能に特化した組織形態で、その会社の議決権行使を通じてその会社の意思決定を統制する。ホールディングカンパニーとも呼ぶ。持株会社には、純粋持株会社と事業持株会社がある。

モチベーション

モチベーションとは、動機づけや意欲とも呼ばれ、欲求から行動へと変わるプロセスを指す。人の仕事などへの意欲を引き出すこと、人が意欲的に何らかのアクションを起こす際の要因となるものをモチベーションという。

モデル追従制御

モータを含めた制御対象のモデルにより理想的な駆動力を作成し、この理想的な駆動力をフードフォワード信号として予め利用することで、高速・高精度な動作を実現する制御方法。

モデル予測制御

制御対象のモデルを用いて、将来どのように駆動するかを予測し、理想とする将来値と予測値が一致するように現在与える駆動力を作成することで、高速・高精度かつスムーズな動作を実現する制御方法。

モルタル

セメントに水と細骨材を混ぜたものをいう。これに粗骨材を混ぜるとコンクリートになる。コンクリートの方が強度が強いが、モルタルの方が柔軟性はある。そのため配筋が密となる建築物に使用されることが多い。

モンタージュ

複数のショットをつなぎ合わせることで、新たな意味を生み出す技法のこと。モンタージュを発展させたのは、セルゲイ・エイゼンシュティンら旧ソビエト連邦の映画人たちであり、ショットの連続性よりも非連続性を重視した。

モントリオール議定書キガリ改正

モントリオール議定書は当初オゾン層保護の目的で 1989 年に発効したが、2016 年にキガリ（ルワンダ）で開催された締結国会合において温室効果を基準にした規制に改正することが決められた。この改正により、これまで規制の対象外だった「代替フロン」も規制対象となった。

約物

文字と数字を除いた、記号・符号活字の総称（句読点・括弧／引用符・通貨記号・数学記号等）。活版印刷の時代に、文字組版などで文章の記述に使用する記号類全般に対して（多くは詰め物でスペースを整える対象として）用いられ始めた。

やまと絵

平安時代の絵巻物など世俗画。中世には土佐家を中心に宮廷の絵画を描き、彼らが繪所預かりの職についた。江戸時代には土佐家のほかにも住吉家や板谷家などが幕府の御用絵師として、やまと絵制作に携わったが、江戸後期の活動を見ると漢画系の狩野派と対立するというよりも、その一端を担うという位置づけだった。歴史用語では「大和絵」、美術史では「やまと絵」と表記する。

UAV

人が搭乗しない航空機を意味する Unmanned Air (Aerial) Vehicle（無人航空機）の略称。一般的にはドローン（Drone）と呼ばれる。空撮写真やレーザー光による 3D 測量、災害調査、施設点検、農業・林業など様々な分野での活用が進められている。

有機 EL

有機 EL は、スマートフォンのディスプレイとし採用されている。特徴は、100nm 程度の厚みの有機薄膜に電流を流すことで自発光する点である。例えば、本に印刷技術を使い有機 EL ディスプレイを印刷し、動画を再生させることも可能となるだろう。

有機エレクトロニクス

シリコンなどの無機半導体材料ではなく、有機材料を主とした有機半導体を使用した電子デバイスに関する分野である。大面積で折り曲げることが可能な有機 EL 素子や有機太陽電池などの研究が進んでいる。

有機合成

有機合成とは、有機物を人工的に作る手法のこと。

有機太陽電池

有機分子は、太陽光や室内の照明の光を吸収して電気を作り出すことができる。エネルギーハーベスティングの観点から、室内光から電気エネルギーを作り出し、IoT 機器のセンサー回路やデータ送受信回路の電源としての利用が検討されている。

有機熱電変換

温度差を利用して電気エネルギーを得ることが可能な素子として熱電変換素子が挙げられる。有機材料の人体への親和性や柔軟性が良い利点を生かして、体温と外気温差で発電し、ヘルスケアデバイスへの電源として応用する研究を行っている。

有効求人倍率

有効求人倍率とは、企業からの求人数（有効求人数）を公共職業安定所（ハローワーク）に登録している求職者（有効求職者数）で割った値のことで、雇用状況から景気を知るための統計資料の一つである。人手が不足しているときは、有効求人倍率が1を上回り、逆に就職難のときは1を下回る。

ユーザーエクスペリエンス

製品やサービスなどを使用することで得られるユーザー体験のこと。視覚的な美しさや使いやすさだけではなく、体験そのものの満足度について考慮し、製品やサービスなどを最適化することが求められている。

ユーザインターフェース

ユーザーとコンピュータが情報のやり取りをする際の接点となる操作画面や操作方法のこと。視覚的な分かりやすさや直感的な操作性が求められる。

誘導放出

光に誘導されて電子と正孔が再結合すると光は増幅される。この過程を誘導放出と言う。このようにして増幅された光は波長と位相が揃った特殊な光であり、レーザー光と呼ばれている。

床スラブ

建築物の空間を水平方向に強いる部位のことで、人や載荷物を直接支える部分。

油脂

油脂の多くは動植物から採集される油性成分の一種で、ラード・オリーブ油・大豆油などがあり、食用のほか化学分解してグリセリンや高級脂肪酸を得ることができる。

油脂の酸化

油脂の劣化には①酸化、②重合、③加水分解などがある。その内酸化は、油脂が酸素と結びつき、異臭の発生、有害な過酸化脂質が作られる。油を多く含む食品は、酸素の遮断や酸化防止剤の使用がポイントとなる。

ユビキタス

「何時でも何処でも意識せずに、情報通信技術を利用できること」を意味。ITネットワークが生活環境のあらゆるところに組み込まれ、通信ネットワークを介して互いに連携し、人々がコンピュータの存在を意識せずにその利便性を享受できるような社会や情報環境。

洋上風力発電

主に海洋上における風力発電のことで、海の上に設置された風車を風の力によって回転させて発電することを指す。太陽光発電とは違い、陸上に比べ強く安定した風が吹き、昼夜問わず発電できる、また騒音や万が一の際の人的被害リスクが低く、設置場所の確保がしやすいことがメリット。

幼稚園教育要領

幼稚園の教育課程その他の保育内容の基準が大綱的に示されたもの。1956年に制定され、子どもの成長の変化や社会の変化に対応して改訂が行われてきた。現行の幼稚園教育要領は、文部科学省が2017（平成29）年に改訂を行ったものである。

読み聞かせ

子どもたちは「声の文化」（オング）の住人である。読み聞かせはこのような子どもたちが本や文学に親しむために必須であるし、直接に肉声で行うことによって愛着形成に関わるものとしてもある。

四大収入源

プロスポーツビジネスの主たる収入源であり、チケット収入・マーチャンダイジング（グッズ）収入・放映権収入・スポンサー収入の4つで構成されている。

4P

4Pとは、①「Product」顧客のニーズをとらえた価値のある良い商品になっているか、②「Price」顧客にとって適切な価値ある適正な価格となっているか、③「Place」買いたいと思う人に容易に商品が届けることができるのか（流通）、④「Promotion」商品の魅力をターゲット層に知らせることができているか、の頭文字をとったもの。

ラーニングアナリティクス

教育ビッグデータを収集・分析して教育に役立てようという取り組みであり、eラーニングによる学習支援や膨大な学習データの分析、機械学習の適用による予測等を活用して学生の学習・修学状況を改善する試みなどがある。

ラーメン構造

建築物が外からの力に耐えるために、柱と梁を剛接合して抵抗する構造。建築物を支える構造の一つ。

LiDAR

LiDARはLight Detection And Rangingの略称であり、レーザー光により距離計測を行う距離センサのことである。ロボットやドローン、自動車等に装着して衝突回避や3D地図の作成など広く利用されており、特に自動運転車には必須のセンサである。

ライフサイクル

人の一生と同じように、建物にも構想・計画から建設、運用、廃棄に至る一生があり、これをライフサイクル(LC)と呼ぶ。CO₂排出量などは、ライフサイクルでの総量で比較することで、環境負荷を評価したりする。

ライフサイクルコスト

構造物の構造計画、設計、施工、供用・維持管理、解体までを含めたライフサイクル期間において必要とされる経済的コストの総量。

ライフスタイル

個人の価値観や習慣を反映した生活の様式や仕方のこと。生活に関わるあらゆることの判断には、ライフスタイルの嗜好性が大きく影響されている。

落款

骨董などでは絵や書に付された印章をいうこともあるが、美術史では作者の自著（サイン）のことをいう場合が多い。したがって、印章とともにいう場合は落款・印章という。落款に制作した場所や期日を添える場合があり、重要な記録である。同じ作者でも制作時期で落款や印象が異なる場合が多い。

ラプラス変換

ある変数（例えば、 t ）の関数のラプラス変換とは、積分を使った計算を行って導き出された別の変数（たとえば、 s ）の関数のことである。制御工学などにおいて時間領域の（とくに超越的な）関数を別の領域の（おもに代数的な）関数に変換することにより、計算方法の見通しを良くするための数学的な道具として用いられる。

ラポール

ラポール（rapport）はフランス語読み。英語読みでラポートということもある。疎通性、親和性、心的和合と訳されることもある。一般には、心理療法（カウンセリング場面）における面接者と被面接者との間の相互信頼的な関係のことを指す。

ラムゼイの逆弾力性の命題

課税において、価格変化に対して消費や生産が敏感な財（価格弾力性が高い、という）には低い税率を、鈍感な財（価格弾力性が低い、という）には高い税率をかけることが、社会的な経済厚生観点からは望ましいという命題。

リアリズム文学

人間の情念や想像力をテーマとするロマンティズム文学に対し、時代や設定が現実根差した文学はリアリズム文学と定義される。アメリカ文学においては、マーク・トゥエインやヘンリー・ジェームズの文学がリアリズムにあたる。

Leadership

リーダーシップとは、自身の考えを共有し、他者に行動をおこさせることを意味する。

リーマンショック

2008年9月に、アメリカの投資会社リーマンブラザーズ社が倒産したことに端を発した世界的な金融危機のこと。同社は、サブプライムローンという低所得者向けの不動産融資を証券化して売りさばくことで巨額の利益を得ていたが、不動産バブルが弾けサブプライムローンが焦げ付くと、証券価値が暴落し経営破綻した。サブプライムローン関連の証券は世界中に販売されていたため、リーマンブラザーズの倒産は、世界的な金融不安へと拡大した。

リカレント教育

リカレントとは、「繰り返す」「循環する」という意味で、社会人になってから再度各々のタイミングで学校などの教育機関で学び、また社会へ出るのを繰り返すこと。社会人の学び直し。生涯を通じて学び続けていくこと。

リカレントニューラルネットワーク

時系列信号の扱いに特化したニューラルネットワークのモデルである。時間の概念を導入するため、過去の状態を保持しフィードバックさせる構造を持つ。再帰的に過去の状態が反映されるモデルになっていることが特徴である。

リスクマネジメント

一般に、企業の経営危機を招く、あるいは経営活動を妨げるリスク（Risk）の影響について、最適な処理手段を講じて危険管理にかかる費用の最小化を図る合理的・組織的な管理手法を指す。

リズム遊び

歌や音楽のリズムに合わせて手拍子や自由な全身運動を行う表現遊び。リズムの変化を感じて動きを変えたり、動物などの真似をしたりと、発達段階に応じて実践を工夫し、音感のみならず集中力や表現力、協調性を養う。

立憲主義

近代主権国家において、その国家権力を憲法によって制限することで、国民の自由や権利を保障しようとする思想のこと。具体的には、権力分立制の採用や基本的人権の保障、違憲審査制の整備などによって特徴付けられる。

離島

本土から離れている島のことを指す。離島航路整備法において、離島は本土（本州、北海道、四国及び九州）に付属する島と定義されている。令和3年4月1日現在、沖縄、奄美、小笠原等を除く77地域254島が離島振興法による離島振興対策実施地域である。

離島航路

離島と本土、または他の離島との間において、旅客及び貨物を輸送する航路のことを指す。船が唯一の交通機関である場合が多く、離島住民の生活を支える足である。

リノベーション

時代の変化、社会の変化、暮らしの変化等に合わせ、間取りや設備、デザインなどのハード的部分だけではなく、時に、コンテキストの変換などソフト的意味などを改変し、対象となる建物やエリア、場や事などの価値を維持もしくは高めることをリノベーションという。

リモートセンシング

離れた地点にあるものを間接的に観測する技術のことをリモートセンシングという。主に電磁波(光を含む)や音波が利用されており、気象レーダーや魚群探知機、非接触体温計などがある。

流域治水

地球温暖化による豪雨の多発により、近年、計画規模を超える洪水が多発し、破堤を伴う水害が頻発している。明治期以降の治水計画は堤防の強化と貯水ダムの建設により洪水流を河道内にとどめる方策が中心である。一方、洪水の規模が大きくなり、それに伴う計画規模の上昇は、わが国の国家財政における減収と相まって、治水事業の進捗の遅延をもたらし、安全度の担保がおぼつかない。そこでこれまでの河道中心の治水から、不連続堤防である霞提の導入や遊水地の確保による洪水量の分担や、流域での雨水の一時貯留と浸透の機能の強化によって、流域全体で流出抑制・遅延を図り、流域の関係者が一丸となって被害を軽減する治水をいう。2021 年 5 月に流域治水関連法が公布され、流域治水推進の法制度が強化された。

流体

物質の三態（固体、液体、気体）のうち、液体と気体をまとめたもの。せん断変形に対する挙動が固体と異なる。見えない、分裂・合体をするなど、学生にとって苦手な専門だが、物理学に基づいて考えれば理解できる。

流体機械

流体に動力を与える、または受け取る機械の総称。空調や水道などのインフラに必ず関わる重要な機械であり、また身近にある風車などのエネルギー利用において必要な機械である。

流通

生産と消費を結びつける経済活動である。自給自足経済では流通はいらなかった。分業社会になると、生産と消費の間に、所有権、時間、場所、情報といった隔たりが生まれたため、流通は重要な経済活動となった。

流通革命

大量生産と大量消費をつなぐための流通の近代化である。日本では 1960 年代から 80 年代までの第 1 次流通革命と 1990 年代からの第 2 次流通革命がある。前者ではスーパーマーケットや総合スーパーなどの大規模小売企業の成長が中心であり、後者では卸売段階も含めた全体の近代化が進められた。

流通チャネル

生産者と消費者の間にある人的・時間・空間のギャップを埋めて商品が流れていく一連の過程であり、流通経路ともいう。通常は生産者→卸売業者→小売業者→消費者という形で表現される。

量子井戸

半導体レーザーの活性層は障壁となるクラッド層に囲まれ、一旦電子と正孔が活性層に入ると抜け出せなくなる井戸構造になっている。さらに、活性層を厚さ 10nm 程度にすることによって量子効果が現れ、低電流動作の量子井戸半導体レーザーが実現されている。

量子論

粒子性と波動性の二面性を持つ微小な粒子に対して適用される物理学の学問分野。

旅客船

旅客を乗せて輸送を行う船のことを指す。海上運送法第2条において13人以上の旅客定員を有する船舶と定められている。旅客船のうち旅客だけを輸送するものを「純客船」、旅客と貨物を輸送するものを「貨客船」という。

旅行・観光サテライト勘定

旅行・観光サテライト勘定とは、世界観光機構が示した国際基準で、国民経済計算のサテライト勘定のひとつで、Tourism Satellite Account で略語として TSA である。

旅行業

報酬を得て、運送・宿泊機関が提供する旅行サービスを消費者が利用できるように仲介する事業であり、旅行業法に規定されている。主に、運送・宿泊の手配や、旅行商品の企画・販売、旅行相談に応じている。

緑化学

地域生態系に配慮した植物群集の保護・保全・再生および創出を実現するための手法について理解してそれを発展させていく学問。

理論化学

量子論またはニュートンの運動方程式を利用して、原子や分子、またはその集団を理論的に考える化学の学問分野。

琳派

江戸時代になり、町人による芸術活動がさかんになると俵屋宗達や本阿弥光悦などが伝統的な王朝文化をもとに、新しい意匠にとんだ書画制作を行った。そして、世代を超えて彼らに私淑する尾形光琳、さらにのちの酒井抱一など、実際には師弟関係ではない芸術家について、近代美術史で琳派と称するようになった。

倫理学

哲学の中でもとりわけ人間の生き方、行動の規範に関する知的営み。「何をすべきか、どう生きるべきなのか」を問う規範倫理学、特定の場面におけるあるべき振る舞いを考える応用倫理学、そもそもの正しさについてメタ的視点から考えるメタ倫理学の三領域に大別できる。

ループリック

ある課題について、できるようになってもらいたい特定の事柄を配置するための道具で、4つの基本的な要素でできている。学習者に与えられた「課題」と、課題の達成度合いを示す数レベルの「評価尺度」、課題が求める具体的なスキルや知識の「評価観点」、評価尺度に対応するパフォーマンスの特徴を示した「評価基準」を表形式で配置する。

励起状態

原子や原子核などを構成する粒子や化合物の量子力学系のエネルギーは、さまざまな値をとるが、このうちエネルギー値のいちばん高い状態。

励起波長

蛍光体などの物質に励起を引き起こす電磁波の波長。

レイシズム

「人種主義」、「人種差別」と訳される。人間を遺伝的特徴により人種として区分し、人種ごとに優劣があるという考え方。近年では人種概念の科学的根拠が生物学的に否定されており、人類は一種であり「人種」は存在しないと主張されている。

レガシー

①遺産、語り継がれる業績。②「古いもの」「時代遅れのもの」という意味。IT（情報技術）の分野では、「時代遅れな」の意味で使われることが多い。レガシーは使う場面によって二通りの意味に分かれるため、前後に続く言葉からどちらの意味かを判断する必要がある。ビジネスでは悪い意味で使われるケースも多い。

歴史

人間がこれまで経てきた事象の変遷、および発展の経過。また、それについての文字記録のことも歴史というが、今日では文献のみならず、図像・写真・口述など、さまざまな種類の資料が歴史研究に用いられている。

レジリエンス

英語で「回復力」「復元力」「弾性（しなやかさ）」を意味する言葉で、困難な状況に上手く適応すること。また、そのプロセスを言う。もとは物理学用語だが、心理学、生態学などで使われるようになった。ビジネスにおいても「組織レジリエンス」「社員一人ひとりのレジリエンス」を高めていくことの重要性から「さまざまな環境・状況に対しても適応し、生き延びる力」として使われるようになった。（例：コロナ禍における不安軽減のためにレジリエンスを身に付けたい。）

レスト

筋力トレーニングにおいて、セット間の休息のことを指す。ヒトによって休息の仕方はそれぞれであるが、トレーニングの目的により 30 秒から 3 分程度の範囲で設定され、安静を保つことが多い。

レスポンシブル・ツーリズム

「責任ある観光」を意味している。持続可能な観光業を実現するために観光に携わるすべての人が、その土地の自然、社会環境や文化などに与える影響に責任を持つべきであるという考え方をベースにして、より良い観光地をつくる動きのこと。持続可能な観光（サステナブルツーリズム）と考え方が共通する部分も多いが、責任ある観光ではより旅行者側に持続可能性を意識してもらうことを重視し、訪問旅行者数の制限、観光客に求めるルールを制定するなどの動きがある。

レペティション

Repetition あるいは Rep（レップ）とも言われる。筋力トレーニング中に行われる 1 回あたりの動作のこと。

レリーフ

平面の支持体に形を盛り上げ又は彫り込み、半立体を形成した作品。作品の分類としては彫刻であるが、基本的に平面の要素があるため、建築や工芸、絵画、イラストレーション等に活用されている。

連結財務諸表

支配従属関係にある親会社、子会社、関連会社からなる企業グループを単位に作成される財務諸表のことである。企業グループ全体の経営実態を明らかにする。親会社がグループ企業の個々の財務諸表を総合して作成する。

連合学習

分散した状態のデータを集約せず機械学習を行う方法。データを1か所に集約するコスト、計算資源の要求、秘匿性の高いデータの外部流出やプライバシー侵害のリスクを減らすことが目的である。

レンダリング

素材となるデータに処理や演算を加えて、動画、静止画、音声などをコンピュータで生成させる処理のこと。

労働生産性

すべての生産活動は何らかの労働投入を必要とするが、労働生産性は労働投入の生産効率を測る指標である。労働生産性が高ければ、それだけ生産効率が高い。マクロ的には実質国民所得を国全体の労働投入量で割った値である。

ロータリーエンコーダ

回転角度を計測する回転角度センサのことである。常に絶対的な回転角度を計測できるアブソリュート方式と、初期角度からの相対的な回転角度を計測するインクリメンタル方式の2種類がある。一般にサイズはやや大きくなる。

ロードセル

単方向の力の大きさを計測する力センサのことである。金属にひずみゲージが貼り付けてあり、加えられた力に応じた金属の伸縮量（ひずみ量）の変化から力の大きさを求める。ロードセル毎に計測可能な力の範囲が設定されている。

ローリングストック

家庭における災害時のための備蓄食品。また「備蓄」を「回転」させて備える方法。日常生活の中で缶詰やレトルト食品などの備蓄した食料を消費して、新たに買い足すことによって常に一定量を備蓄する。それによって災害時にも日常と同じ食品が食べられ、備蓄品の鮮度も保てる。

6次産業化

農業者が、農産物を生産（第1次産業）するだけでなく、農産物の加工や食品製造（第2次産業）、および販売、外食、観光などのサービスの提供（第3次産業）に取り組む経営多角化のこと。遊休施設や機械、ブランド、ノウハウなどの経営資源を他の事業に共有することで範囲の経済性が発揮されやすい。

ロゴマーク

企業や製品、団体、サービスなどの名称を視覚的に図案化したもの。文字や活字による装飾化の「ロゴタイプ」、企業、製品などのコンセプトやイメージを図案化した「シンボルマーク」、それらを合わせた状態が「ロゴマーク」とされる（「ロゴ」と総称する場合もある）。企業のロゴマークは理念やイメージの構築でもあるCI（コーポレートアイデンティティ）計画として開発されるケースが多い。

ロジスティクス

企業が利益の最大化のために行う「モノを運ぶこと」に関わる一連の活動のこと。需要に合わせ調達・生産・販売で生じる物流を連動させ、顧客が必要とする時に販売できることを目指す。通信販売需要の増加に伴い、この活動の重要性も増している。

論理回路

デジタル信号を処理して論理演算や記憶などを行うための電子回路。現在の入力だけで出力が決定する組合せ回路と、状態（記憶）を持ち、現在の入力と状態から出力と次の状態を決定する順序回路がある。

論理関数

“0” または “1” の値を取る変数を論理変数という。n 個の論理変数を入力として “0” または “1” の値を出力する関数のことを論理関数という。真理値表や論理式の形で表現することが多い。

論理合成

抽象度の高い論理記述(情報科学科では Verilog HDL を使用、その他に VHDL がある)から、プリミティブ(論理ゲート等)を含むライブラリを用いて、抽象度の低い論理記述を作成するプロセスのこと。

ワーケーション

仕事（ワーク）と休暇（バケーション）を合わせた造語で、企業の従業員が、休暇で滞在しているリゾート地や帰省先などでリモートで働くこと。新型コロナウイルス感染症の拡大によるテレワークの普及で、仕事と余暇を両立させる働き方として注目され、政府が力を入れて取り組んでいる施策。リモートワークとの違いは自宅やカフェで行うのではなく、旅行先で仕事するという点である。

ワクチンパスポート

新型コロナウイルスワクチン接種証明書。既定の回数のワクチン接種を終えたことを証明するもの。渡航者を対象に政府が発行するほか、自治体などが独自に発行するものがある。2021 年 12 月 20 日より、接種証明書（電子版）の電子交付の提供が開始され、二次元コード付き接種証明書（電子版）の発行が可能となり、海外渡航の用途だけでなく、国内利用にも様々なシーンで活用できるようになった。

One-to-One マーケティング

企業が顧客一人一人を相手に、購買などの行動履歴や、年齢や性別等の属性、趣味趣向などの情報を基に行うマーケティングのことである。ユーザー別ページである「マイページ」、商品おすすめ機能である「レコメンデーション」などがあり、データマイニング技術が用いられている。

KSUペディア
ー文理芸融合の学びー

発行 九州産業大学 IR推進室
初版 2022 年 4 月 25 日
改訂 2023 年 6 月 30 日
編集 株式会社ミドリ印刷